

# 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

## 報告書

令和元年5月

岡山市



# 目 次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査項目	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	
1	属性	2
2	家族の状況	
(1)	主な養育者	4
(2)	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	5
3	保護者の就労状況	
(1)	母親の就労状況	6
(2)	父親の就労状況	9
(3)	フルタイムへの転換希望	12
(4)	就労希望	14
(5)	共働きの状況	16
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用	
(1)	平日の教育・保育事業の利用状況	17
(2)	平日の教育・保育事業の利用希望	26
5	地域子育て支援センター	
(1)	地域子育て支援センターの利用状況	29
(2)	今後の地域子育て支援センターの利用希望	33
6	土日祝や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用	
(1)	土日祝の定期的な教育・保育事業の利用希望	35
(2)	長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	38
7	病気の際の対応	
(1)	病気等により事業を利用できなかった経験	40
(2)	病児・病後児保育施設の利用希望	42
8	不定期の保育事業	
(1)	不定期に利用している事業	45
(2)	私用等の目的による事業の利用希望	47
(3)	保育施設等に泊りがけで子どもを預けた経験	49

9	放課後児童クラブ（就学前児童）	
(1)	子どもの世話をする人の有無	51
(2)	放課後児童クラブの利用希望	52
(3)	魅力を感じる児童クラブ	58
(4)	放課後児童クラブを利用したくない理由	59
10	放課後児童クラブ（小学校児童）	
(1)	子どもの世話をする人の有無	60
(2)	放課後児童クラブの利用状況	61
(3)	小学校入学前の状況	72
(4)	魅力を感じる児童クラブ	73
(5)	放課後児童クラブを利用していない理由	74
11	育児休業	
(1)	育児休業取得状況	76
(2)	育児休業取得後の職場への復帰状況	82
12	子育て支援サービス	
(1)	子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向	84
13	子育て全般	
(1)	子育てにおける楽しさと苦勞の程度	87
(2)	家事や子どもと関わる時間	91
(3)	子どもとの外出時に困ること・困ったこと	99
(4)	子育てに関する悩みやストレスの解消方法	101
(5)	地域社会に望む支援	104
(6)	隣近所（地域）との付き合い	106
(7)	岡山市の子育てのしやすさの程度	109
(8)	子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと	110
III	自由意見	114

# I 調査の概要

## 1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについての要望等を把握し、岡山市子ども・子育て支援事業計画の基礎資料とすることを目的とする。

## 2 調査方法

- (1) 調査地域 岡山市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、0歳から小学校6年生までの児童がいる家庭の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配付
- (4) 調査対象 5,000世帯
- (5) 調査時期 平成31年1月10日～平成31年1月31日（平成31年2月19日回収分まで含む）

## 3 調査項目

- 保護者の就労状況
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用
- 地域の子育て支援事業の利用
- 土日祝や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用
- 病気の際の対応
- 教育・保育事業や宿泊を伴う事業の利用
- 放課後児童クラブの利用
- 育児休業の状況や子育ての感想、充実を望む施策など

## 4 回収結果

有効回収数 2,869票（回収率 57.4%）

## 5 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

## Ⅱ 調査結果

### 1 属性

#### (1) 居住区

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
北区	1,193	41.6%	473	40.1%	720	42.6%
中区	619	21.6%	273	23.1%	346	20.5%
東区	342	11.9%	142	12.0%	200	11.8%
南区	660	23.0%	270	22.9%	390	23.1%
無回答	55	1.9%	22	1.9%	33	2.0%
合計	2,869	100.0%	1,180	100.0%	1,689	100.0%

#### (2) 子どもの年齢（平成 30 年 4 月 1 日時点）

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳	258	9.0%	258	21.9%	-	-
1・2歳	325	11.3%	325	27.5%	-	-
3～5歳	578	20.1%	578	49.0%	-	-
6～8歳	615	21.4%	-	-	615	36.4%
9～11歳	1,046	36.5%	-	-	1,046	61.9%
無回答	47	1.6%	19	1.6%	28	1.7%
合計	2,869	100.0%	1,180	100.0%	1,689	100.0%

#### (3) きょうだいの人数

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1人	875	30.5%	598	50.7%	277	16.4%
2人	1,360	47.4%	467	39.6%	893	52.9%
3人以上	594	20.7%	94	8.0%	500	29.6%
無回答	40	1.4%	21	1.8%	19	1.1%
合計	2,869	100.0%	1,180	100.0%	1,689	100.0%

#### (4) 末子の年齢（平成 30 年 4 月 1 日時点）

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳	341	17.5%	275	49.0%	66	4.7%
1・2歳	292	14.9%	174	31.0%	118	8.5%
3～5歳	443	22.7%	94	16.8%	349	25.1%
6～8歳	383	19.6%	-	-	383	27.5%
9～11歳	411	21.0%	-	-	411	29.5%
無回答	84	4.3%	18.0%	3.2%	66	4.7%
合計	1,954	100.0%	561	100.0%	1,393	100.0%

## (5) 回答者

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
母親	2,594	90.4%	1,069	90.6%	1,525	90.3%
父親	253	8.8%	102	8.6%	151	8.9%
その他	10	0.3%	2	0.2%	8	0.5%
無回答	14	0.5%	8	0.7%	6	0.4%
合計	2,869	100.0%	1,180	100.0%	1,689	100.0%

## (6) 回答者の配偶関係

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
配偶者(夫または妻)がいる	2,620	91.3%	1,097	93.0%	1,523	90.2%
配偶者(夫または妻)がいない	232	8.1%	75	6.4%	157	9.3%
無回答	17	0.6%	8	0.7%	9	0.5%
合計	2,869	100.0%	1,180	100.0%	1,689	100.0%

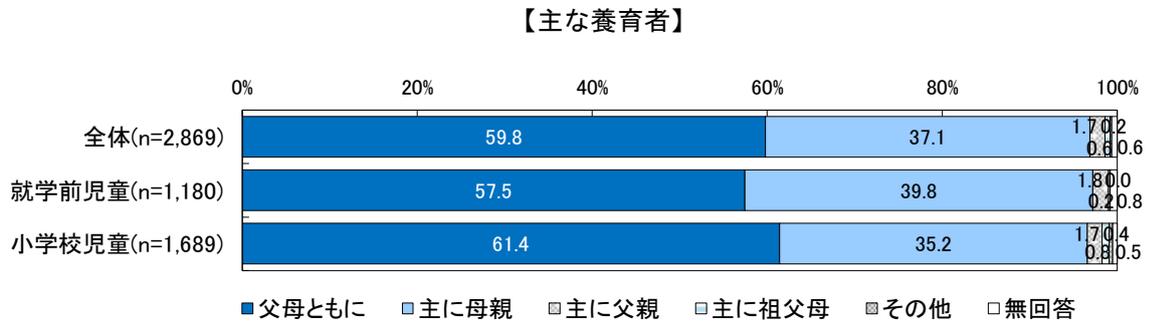
## (7) 世帯の状況

	全体		就学前児童		小学校児童	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
両親世帯	2,629	91.6%	1,102	93.4%	1,527	90.4%
母子世帯	214	7.5%	70	5.9%	144	8.5%
父子世帯	14	0.5%	4	0.3%	10	0.6%
その他の世帯	7	0.2%	1	0.1%	6	0.4%
無回答	5	0.2%	3	0.3%	2	0.1%
合計	2,869	100.0%	1,180	100.0%	1,689	100.0%

## 2 家族の状況

### (1) 主な養育者

問6 宛名のお子さんの子育て（養育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

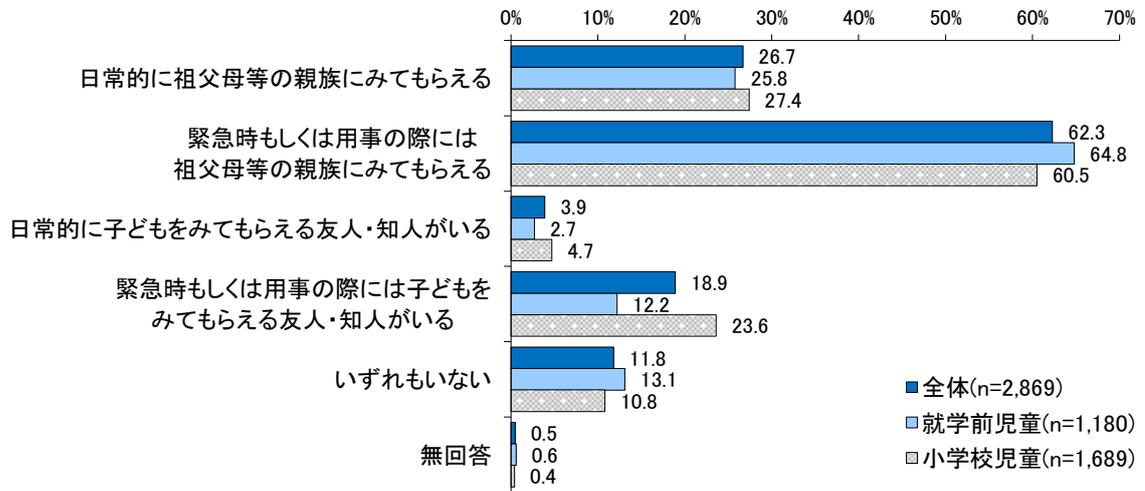


主な養育者について、「父母ともに」と回答した割合が全体で 59.8%、就学前児童で 57.5%、小学校児童で 61.4%となっている。

(2) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】



子どもをみてもらえる親族の有無について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が全体で26.7%、就学前児童で25.8%、小学校児童で27.4%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が全体で62.3%、就学前児童で64.8%、小学校児童で60.5%となっている。

また、子どもをみてもらえる知人の有無について、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合が全体で3.9%、就学前児童で2.7%、小学校児童で4.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した割合が全体で18.9%、就学前児童で12.2%、小学校児童で23.6%となっている。

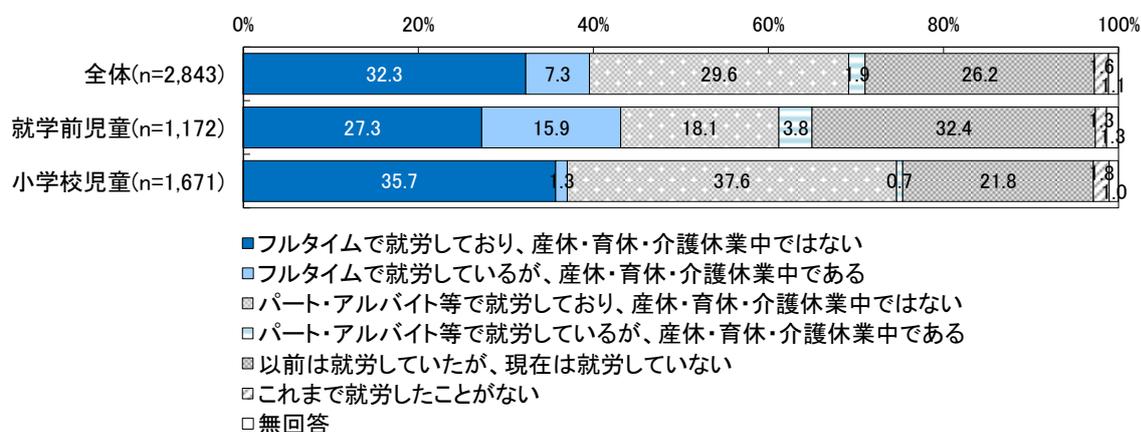
一方、「いずれもない」と回答した割合は全体で11.8%、就学前児童で13.1%、小学校児童で10.8%となっている。

### 3 保護者の就労状況

#### (1) 母親の就労状況

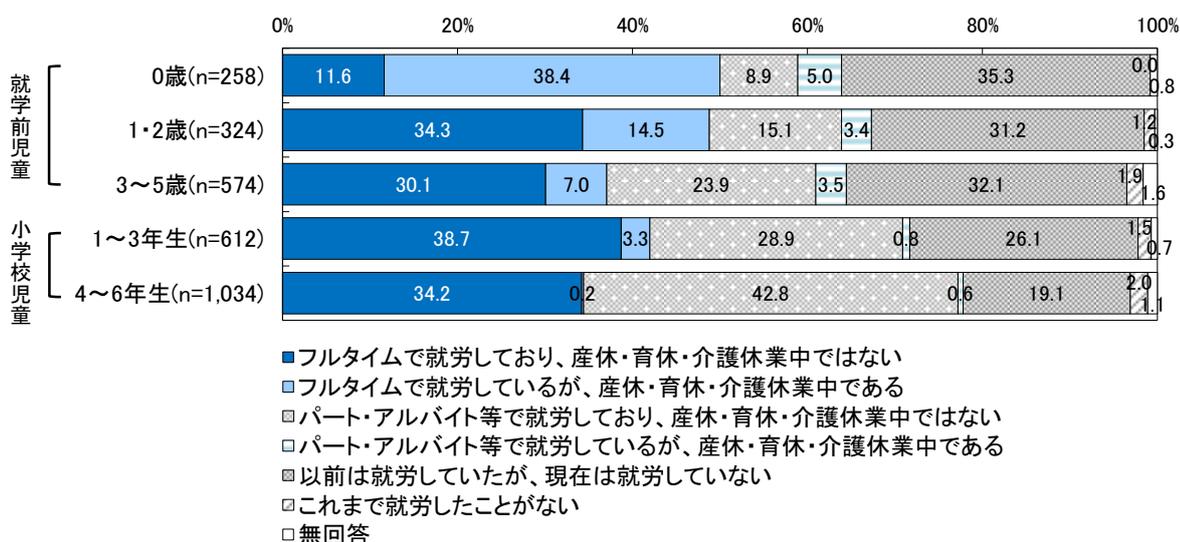
問8 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【就労状況（母親）】



母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が全体で 39.6%、就学前児童で 43.2%、小学校児童で 37.0%、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合が全体で 31.5%、就学前児童で 21.9%、小学校児童で 38.3%、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」）と回答した割合が全体で 27.8%、就学前児童で 33.7%、小学校児童で 23.6%となっている。

【就労状況（母親）（年齢・学年別）】



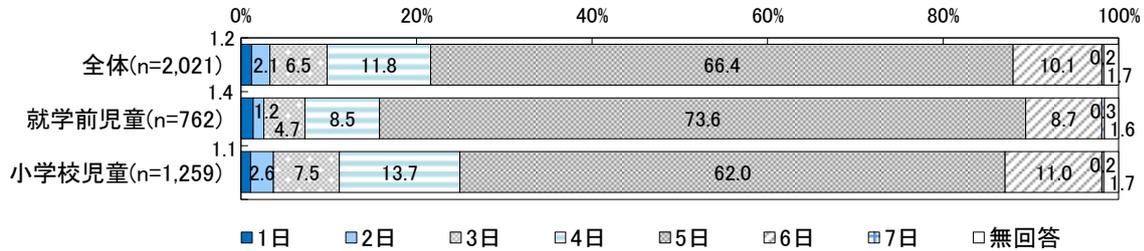
年齢・学年別にみると、『フルタイムで就労している』と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

また、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合は年齢・学年が高くなるほど高くなっている。

問 8 (1)で「1～4」（就労している）と回答した人のみ回答

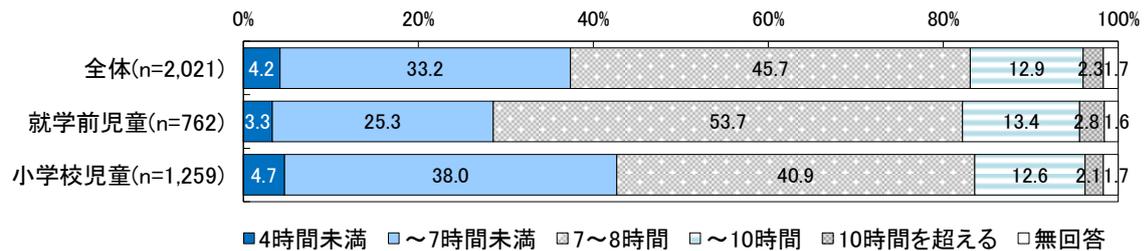
問 8 (1)-1 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

【1 週当たりの就労日数（母親）】



母親の1 週当たりの就労日数について、「5 日」と回答した割合が全体で 66.4%、就学前児童で 73.6%、小学校児童で 62.0%、「4 日」と回答した割合が全体で 11.8%、就学前児童で 8.5%、小学校児童で 13.7%となっている。

【1 日当たりの就労時間（母親）】



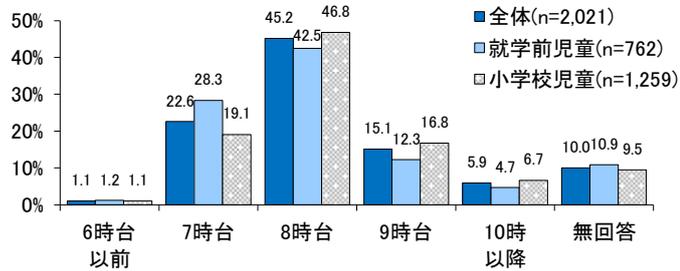
母親の1 日当たりの就労時間について、「7～8 時間」と回答した割合が全体で 45.7%、就学前児童で 53.7%、小学校児童で 40.9%となっている。

また、『8 時間を超える』割合が全体で 15.2%、就学前児童で 16.2%、小学校児童で 14.7%となっている。

問 8 (1)で「1～4」(就労している)と回答した人のみ回答

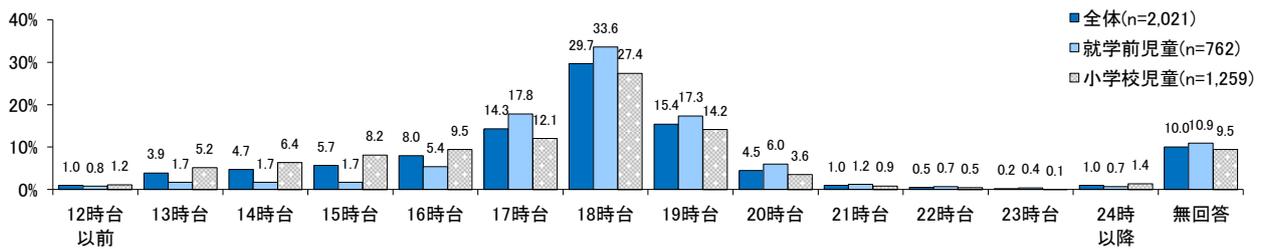
問 8 (1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【出勤時間 (母親)】



母親の出勤時間について、「8時台」と回答した割合が全体で45.2%、就学前児童で42.5%、小学校児童で46.8%と最も高くなっている。

【帰宅時間 (母親)】



母親の帰宅時間について、「18時台」と回答した割合が全体で29.7%、就学前児童で33.6%、小学校児童で27.4%と最も高くなっている。

(2) 父親の就労状況

問8 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【就労状況（父親）】



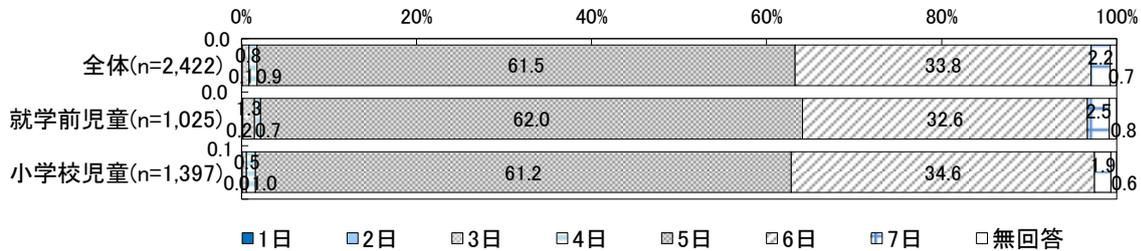
- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が全体で 91.1%、就学前児童で 91.8%、小学校児童で 90.5%となっている。

問 8(2)で「1～4」(就労している)と回答した人のみ回答

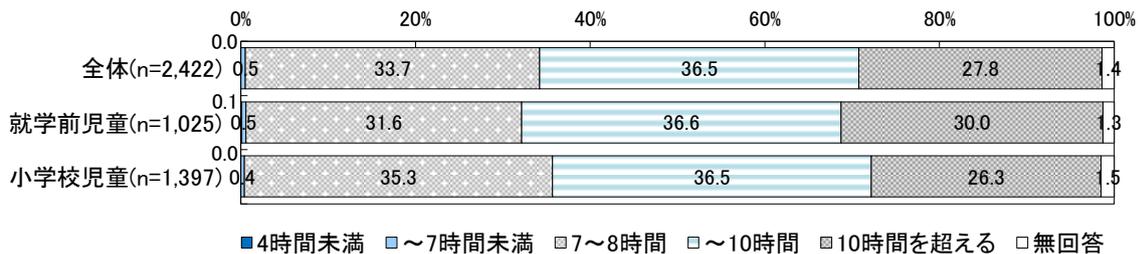
問 8(2)-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

【1週当たりの就労日数(父親)】



父親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が全体で61.5%、就学前児童で62.0%、小学校児童で61.2%、「6日」と回答した割合が全体で33.8%、就学前児童で32.6%、小学校児童で34.6%となっている。

【1日当たりの就労時間(父親)】



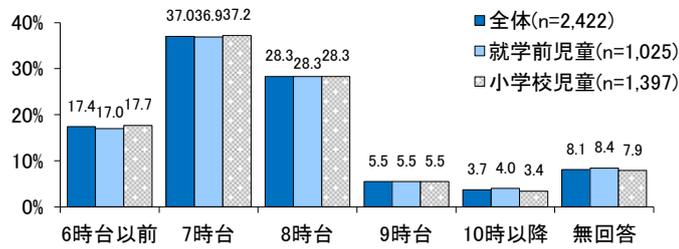
父親の1日当たりの就労時間について、「7～8時間」と回答した割合が全体で33.7%、就学前児童で31.6%、小学校児童で35.3%となっている。

また、「10時間を超える」と回答した割合が全体で27.8%、就学前児童で30.0%、小学校児童で26.3%となっている。

問 8 (2)で「1～4」(就労している)と回答した人のみ回答

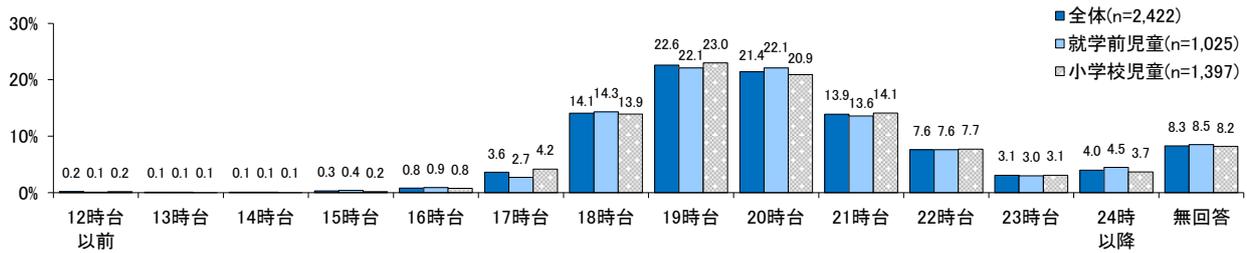
問 8 (2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【出勤時間 (父親)】



父親の出勤時間について、「7時台」と回答した割合が全体で37.0%、就学前児童で36.9%、小学校児童で37.2%と最も高くなっている。

【帰宅時間 (父親)】



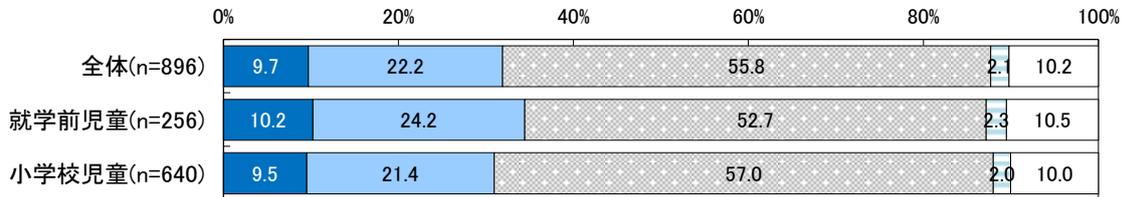
父親の帰宅時間について、「19時台」と回答した割合が全体で22.6%、就学前児童で22.1%、小学校児童で23.0%と最も高く、次いで「20時台」と回答した割合が全体で21.4%、就学前児童で22.1%、小学校児童で20.9%となっている。

### (3) フルタイムへの転換希望

問8 (1)または(2)で「3、4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した人のみ回答

問9 フルタイムへの転換希望はありますか。

【フルタイムへの転換希望 (母親)】



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▒フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合が全体で31.9%、就学前児童で34.4%、小学校児童で30.9%となっている。

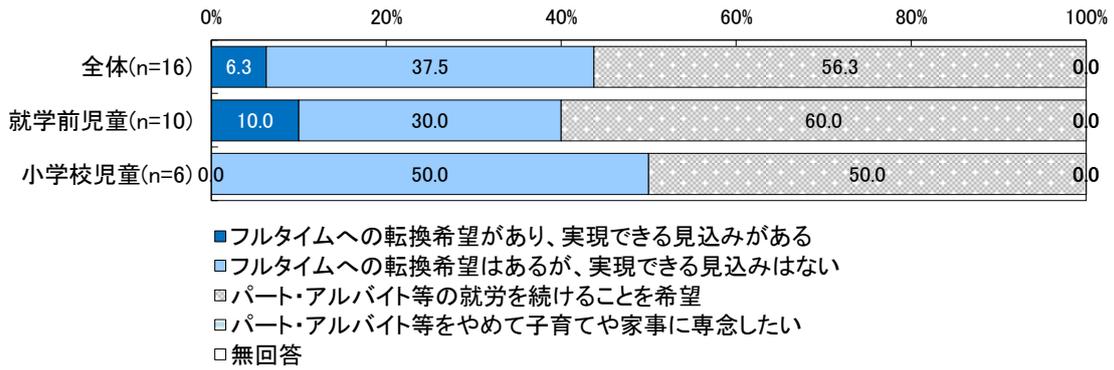
【フルタイムへの転換希望 (母親) (年齢・学年別)】



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▒フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

年齢・学年別にみると、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合は0歳で高くなっている。

### 【フルタイムへの転換希望（父親）】



父親のフルタイムへの転換希望について、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答した割合が全体で6.3%、就学前児童で10.0%となっている。

#### (4) 就労希望

問8 (1)または(2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで就労したことがない」と回答した人のみ回答

問10 就労したいという希望はありますか。

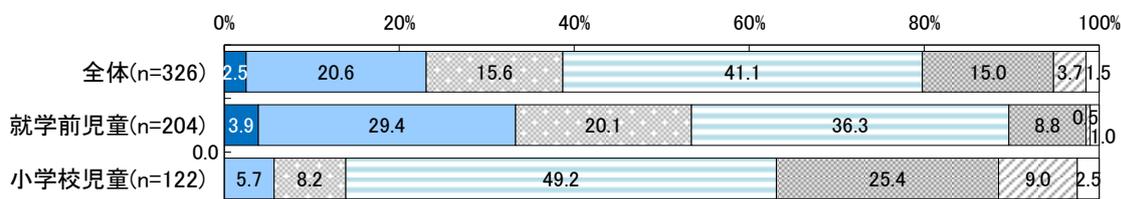
【就労希望（母親）】



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもがある年齢になったら就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が全体で26.3%、就学前児童で24.6%、小学校児童で28.1%、「1年より先、一番下の子どもがある年齢になったら就労したい」と回答した割合が全体で41.3%、就学前児童で51.6%、小学校児童で30.9%となっている。

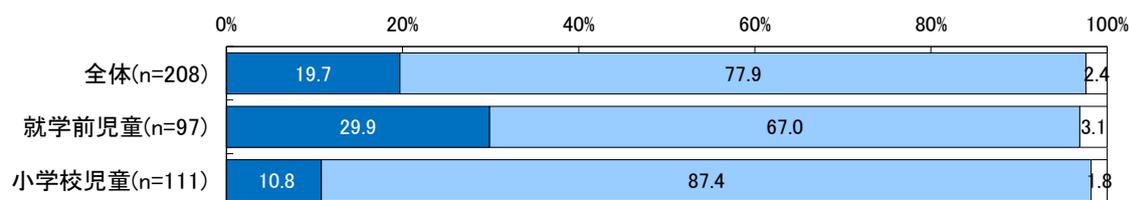
【就労希望予定時の末子の年齢（母親）】



- 1歳以下
- 2～3歳
- 4～5歳
- 6～8歳
- 9～12歳
- 13歳以上
- 無回答

就労希望予定時の末子の年齢について、「6～8歳」と回答した割合が全体で41.1%、就学前児童で36.3%、小学校児童で49.2%と最も高くなっている。

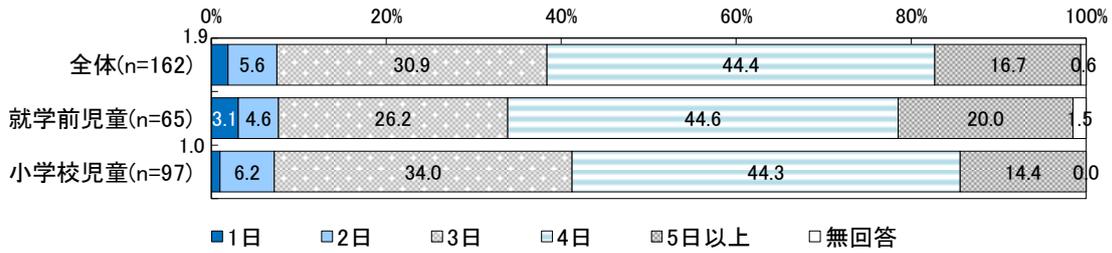
【希望就労形態（母親）】



- フルタイム
- パートタイム、アルバイト等
- 無回答

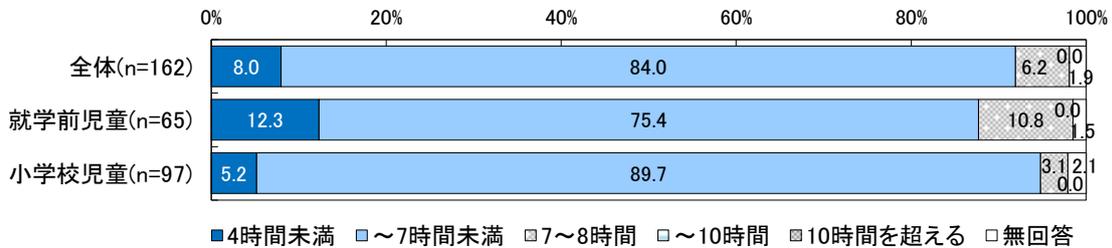
母親の希望就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が全体で19.7%、就学前児童で29.9%、小学校児童で10.8%、「パートタイム、アルバイト等」と回答した割合が全体で77.9%、就学前児童で67.0%、小学校児童で87.4%となっている。

### 【1週当たりの希望就労日数（母親）】



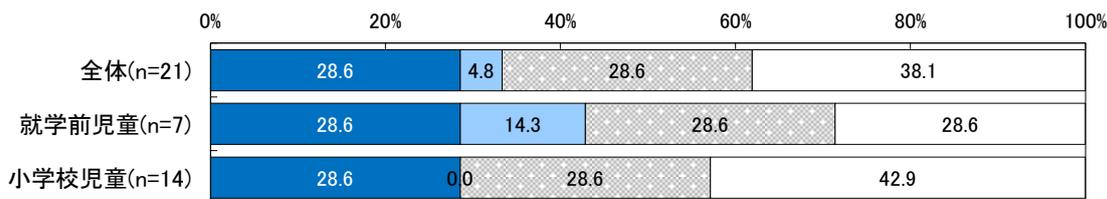
パートタイム、アルバイト等を希望する母親の1週当たりの希望就労日数について、「4日」と回答した割合が全体で44.4%、就学前児童で44.6%、小学校児童で44.3%と最も高く、次いで「3日」と回答した割合が全体で30.9%、就学前児童で26.2%、小学校児童で34.0%となっている。

### 【1日当たりの希望就労時間（母親）】



パートタイム、アルバイト等を希望する母親の1日当たりの希望就労時間について、「~7時間未満」と回答した割合が全体で84.0%、就学前児童で75.4%、小学校児童で89.7%となっている。

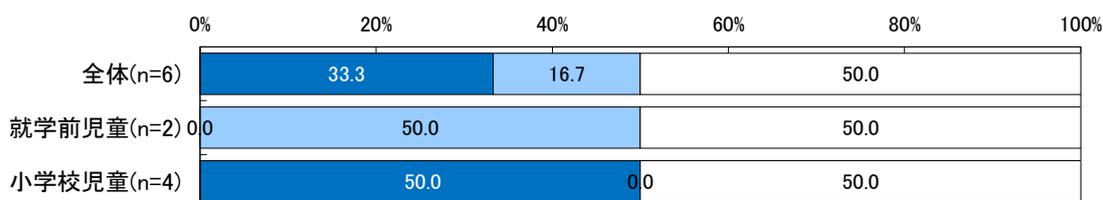
### 【就労希望（父親）】



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもがある年齢になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合がいずれも28.6%、「1年より先、一番下の子どもがある年齢になったころに就労したい」と回答した割合が全体で4.8%、就学前児童で14.3%となっている。

### 【希望就労形態（父親）】

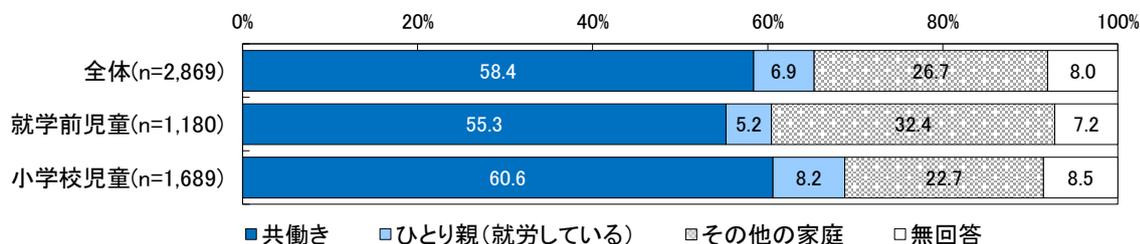


- フルタイム
- パートタイム、アルバイト等
- 無回答

父親の希望就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が全体で33.3%、小学校児童で50.0%となっている。

## (5) 共働きの状況

### 【両親の共働きの状況】



- 共働き
- ひとり親(就労している)
- その他の家庭
- 無回答

母親、父親の就労状況による共働きの家庭の割合が全体で58.4%、就学前児童で55.3%、小学校児童で60.6%となっている。

また、ひとり親家庭で就労している家庭の割合が全体で6.9%、就学前児童で5.2%、小学校児童で8.2%となっている。

## 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用

### (1) 平日の教育・保育事業の利用状況

宛名の子どもが0歳から小学校入学前の人のみ回答

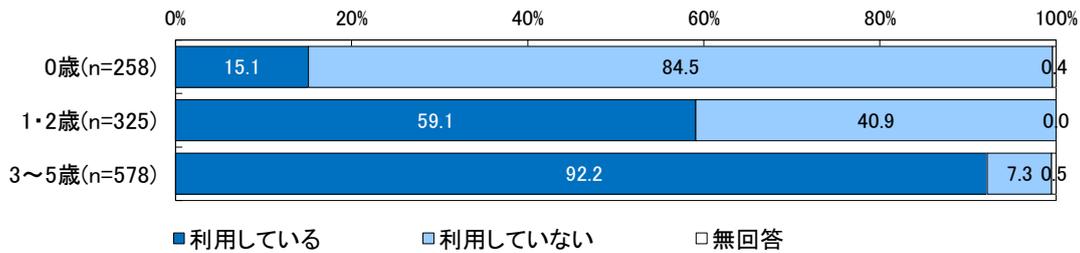
問 11 現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

【定期的な教育・保育事業の利用状況】



定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」と回答した割合が 65.9%となっている。

【定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童・年齢別）】

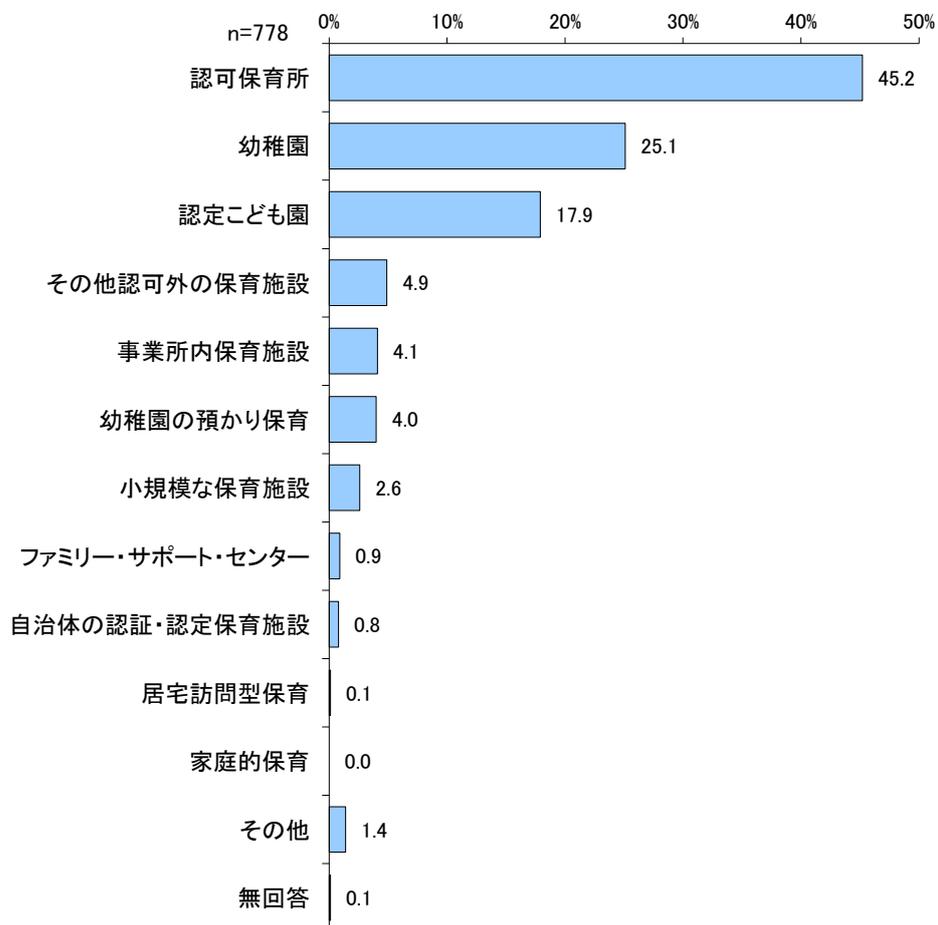


年齢別にみると、「利用している」と回答した割合は年齢が高くなるほど高くなっている。

問 11-1～問 11-4 は、問 11 で「1 利用している」と回答した人のみ回答

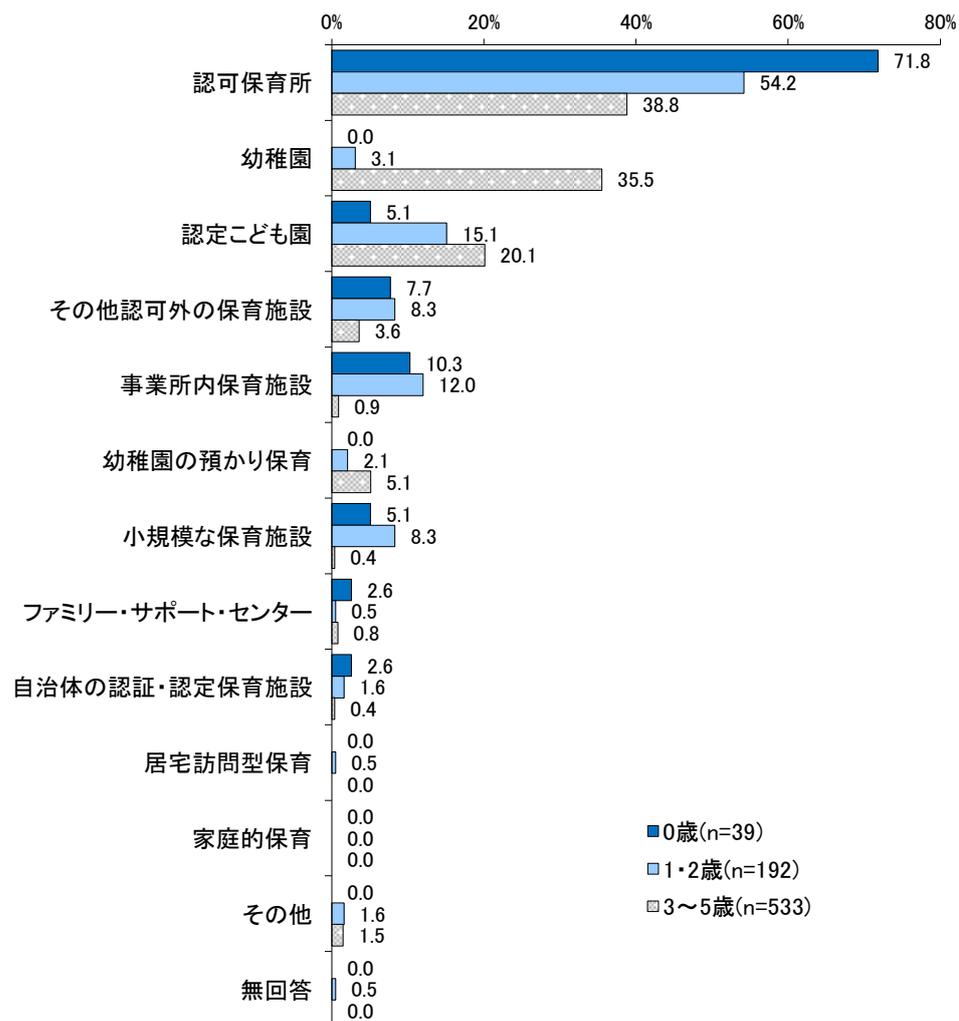
問 11-1 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

【利用している教育・保育事業】



利用している教育・保育事業について、「認可保育所」と回答した割合が 45.2%と最も高く、「幼稚園」(25.1%)、「認定こども園」(17.9%)が続いている。

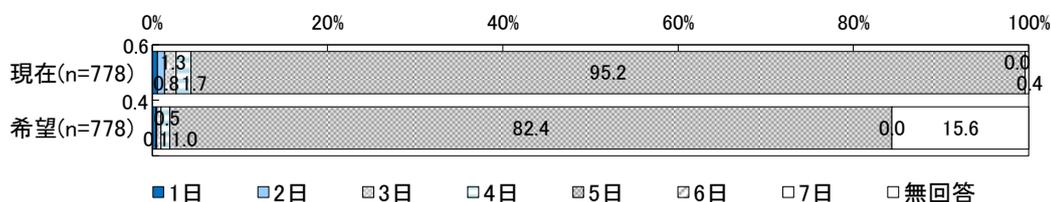
【利用している教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「認可保育所」と回答した割合はいずれの年齢においても最も高く、3～5歳では「幼稚園」（35.5%）が次いで高くなっている。

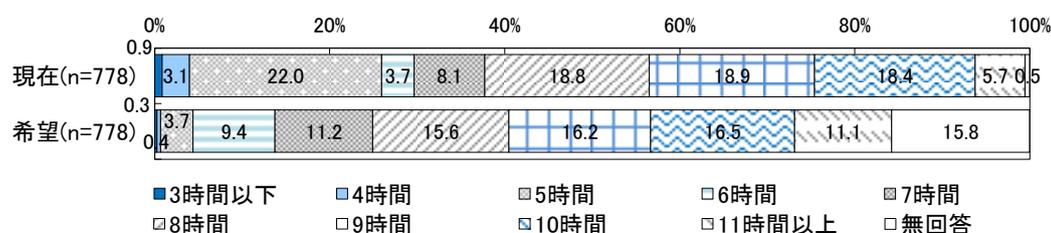
問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業（幼稚園、保育所、認定こども園等）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【1週当たりの利用日数】



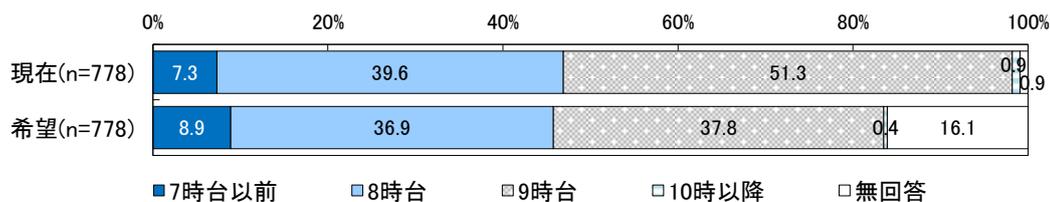
1週当たりの利用日数について、「5日」と回答した割合が現在で95.2%、希望で82.4%と最も高くなっている。

【1日当たりの利用時間】



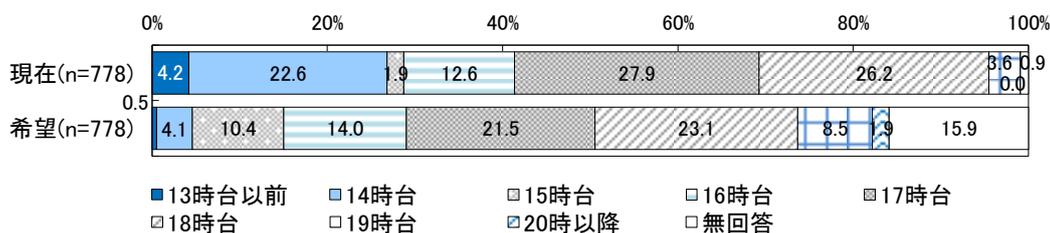
1日当たりの利用時間について、現在は「5時間」と回答した割合が22.0%、希望は「10時間」と回答した割合が16.5%と最も高くなっている。

### 【利用開始時間】



利用開始時間について、「9時台」と回答した割合が現在で51.3%、希望で37.8%と最も高くなっている。

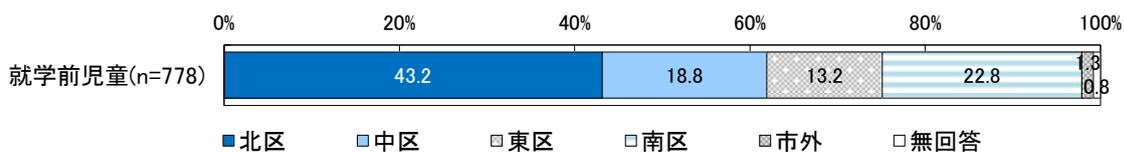
### 【利用終了時間】



利用終了時間について、現在は「17時台」と回答した割合が27.9%、希望は「18時台」と回答した割合が23.1%と最も高くなっている。

問 11-3 現在、利用している教育・保育の事業（幼稚園、保育所、認定こども園等）の場所についてうかがいます。

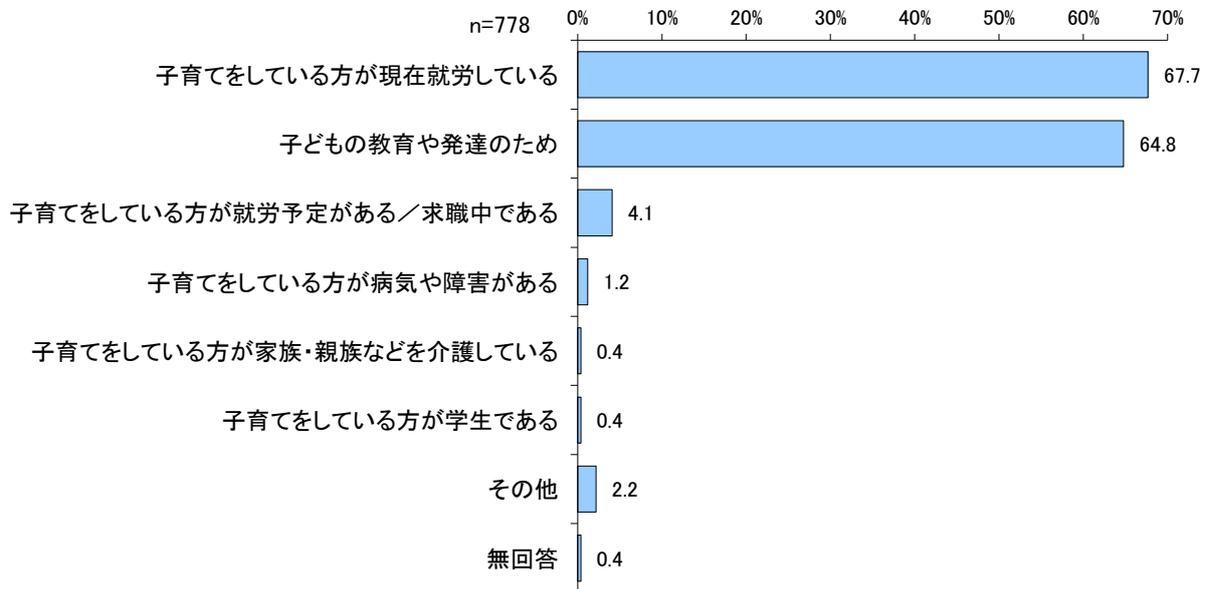
### 【利用している教育・保育事業の場所】



利用している教育・保育事業の場所について、「北区」と回答した割合が43.2%と最も高く、「南区」（22.8%）、「中区」（18.8%）が続いている。

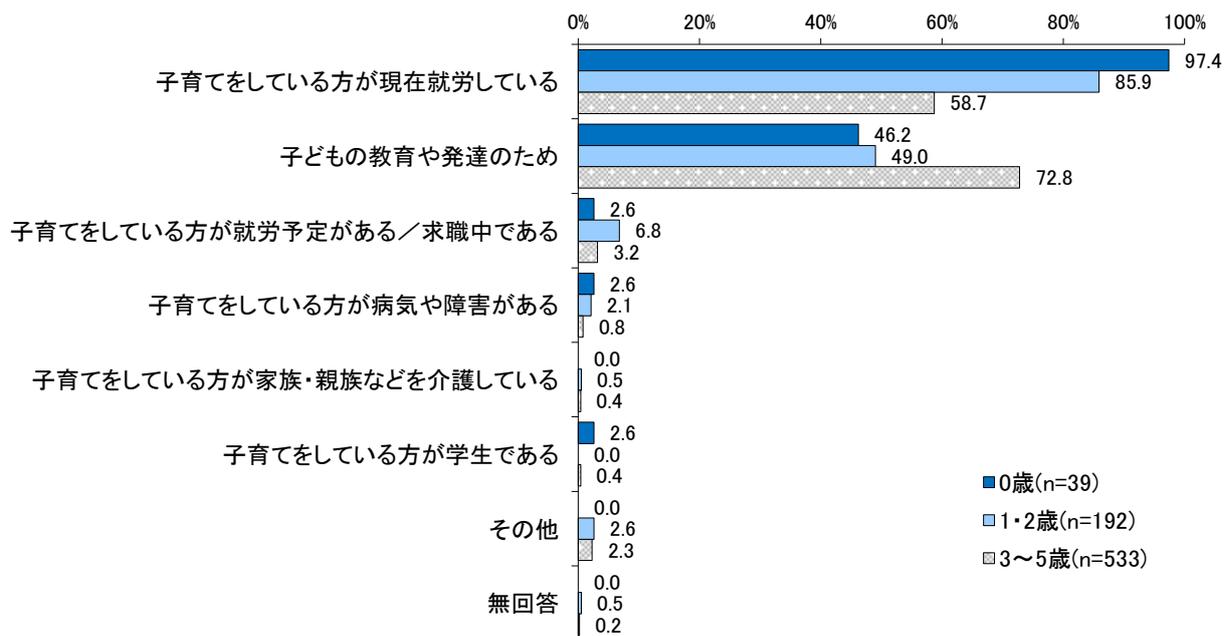
問 11-4 平日に定期的に教育・保育の事業（幼稚園、保育所、認定こども園等）を利用されている理由についてうかがいます。

【教育・保育事業を利用している理由】



教育・保育事業を利用している理由について、「子育てをしている方が現在就労している」と回答した割合が 67.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(64.8%)となっている。

【教育・保育事業を利用している理由（就学前児童・年齢別）】

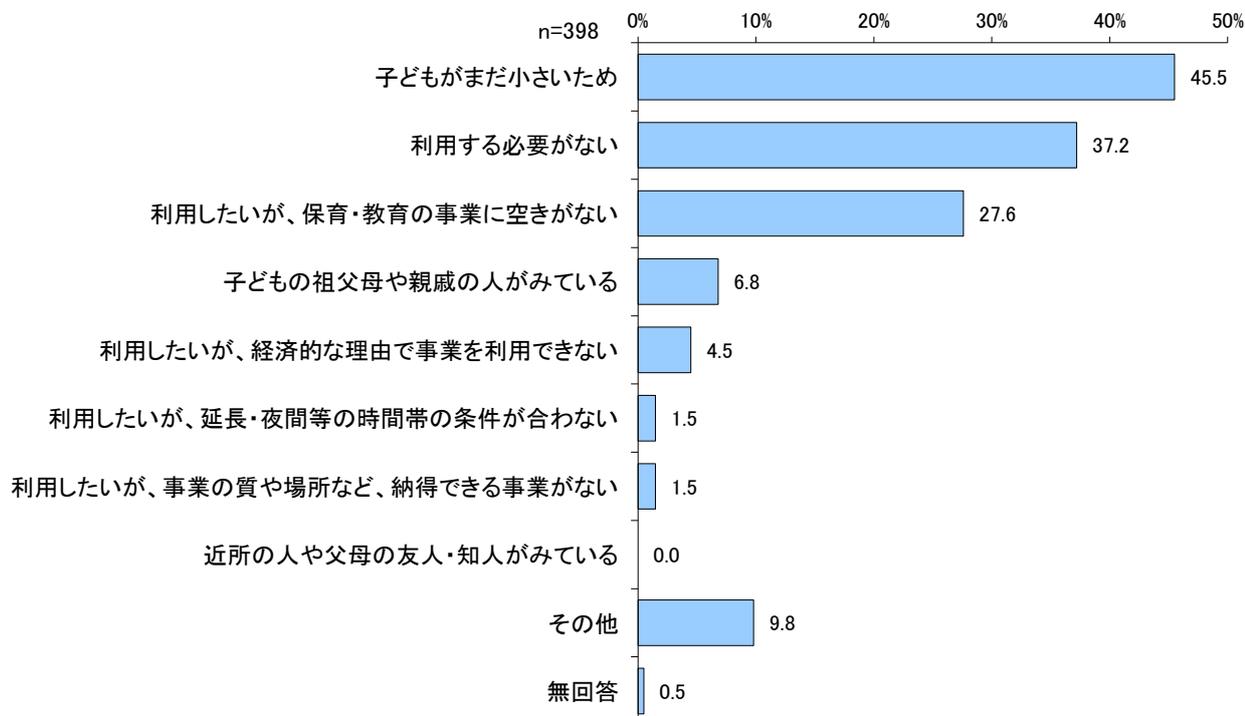


年齢別にみると、「子育てをしている方が現在就労している」と回答した割合は0歳、1・2歳で、「子どもの教育や発達のため」と回答した割合は3～5歳で高くなっている。

問 11 で「2 利用していない」と回答した人のみ回答

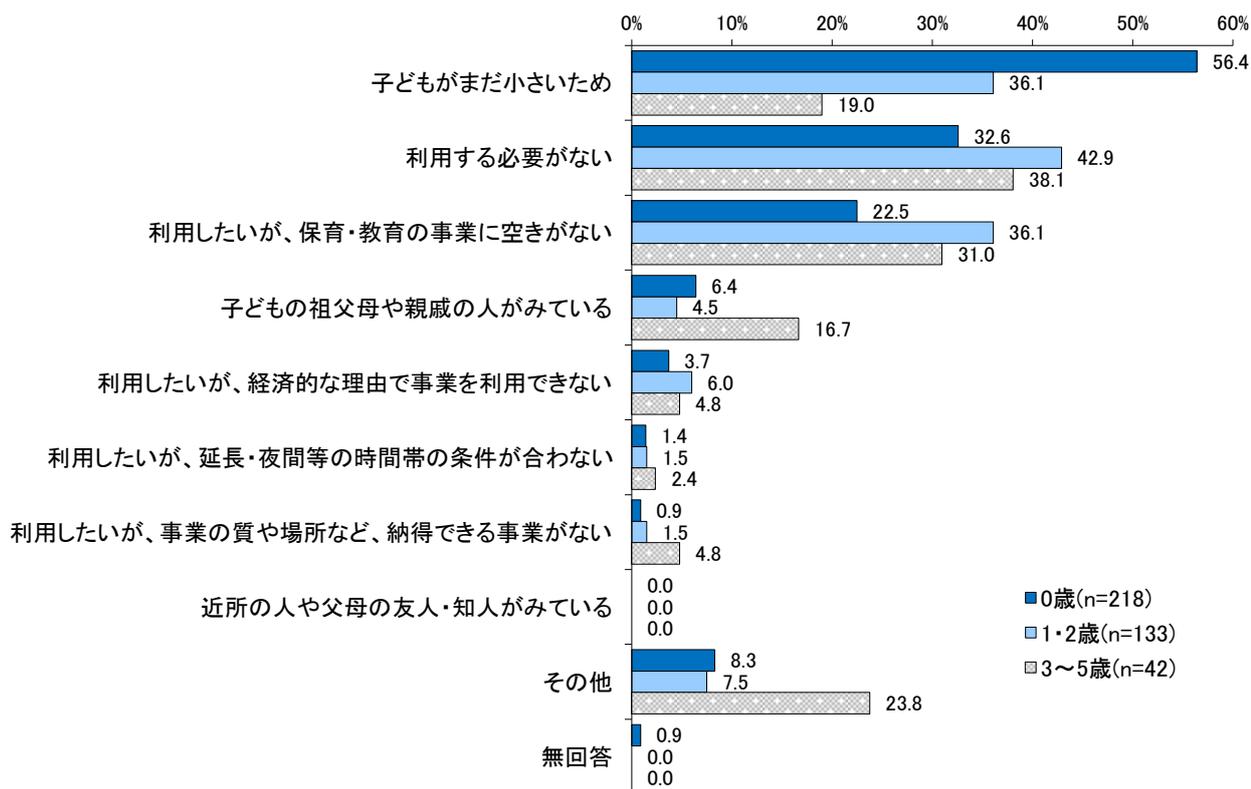
問 11-5 利用していない理由は何ですか。

【教育・保育事業を利用していない理由】



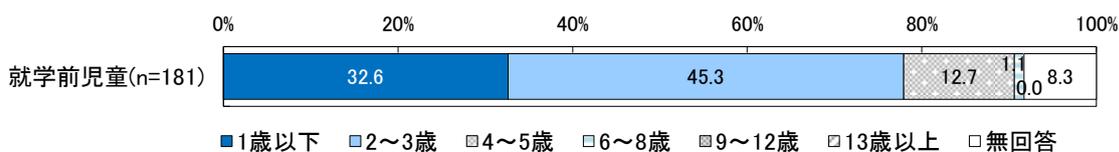
教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合が 45.5%と最も高く、「利用する必要がある」(37.2%)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(27.6%)が続いている。

【教育・保育事業を利用していない理由（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「子どもがまだ小さいため」と回答した割合は0歳で、「利用する必要がある」、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」と回答した割合は1・2歳、3～5歳で高くなっている。

【教育・保育事業の利用希望開始時の子どもの年齢】



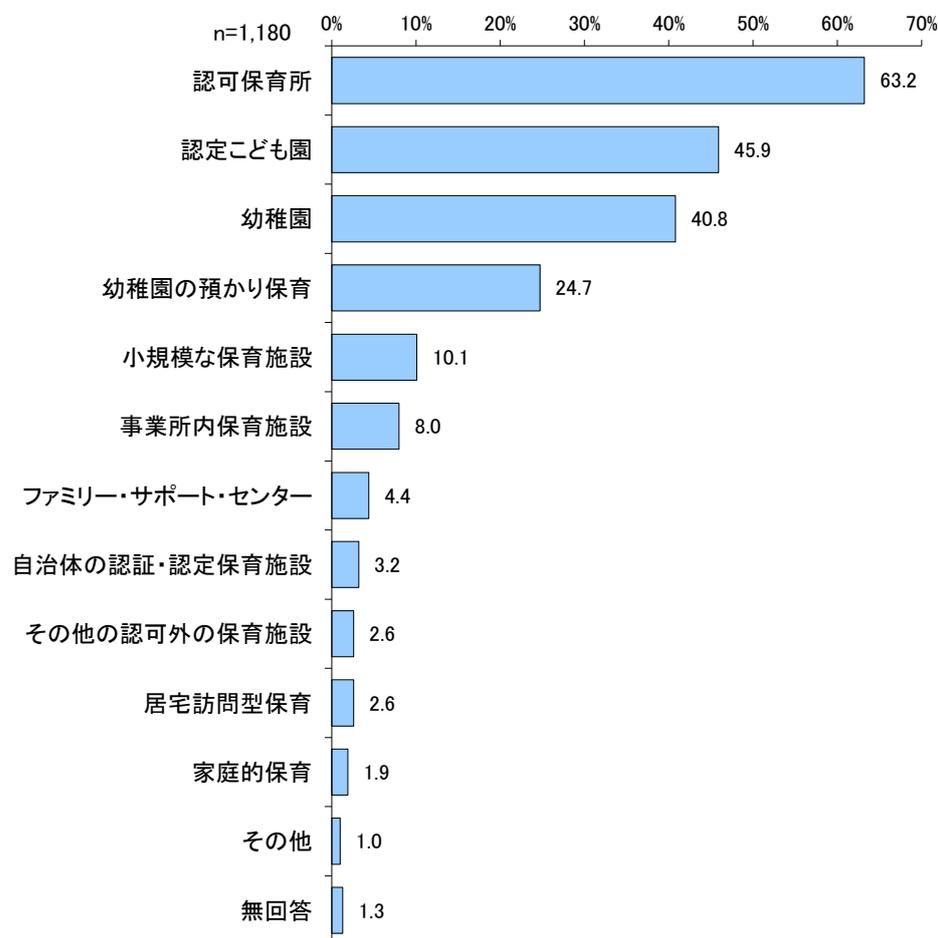
教育・保育事業の利用希望開始時の子どもの年齢について、「2～3歳」と回答した割合が45.3%と最も高く、次いで「1歳以下」(32.6%)となっている。

## (2) 平日の教育・保育事業の利用希望

宛名の子どもが小学校入学前のすべての人が回答

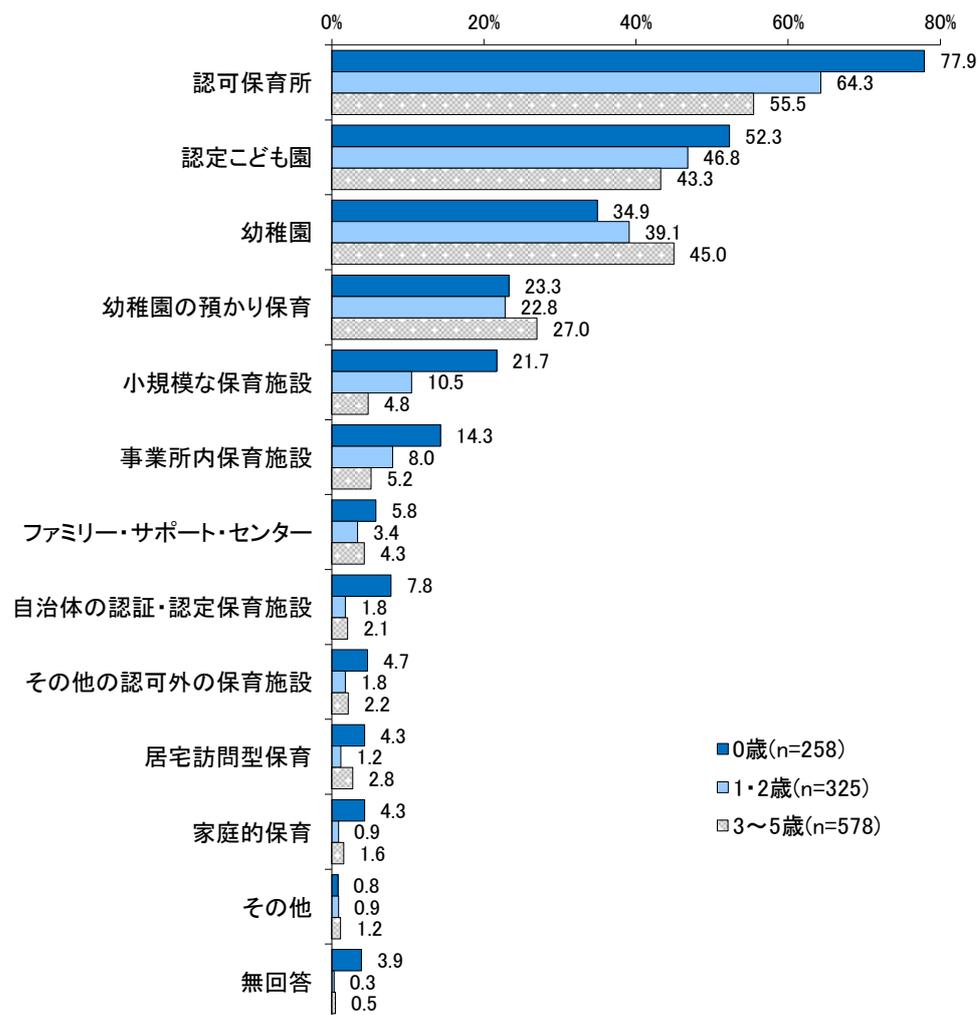
問 12 現在利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

### 【定期的に利用したい事業】



定期的に利用したい事業について、「認可保育所」と回答した割合が63.2%と最も高く、「認定こども園」(45.9%)、「幼稚園」(40.8%)が続いている。

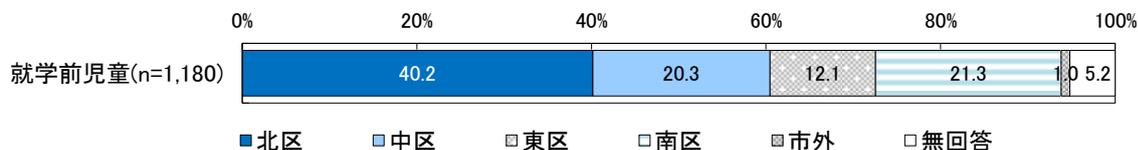
【定期的に利用したい事業（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、いずれの年齢も「認可保育所」と回答した割合が最も高くなっている。  
 また、「認可保育所」、「認定こども園」と回答した割合は年齢が低いほど高く、「幼稚園」と回答した割合は年齢が高いほど高くなっている。

問 12-1 教育・保育事業（幼稚園、保育所、認定こども園）を利用したい場所についてうかがいます。

【教育・保育事業の利用を希望する場所】

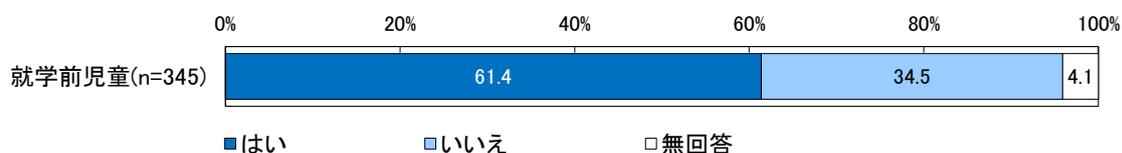


教育・保育事業の利用を希望する場所について、「北区」と回答した割合が 40.2%と最も高く、「南区」(21.3%)、「中区」(20.3%)が続いている。

問 12 で「1 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2 幼稚園の預かり保育」と回答、かつ「3～12」と回答した人のみ回答

問 12-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

【幼稚園利用への強い希望の有無】



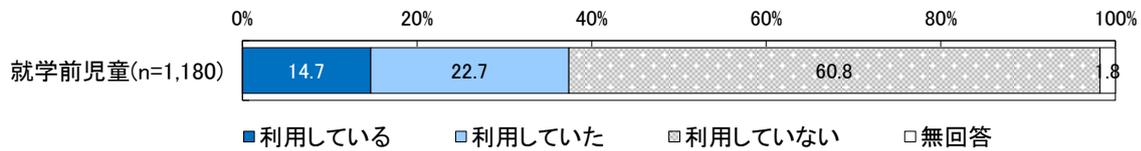
幼稚園利用への強い希望の有無について、「はい」と回答した割合が 61.4%、「いいえ」と回答した割合が 34.5%となっている。

## 5 地域子育て支援センター

### (1) 地域子育て支援センターの利用状況

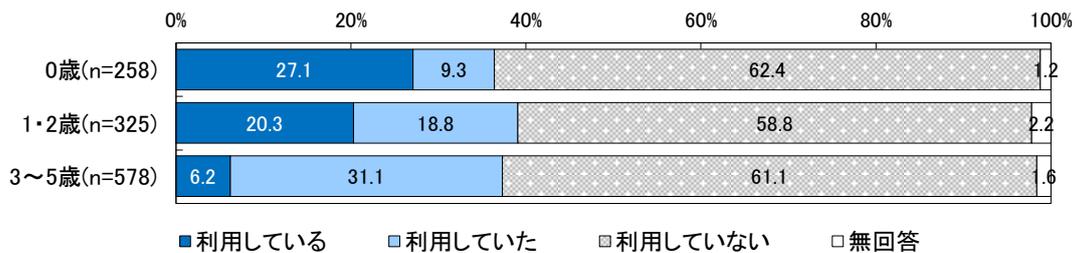
問 13 地域子育て支援センターを利用していますか。又は利用していましたか。

【地域子育て支援センターの利用状況】



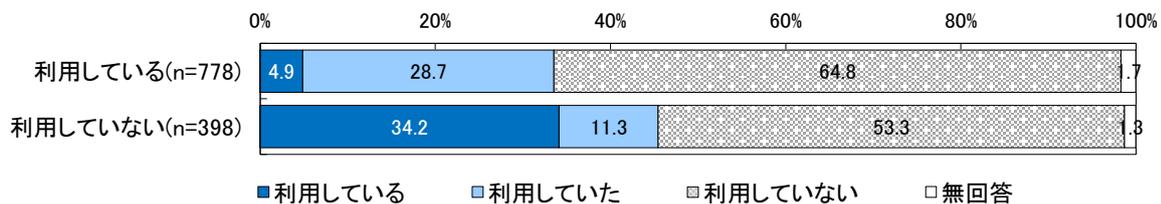
地域子育て支援センターの利用状況について、「利用している」と回答した割合が 14.7%、「利用していた」と回答した割合が 22.7%、「利用していない」と回答した割合が 60.8%となっている。

【地域子育て支援センターの利用状況（就学前児童・年齢別）】



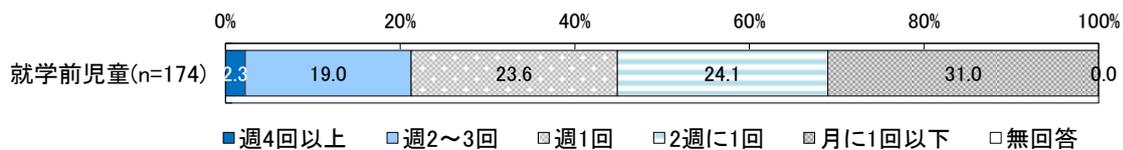
年齢別にみると、「利用している」と回答した割合は0歳で27.1%、1・2歳で20.3%となっている。

【地域子育て支援センターの利用状況（定期的な教育・保育事業の利用状況別）】



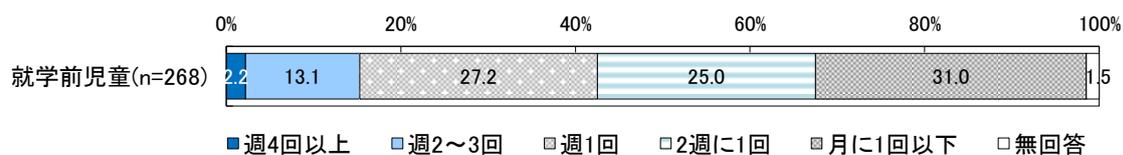
定期的な教育・保育事業の利用状況別にみると、地域子育て支援センターを「利用している」と回答した割合は教育・保育事業を利用していない層で高くなっている。

### 【現在の1か月当たりの利用回数】



現在の1か月当たりの利用回数について、『週1回以上』と回答した割合が44.9%となっている。

### 【過去の1か月当たりの利用回数】

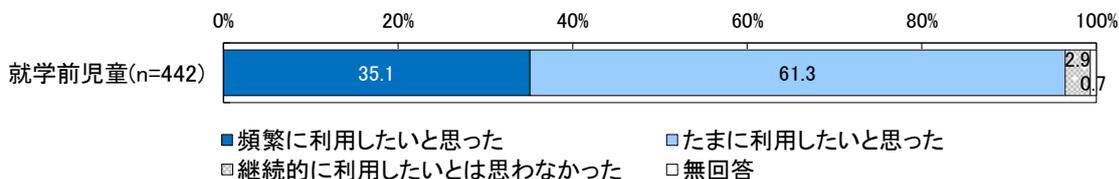


過去の1か月当たりの利用回数について、『週1回以上』と回答した割合が42.5%となっている。

問 13 で「1 利用している」または「2 利用していた」と回答した人のみ回答

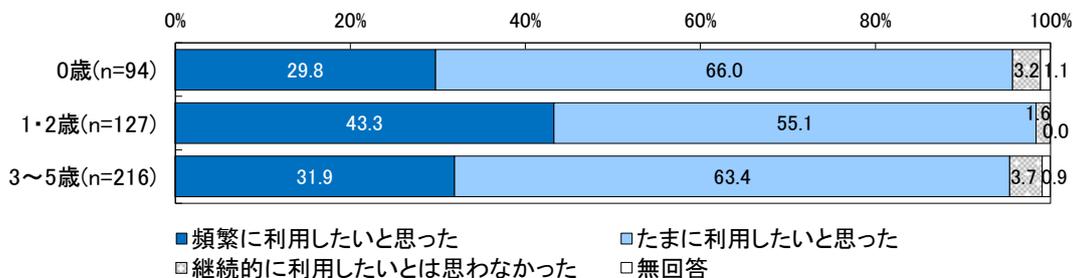
問 13-1 利用してどのように思いましたか。

【地域子育て支援センターを利用した感想】



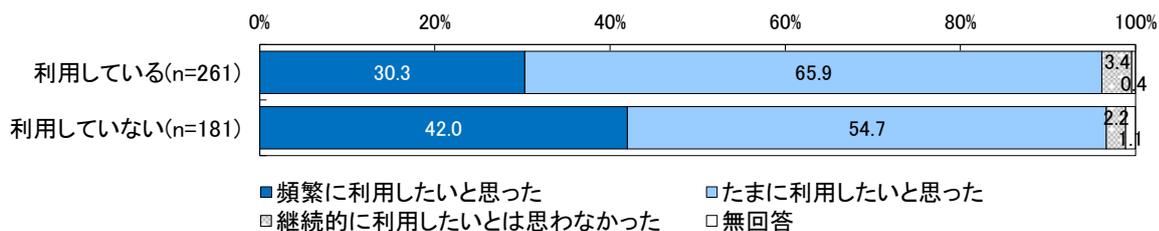
地域子育て支援センターを利用した感想について、「頻繁に利用したいと思った」と回答した割合が 35.1%、「たまに利用したいと思った」と回答した割合が 61.3%、「継続的に利用したいとは思わなかった」と回答した割合が 2.9%となっている。

【地域子育て支援センターを利用した感想（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「頻繁に利用したいと思った」と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

【地域子育て支援センターを利用した感想（定期的な教育・保育事業の利用状況別）】

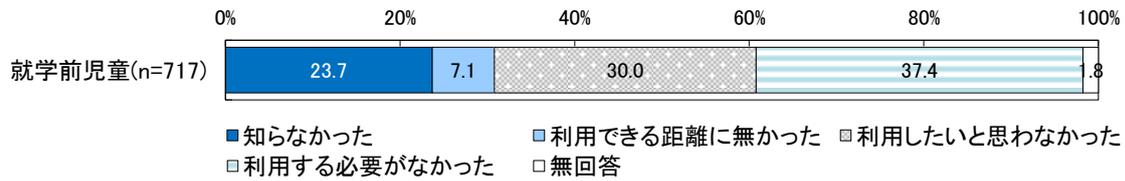


定期的な教育・保育事業の利用状況別にみると、「頻繁に利用したいと思った」と回答した割合は教育・保育事業を利用していない層で高くなっている。

問 13 で「3 利用していない」と回答した人のみ回答

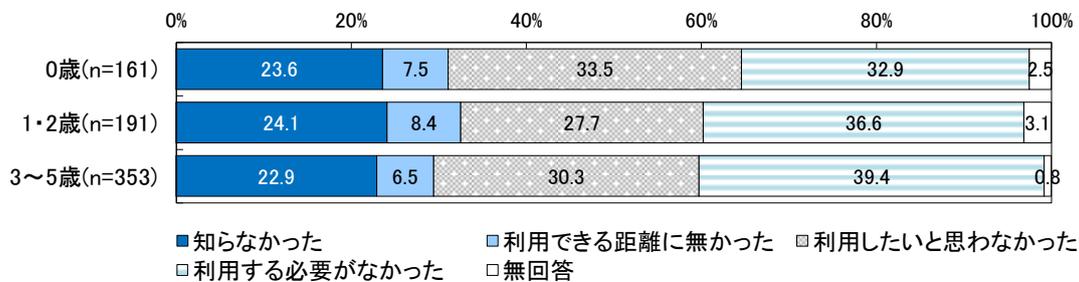
問 13-2 利用していない理由は何ですか。

【地域子育て支援センターを利用していない理由】



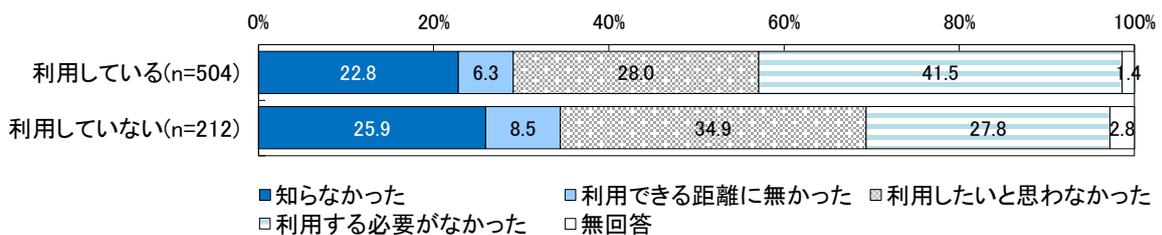
地域子育て支援センターを利用していない理由について、「利用する必要がなかった」と回答した割合が 37.4%と最も高く、「利用したいと思わなかった」(30.0%)、「知らなかった」(23.7%)が続いている。

【地域子育て支援センターを利用していない理由（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「利用する必要がなかった」と回答した割合は年齢が高くなるほど高くなっている。

【地域子育て支援センターを利用していない理由（定期的な教育・保育事業の利用状況別）】

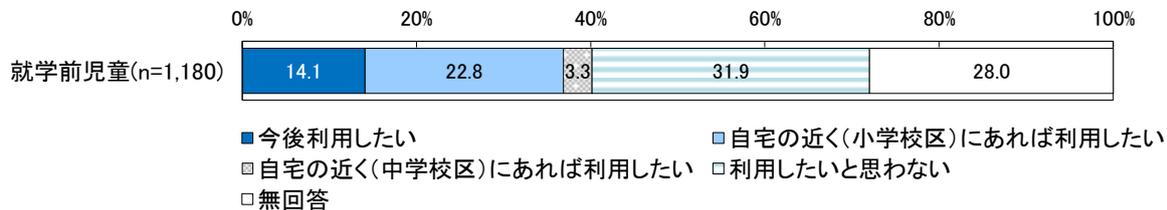


定期的な教育・保育事業の利用状況別にみると、「利用したいと思わなかった」と回答した割合は教育・保育事業を利用していない層で高くなっている。

(2) 今後の地域子育て支援センターの利用希望

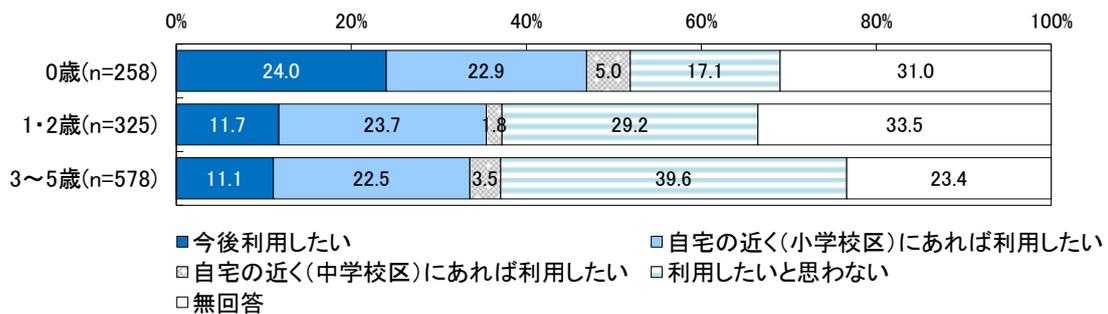
問 14 地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したいと  
 思いますか。

【地域子育て支援センターの利用希望】



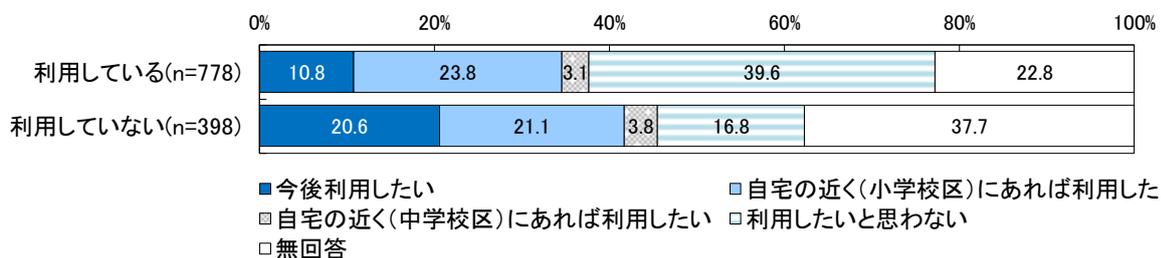
地域子育て支援センターの利用希望について、「今後利用したい」と回答した割合が 14.1%、「自宅の近く（小学校区）にあれば利用したい」と回答した割合が 22.8%、「利用したいと思わない」と回答した割合が 31.9%となっている。

【地域子育て支援センターの利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「今後利用したい」と回答した割合は0歳で高くなっている。

【地域子育て支援センターの利用希望（定期的な教育・保育事業の利用状況別）】



定期的な教育・保育事業の利用状況別にみると、「今後利用したい」と回答した割合は教育・保育事業を利用していない層で高くなっている。

### 【地域子育て支援センターの利用希望回数】



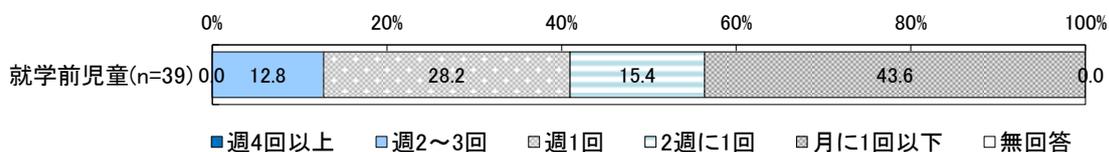
地域子育て支援センターの利用希望回数について、『週1回以上』と回答した割合が48.8%となっている。

### 【地域子育て支援センターの利用希望回数（小学校区）】



自宅の近く（小学校区）にあれば利用したい回数について、『週1回以上』と回答した割合が47.6%となっている。

### 【地域子育て支援センターの利用希望回数（中学校区）】



自宅の近く（中学校区）にあれば利用したい回数について、『週1回以上』と回答した割合が41.0%となっている。

## 6 土日祝や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用

### (1) 土日祝の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 15 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

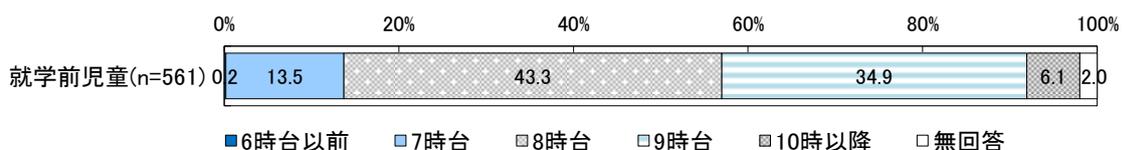
#### <土曜日>

【定期的な教育・保育事業の利用希望】



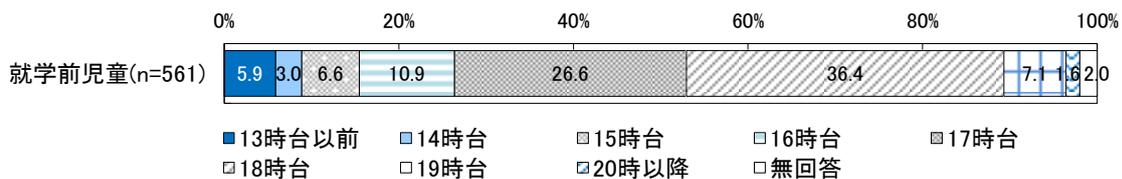
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」＋「月に1～2回は利用したい」）と回答した割合が47.5%となっている。

【希望開始時間】



土曜日の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が43.3%と最も高く、次いで「9時台」（34.9%）となっている。

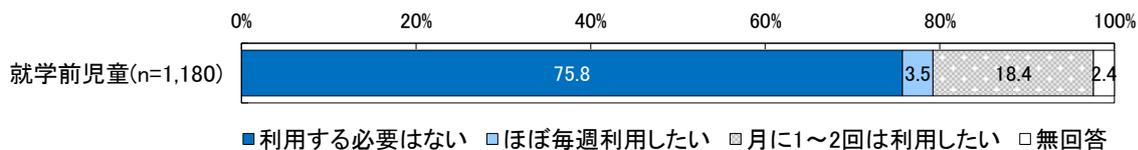
【希望終了時間】



土曜日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が36.4%と最も高く、次いで「17時台」（26.6%）となっている。

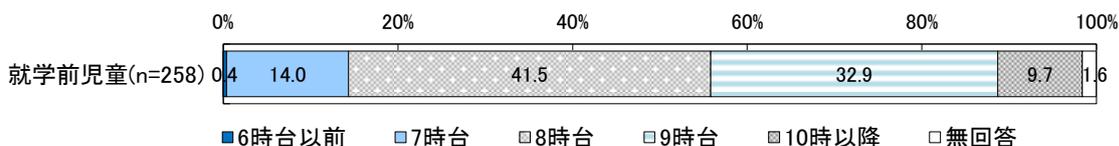
<日曜・祝日>

【定期的な教育・保育事業の利用希望】



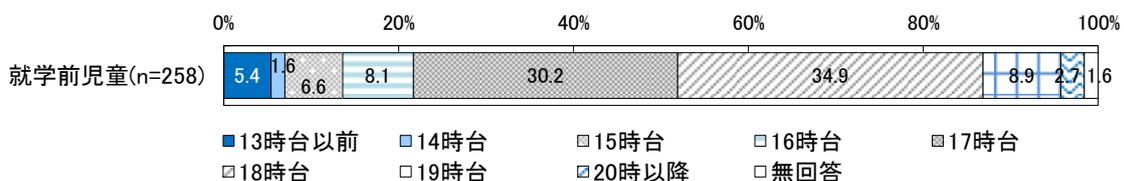
日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について、『利用したい』と回答した割合が21.9%となっている。

【希望開始時間】



日曜・祝日の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が41.5%と最も高く、次いで「9時台」(32.9%)となっている。

【希望終了時間】

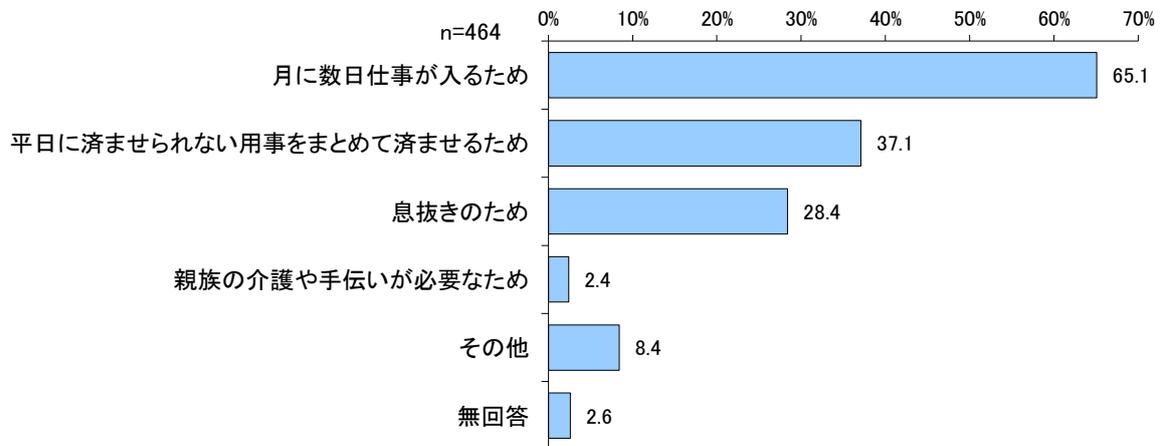


日曜・祝日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が34.9%と最も高く、次いで「17時台」(30.2%)となっている。

問 15(1)または(2)で「3 月に1～2回は利用したい」と回答した人のみ回答

問 15-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

【土曜日に教育・保育事業をたまに利用したい理由】



土曜日に教育・保育事業をたまに利用したい理由について、「月に数日仕事が入るため」と回答した割合が 65.1%と最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(37.1%)、「息抜きのため」(28.4%)が続いている。

(2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

「幼稚園」を利用している人のみ回答

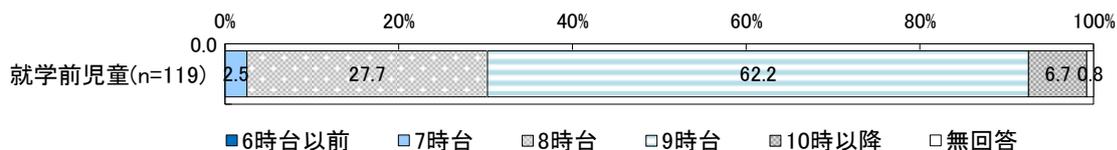
問 16 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

【長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】



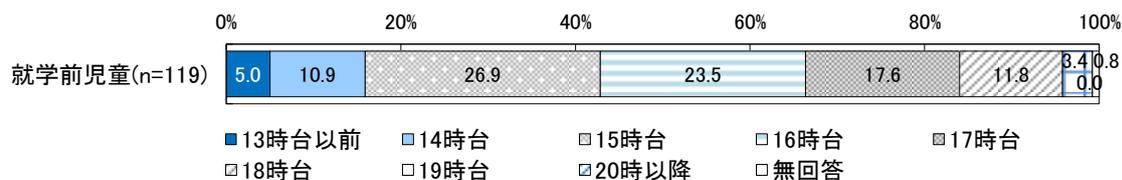
長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について、『利用したい』（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」＋「休みの期間中、週に数日利用したい」）と回答した割合が 61.1%となっている。

【希望開始時間】



長期休暇期間中の希望開始時間について、「9時台」と回答した割合が 62.2%と最も高く、次いで「8時台」（27.7%）となっている。

【希望終了時間】

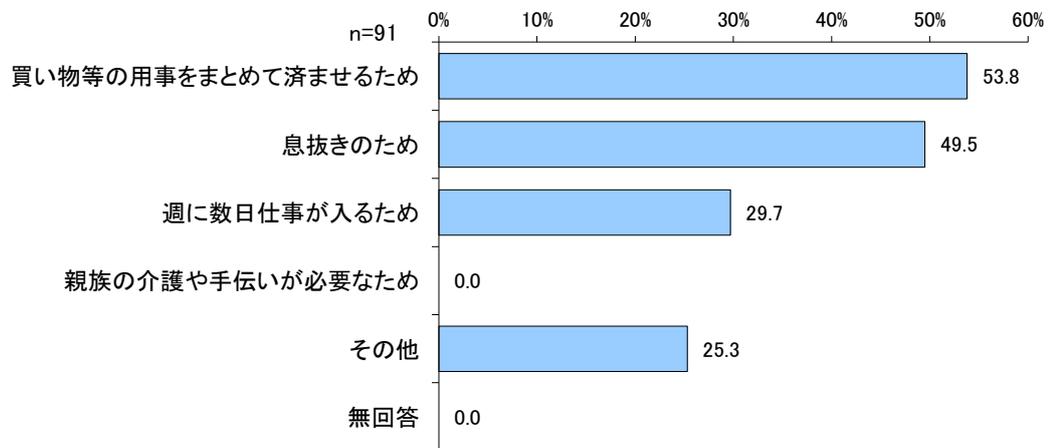


長期休暇期間中の希望終了時間について、「15時台」と回答した割合が 26.9%と最も高く、次いで「16時台」（23.5%）となっている。

問 16 で「3 週に数日利用したい」と回答した人のみ回答

問 16-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

【長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由】



長期休暇期間中に教育・保育事業をたまに利用したい理由について、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」と回答した割合が 53.8% と最も高く、「息抜きのため」(49.5%)、「週に数日仕事が入るため」(29.7%)が続いている。

## 7 病気の際の対応

### (1) 病気等により事業を利用できなかった経験

問 11 で「1」（平日の定期的な教育・保育事業を利用している）と回答した人のみ回答

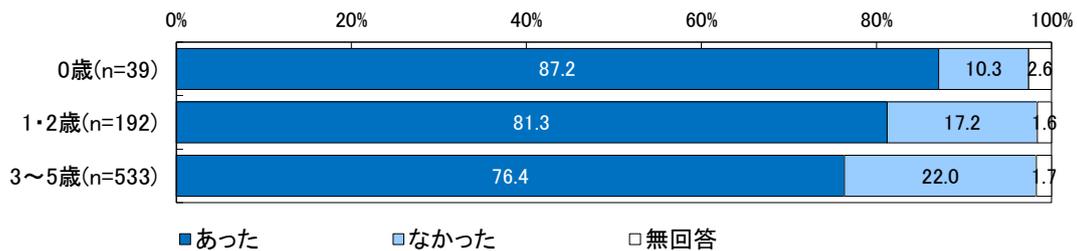
問 17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

【病気やけがで通常の事業が利用できなかった経験の有無】



病気やけがで通常の事業が利用できなかった経験の有無について、「あった」と回答した割合が77.6%となっている。

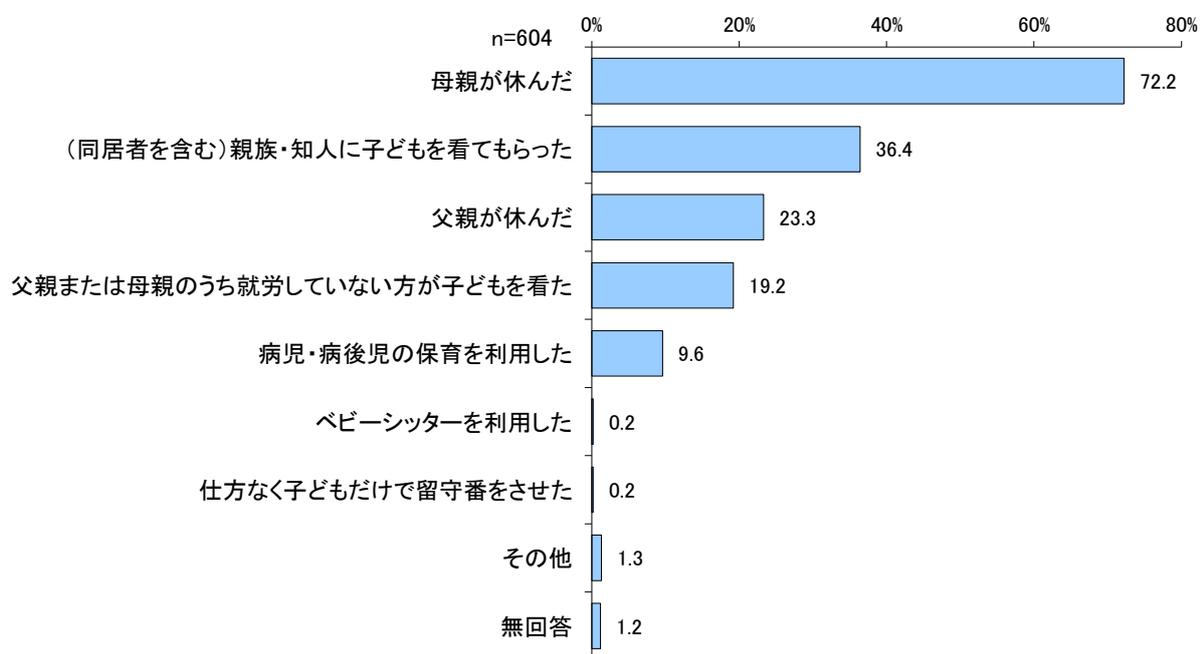
【病気やけがで通常の事業が利用できなかった経験の有無（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「あった」と回答した割合は年齢が低いほど高くなっている。

問 17-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処法は何ですか。

【教育・保育事業を利用できなかった場合の対処法】



教育・保育事業を利用できなかった場合の対処法について、「母親が休んだ」と回答した割合が72.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった」(36.4%)となっている。

【教育・保育事業を利用できなかった場合の年間対応日数（平均日数）】

	回答数	平均日数
父親が休んだ	136	3.4
母親が休んだ	406	8.5
(同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	210	5.7
父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	110	6.2
病児・病後児の保育を利用した	57	4.5
ベビーシッターを利用した	1	10.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	3.0
その他	7	6.1

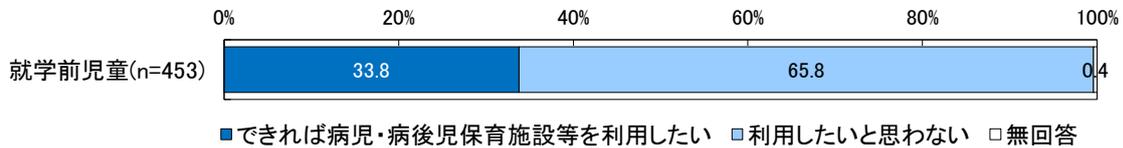
教育・保育事業を利用できなかった場合の年間対応日数について、「母親が休んだ」の平均日数が8.5日、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」の平均日数が6.2日となっている。

## (2) 病児・病後児保育施設の利用希望

問 17-1 で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した人のみ回答

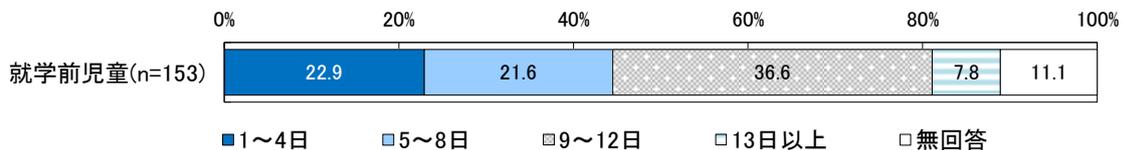
問 17-2 「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。

【病児・病後児保育施設の利用希望】



病児・病後児保育施設の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合が 33.8%となっている。

【病児・病後児保育施設の利用希望日数/年】

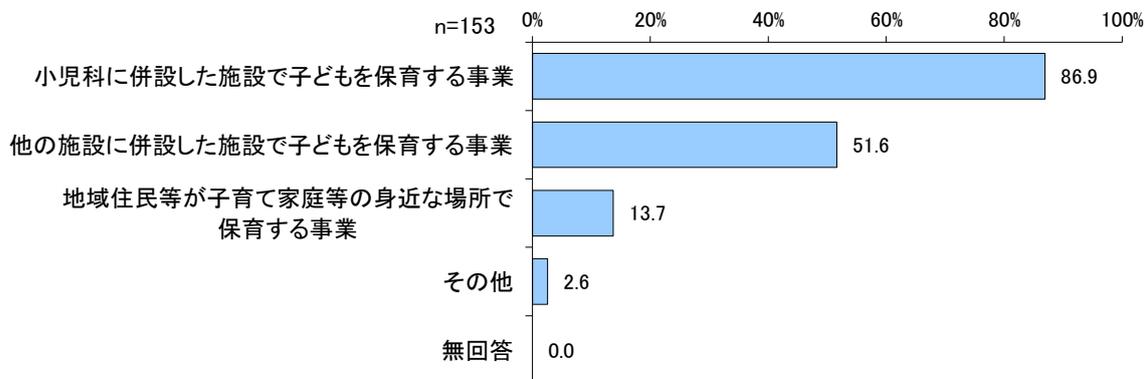


病児・病後児保育施設の年間の利用希望日数について、「9～12日」と回答した割合が 36.6%と最も高くなっている。

問 17-2 で「1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人のみ回答

問 17-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれが望ましいと思われますか。

【病児・病後児保育施設として望ましい事業】

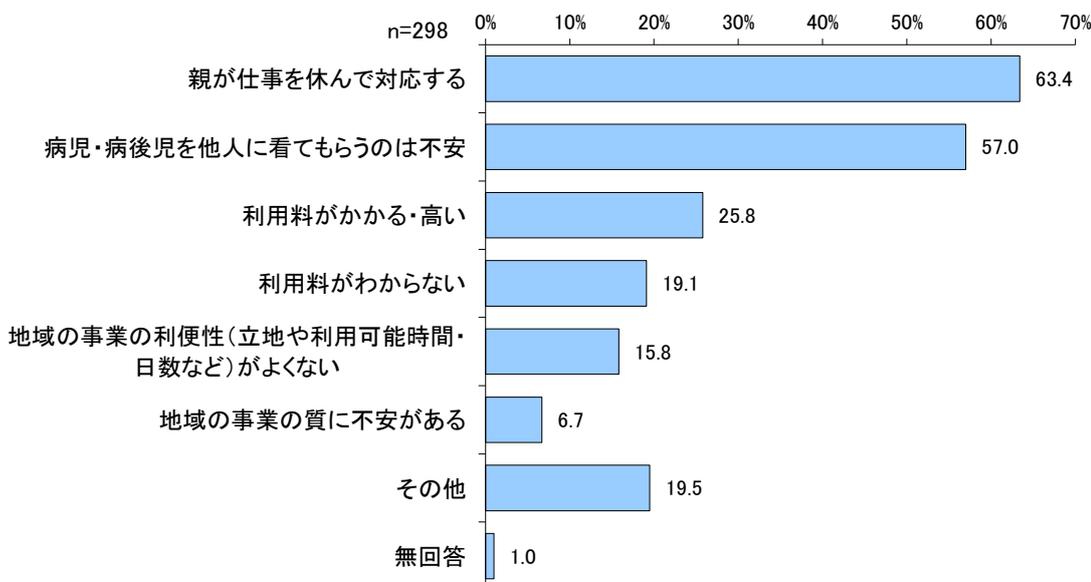


病児・病後児保育施設として望ましい事業について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」と回答した割合が 86.9%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(51.6%)となっている。

問 17-2 で「2 利用したいと思わない」と回答した人のみ回答

問 17-4 そう思われる理由は何ですか。

【病児・病後児保育施設を利用したくない理由】

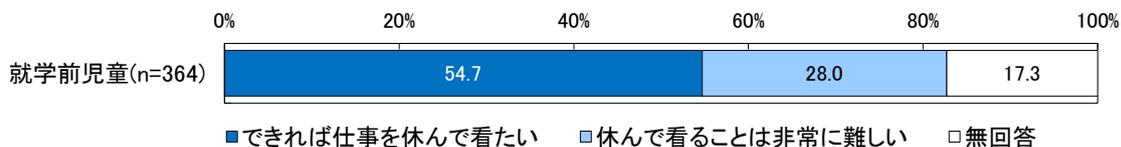


病児・病後児保育施設を利用したくない理由について、「親が仕事を休んで対応する」と回答した割合が 63.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(57.0%)となっている。

問 17-1 で「ウ」から「ク」のいずれかに回答した人のみ回答

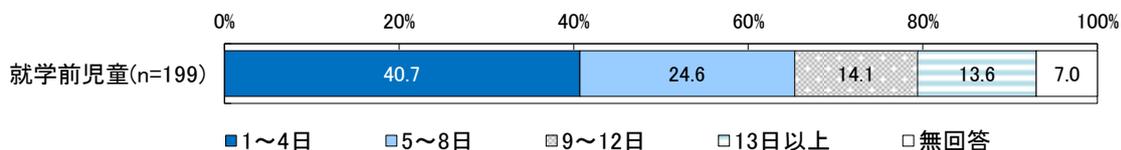
問 17-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

【できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思うか】



できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思うかについて、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した割合が 54.7%、「休んで看することは非常に難しい」と回答した割合が 28.0% となっている。

【仕事を休んで看たい日数/年】

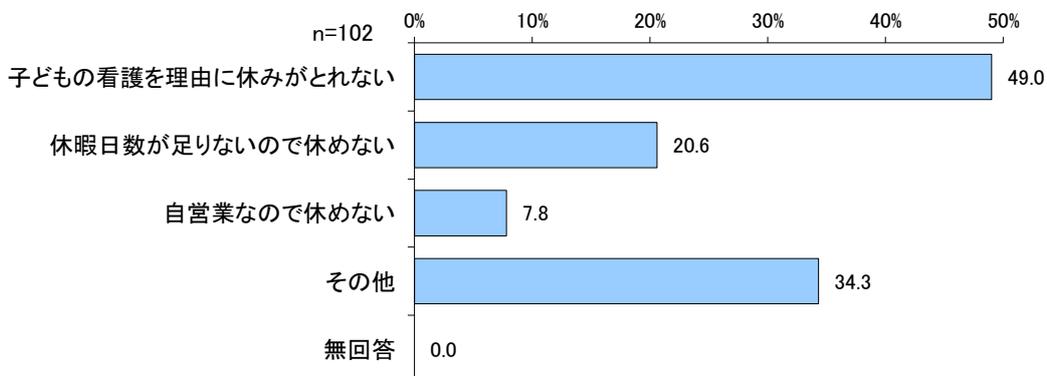


仕事を休んで看たい年間の日数について、「1～4日」と回答した割合が 40.7%と最も高くなっている。

問 17-5 で「2 休んで看することは非常に難しい」と回答した人のみ回答

問 17-6 そう思われる理由は何ですか。

【仕事を休んで看することは非常に難しい理由】



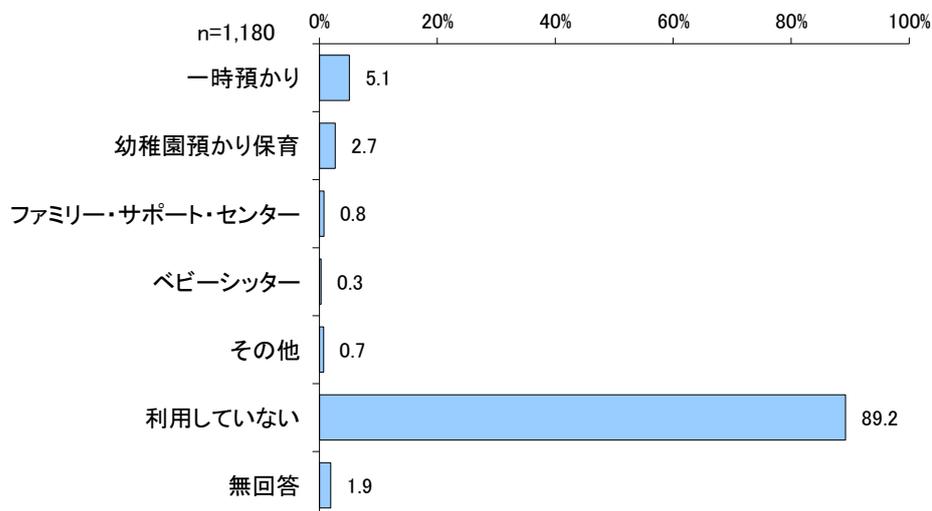
仕事を休んで看することは非常に難しい理由について、「子どもの看護を理由に休みがとれない」と回答した割合が 49.0%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」(20.6%) となっている。

## 8 不規則の保育事業

### (1) 不規則に利用している事業

問 18 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則に利用している事業はありますか。

【不規則に利用している事業】



不規則に利用している事業について、「一時預かり」と回答した割合が 5.1%と最も高く、次いで「幼稚園預かり保育」(2.7%)となっている。

また、「利用していない」と回答した割合が 89.2%となっている。

【不規則の事業の年間利用日数 (平均日数)】

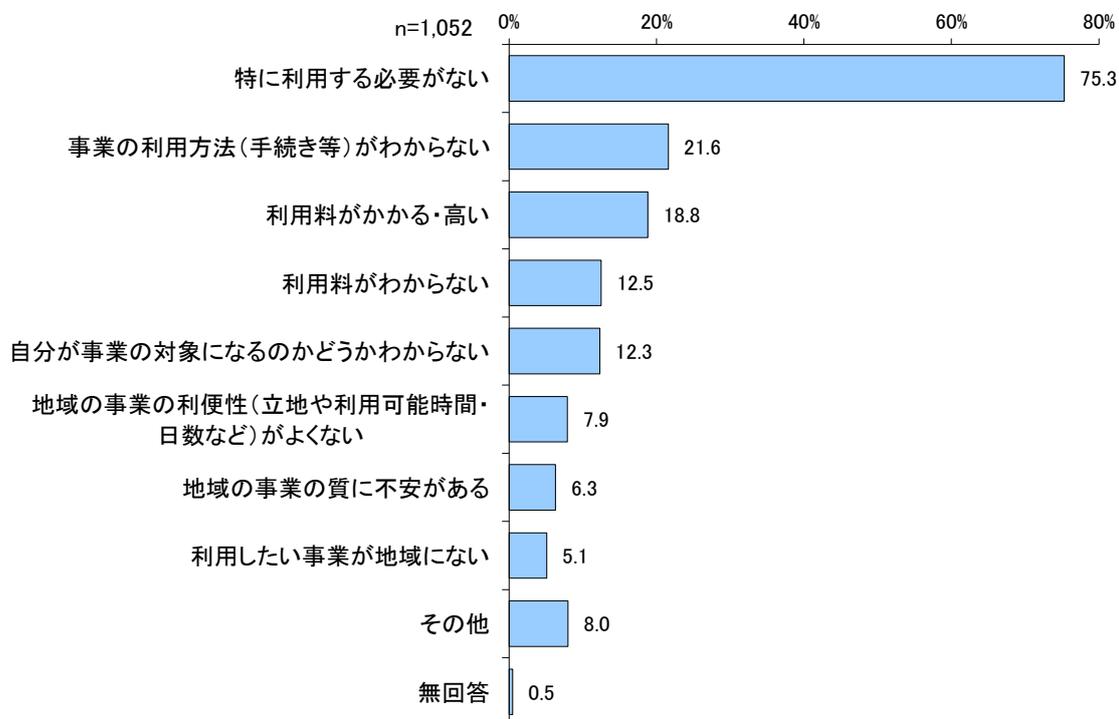
	回答数	平均日数
一時預かり	60	33.1
幼稚園預かり保育	30	22.0
ファミリー・サポート・センター	9	13.0
ベビーシッター	3	7.0
その他	7	49.7

不規則の事業の年間利用日数について、「一時預かり」の平均日数が 33.1 日、「幼稚園預かり保育」の平均日数が 22.0 日となっている。

問 18 で「6 利用していない」と回答した人のみ回答

問 18-1 現在利用していない理由は何ですか。

【不定期の事業を利用していない理由】

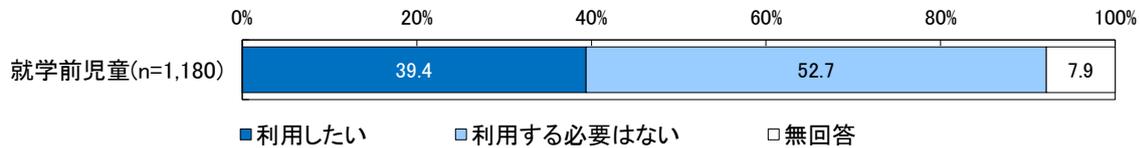


不定期の事業を利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（21.6%）、「利用料がかかる・高い」（18.8%）、「利用料がわからない」（12.5%）、「自分が事業の対象になるのかわからない」（12.3%）と回答した割合が上位にあがっており、事業の周知に関する項目が多くなっている。

(2) 私用等の目的による事業の利用希望

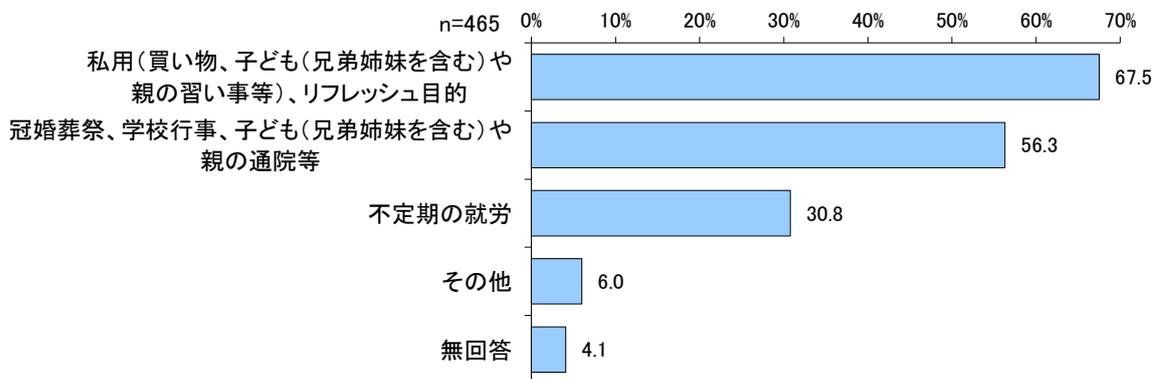
問 19 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

【私用等の目的による事業の利用希望】



私用等の目的による事業の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 39.4%となっている。

【利用したい目的】



利用したい目的について、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」と回答した割合が 67.5%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(56.3%)となっている。

【私用等の目的による事業の年間利用希望日数(平均日数)】

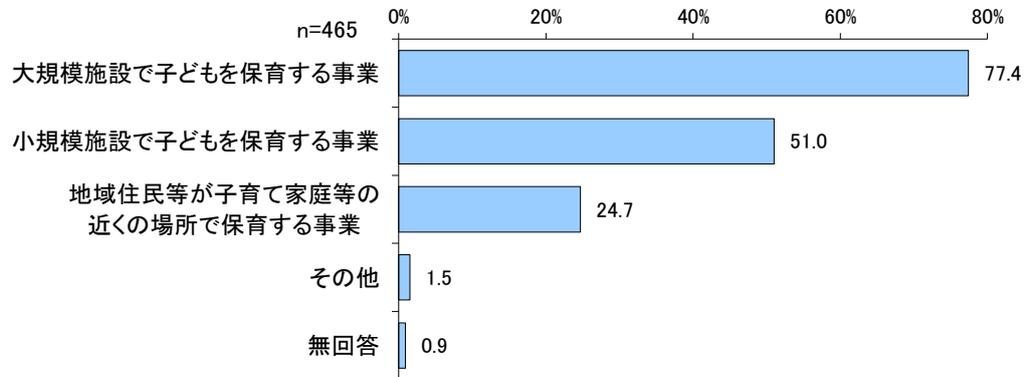
	回答数	平均日数
合計	435	27.2
私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	302	15.3
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	248	8.5
不定期の就労	132	30.9
その他	23	33.5

私用等の目的による事業の年間利用希望日数について、「不定期の就労」の平均日数が 30.9日と多くなっており、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の平均日数が 15.3日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の平均日数が 8.5日となっている。

問 19 で「1 利用したい」と回答した人のみ回答

問 19-1 私用、親の通院、不定期の就労の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれが望ましいと思われますか。

【私用等の目的で子どもを預ける際の望ましい事業】

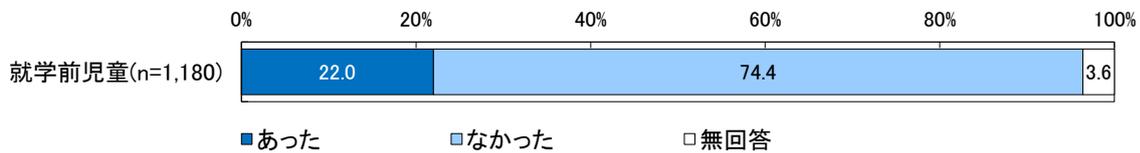


私用等の目的で子どもを預ける際の望ましい事業について、「大規模施設で子どもを保育する事業」と回答した割合が 77.4%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(51.0%) となっている。

### (3) 保育施設等に泊りがけで子どもを預けた経験

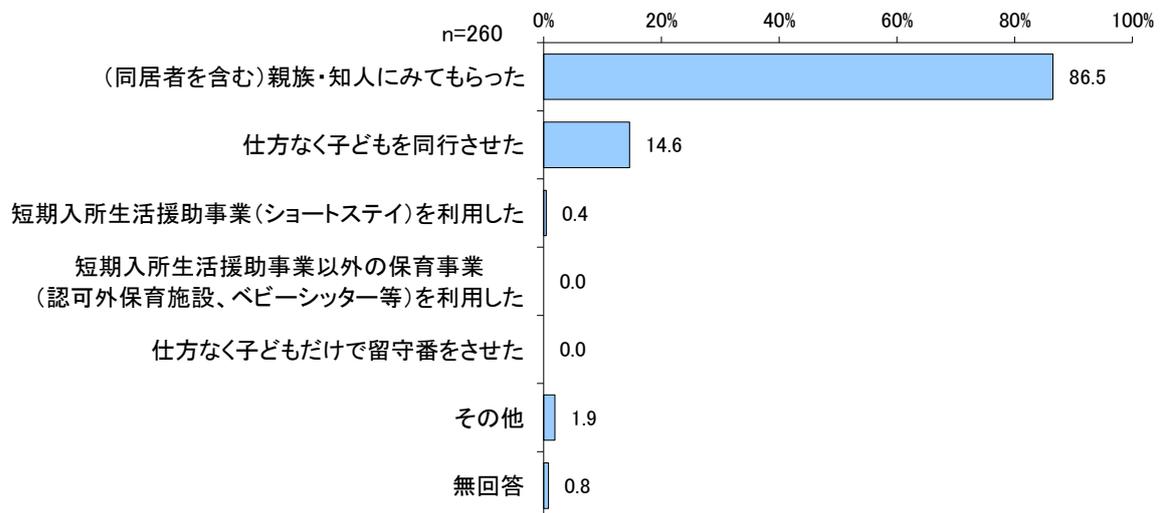
問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんが泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

【泊りがけで家族以外に子どもを預けた経験の有無】



泊りがけで家族以外に子どもを預けた経験の有無について、「あった」と回答した割合が22.0%となっている。

【泊りがけで家族以外に子どもを預けた際の対処法】



泊りがけで家族以外に子どもを預けた際の対処法について、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答した割合が86.5%と最も高くなっている。

【泊りがけで家族以外に子どもを預けた年間泊数（平均泊数）】

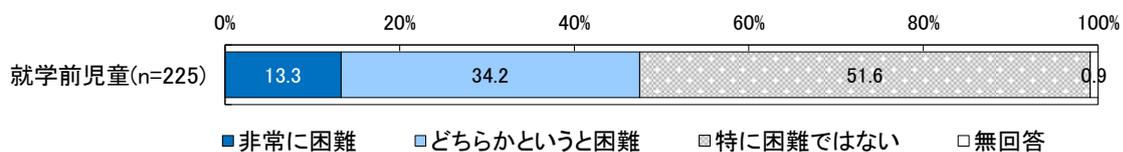
	回答数	平均泊数
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	215	6.5
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	2.0
短期入所生活援助事業(ショートステイ)以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-
仕方なく子どもを同行させた	33	2.7
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	-
その他	1	1.0

泊りがけで家族以外に子どもを預けた年間泊数について、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の平均泊数が6.5泊となっている。

問 20 で「1 あった（ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった）」と回答した人のみ回答

問 20-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

【（同居者を含む）親族・知人にみてもらった場合の困難度】

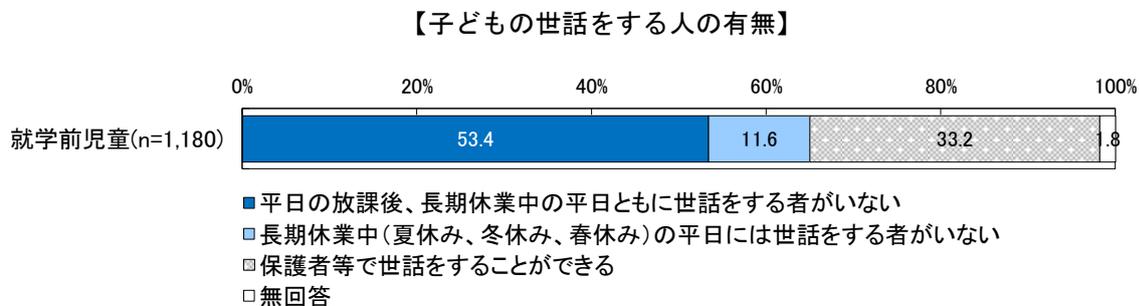


（同居者を含む）親族・知人にみてもらった場合の困難度について、『困難』（「非常に困難」＋「どちらかという困難」）と回答した割合が 47.5%となっている。

## 9 放課後児童クラブ（就学前児童）

### (1) 子どもの世話をする人の有無

問 21(1) 平日の放課後、学校の長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の平日に、ご家庭などでお子さんの世話をする方はいますか。



子どもの世話をする人の有無について、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合が 53.4%となっている。

(2) 放課後児童クラブの利用希望

問 21(1)で「1 平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」または「2 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の平日には世話をする者がいない」と回答した人のみ回答

問 21(2) 小学校授業日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【放課後児童クラブの利用希望（小学校授業日）】



小学校授業日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が93.9%となっている。

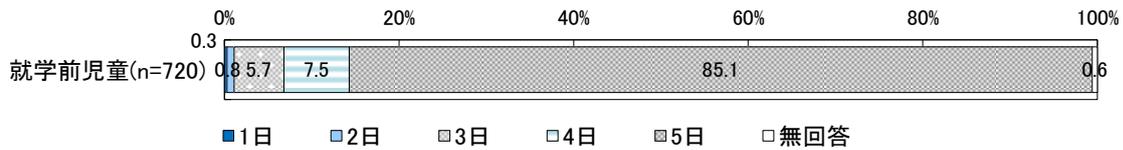
【利用希望終了学年（小学校授業日）】



小学校授業日の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が36.9%と最も高くなっている。

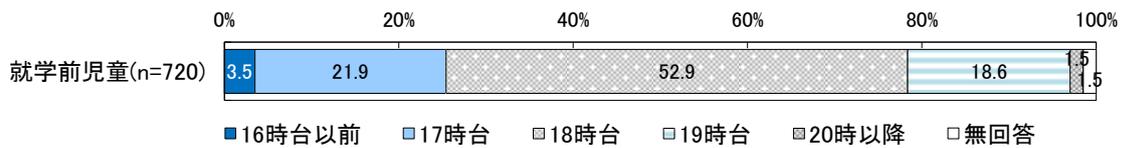
問 21(3) 小学校授業日の利用希望日数と利用したい時間についてうかがいます。

【利用希望日数（小学校授業日）】



小学校授業日の利用希望日数について、「5日」と回答した割合が85.1%となっている。

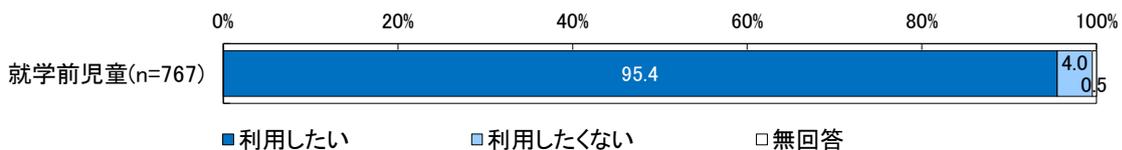
【希望終了時間（小学校授業日）】



小学校授業日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が52.9%と最も高くなっている。

問 21(4) 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【放課後児童クラブの利用希望（長期休業中）】



長期休業中の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が95.4%となっている。

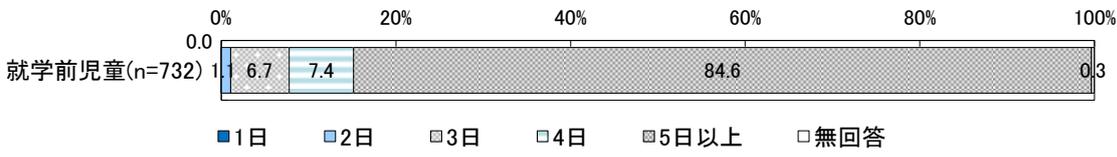
【利用希望終了学年（長期休業中）】



長期休業中の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が43.2%と最も高くなっている。

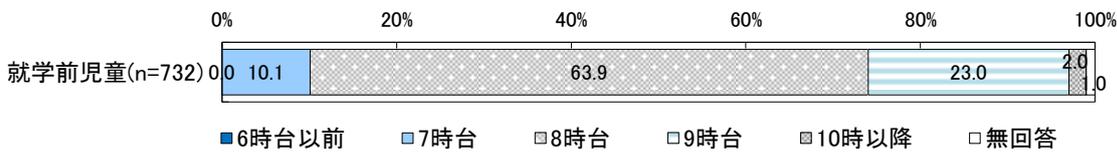
問 21(5) 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の利用希望日数と利用したい時間についてうかがいます。

【利用希望日数（長期休業中）】



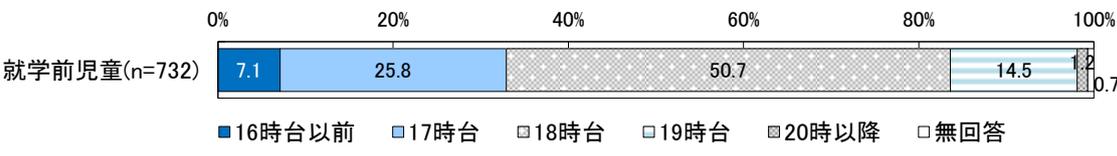
長期休業中の利用希望日数について、「5日以上」と回答した割合が84.6%となっている。

【希望開始時間（長期休業中）】



長期休業中の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が63.9%と最も高くなっている。

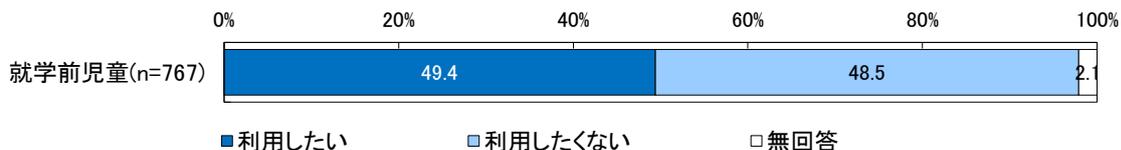
【希望終了時間（長期休業中）】



長期休業中の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が50.7%と最も高くなっている。

問 21(6) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【放課後児童クラブの利用希望（土曜日）】



土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 49.4%となっている。

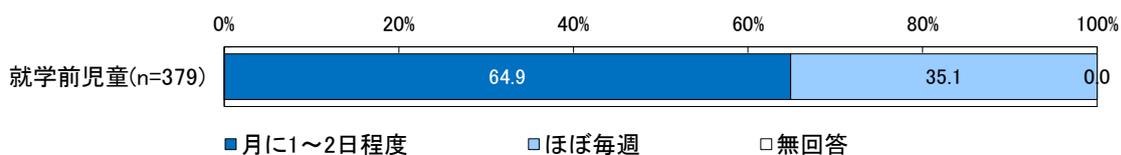
【利用希望終了学年（土曜日）】



土曜日の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が 42.2%と最も高くなっている。

問 21(7) 土曜日の利用希望日数はどのくらいですか。

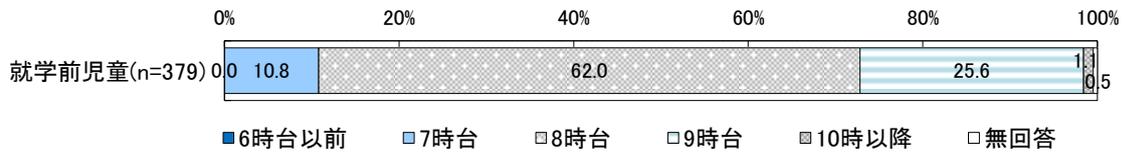
【利用希望日数（土曜日）】



土曜日の利用希望日数について、「月に1～2日程度」と回答した割合が 64.9%、「ほぼ毎週」と回答した割合が 35.1%となっている。

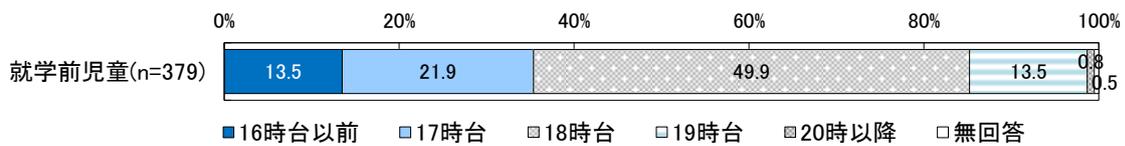
問 21 (8) 土曜日の利用したい時間は何時頃ですか。

【希望開始時間（土曜日）】



土曜日の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が62.0%と最も高くなっている。

【希望終了時間（土曜日）】



土曜日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が49.9%と最も高くなっている。

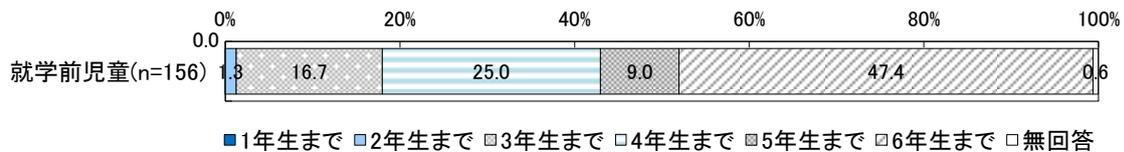
問 21 (9) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日）】



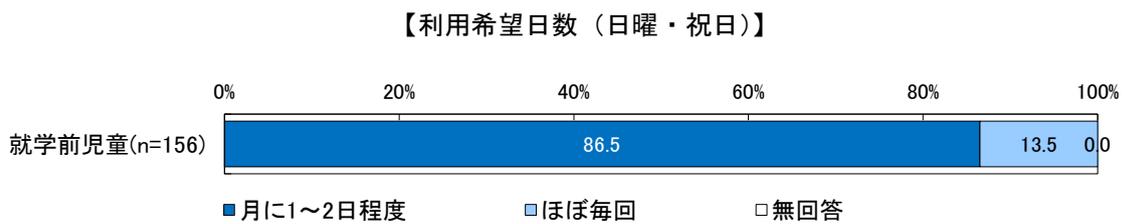
日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が20.3%となっている。

【利用希望終了学年（日曜・祝日）】



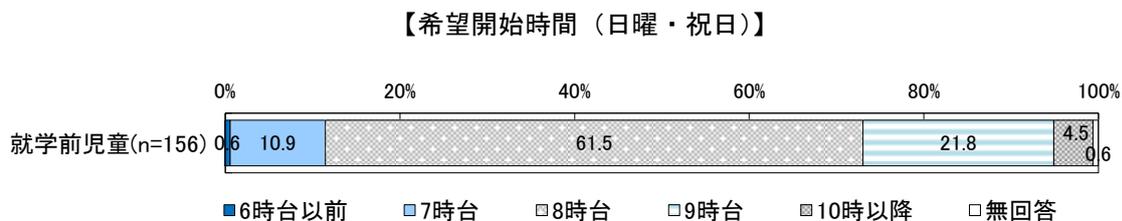
日曜・祝日の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が47.4%と最も高くなっている。

問 21 (10) 日曜・祝日の利用希望日数はどのくらいですか。

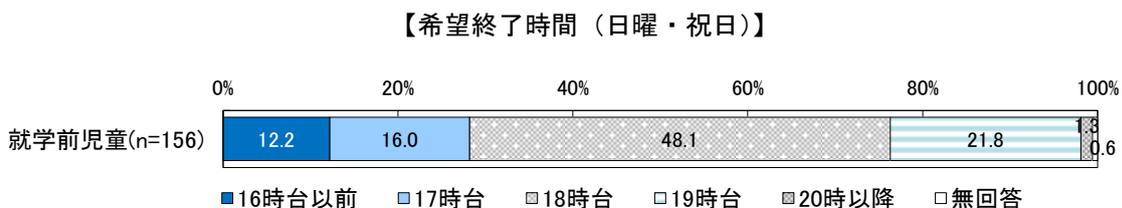


日曜・祝日の利用希望日数について、「月に1～2日程度」と回答した割合が86.5%、「ほぼ毎回」と回答した割合が13.5%となっている。

問 21 (11) 日曜・祝日の利用したい時間は何時頃ですか。



日曜・祝日の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が61.5%と最も高くなっている。

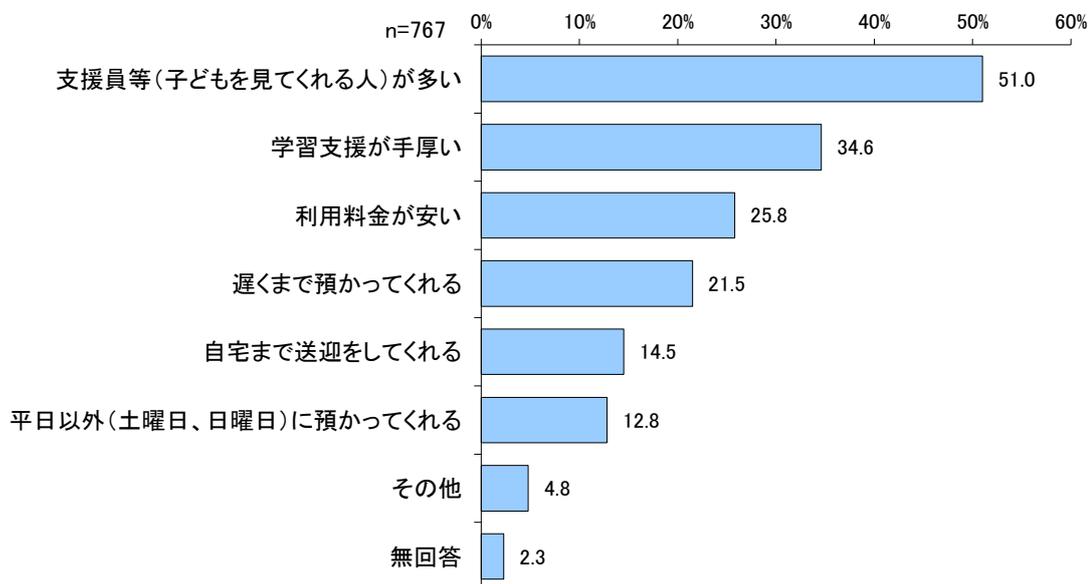


日曜・祝日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が48.1%と最も高くなっている。

### (3) 魅力を感じる児童クラブ

問 21(12) どんな児童クラブに魅力を感じますか。

【魅力を感じる児童クラブ】



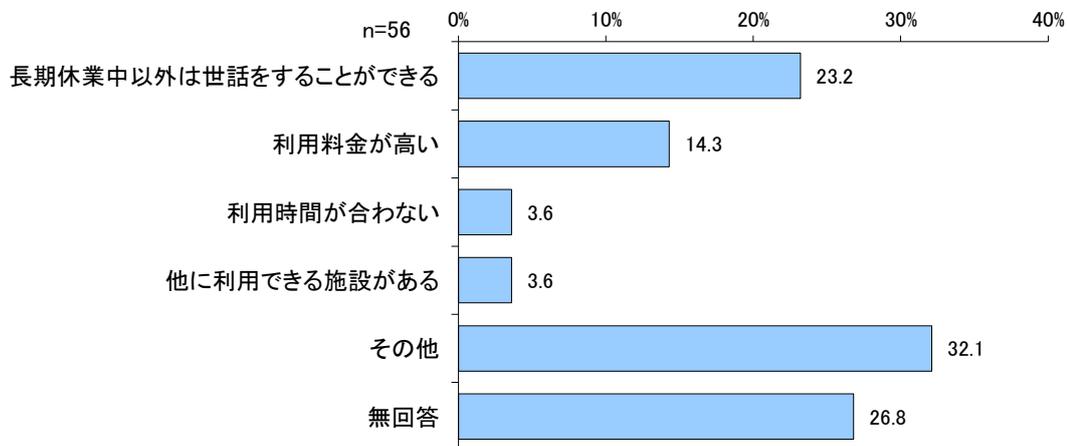
魅力を感じる児童クラブについて、「支援員等（子どもを見てくれる人）が多い」と回答した割合が 51.0%と最も高く、「学習支援が手厚い」（34.6%）、「利用料金が安い」（25.8%）、「遅くまで預かってくれる」（21.5%）が続いている。

(4) 放課後児童クラブを利用したくない理由

問 21(2) または(4) で「2 利用したくない」と回答した人のみ回答

問 21(13) 利用したくない理由は何ですか。

【放課後児童クラブを利用したくない理由】



放課後児童クラブを利用したくない理由について、「長期休業中以外は世話をすることができる」と回答した割合が 23.2%と最も高く、次いで「利用料金が低い」(14.3%)となっている。

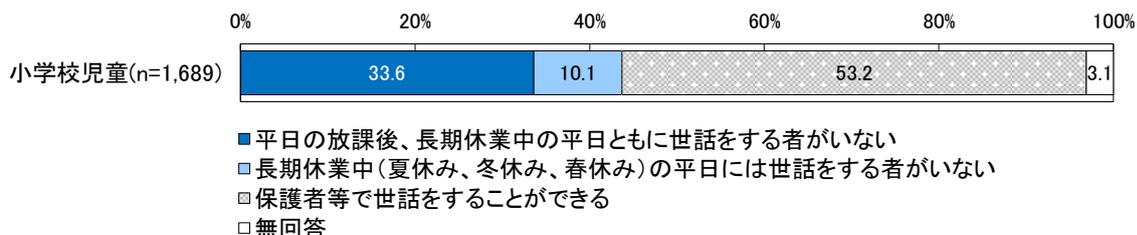
## 10 放課後児童クラブ（小学校児童）

### (1) 子どもの世話をする人の有無

宛名の子どもが小学生の人のみ回答

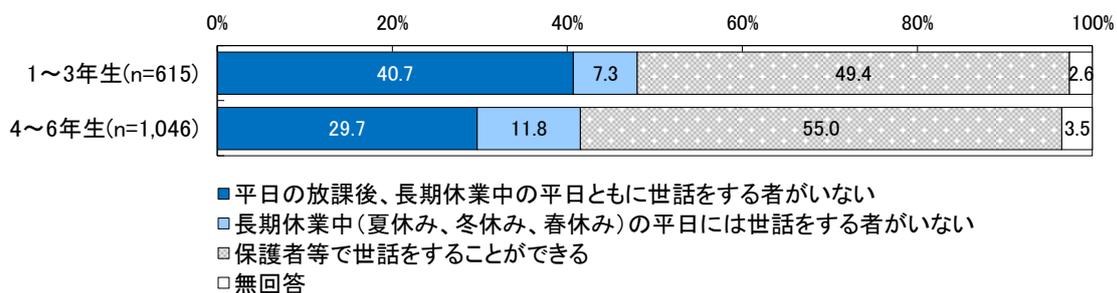
問 22(1) 平日の放課後、学校の長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の平日に、ご家庭などでお子さんの世話をする方はいますか。

【子どもの世話をする人の有無】



子どもの世話をする人の有無について、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合が33.6%となっている。

【子どもの世話をする人の有無（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」と回答した割合は1～3年生で40.7%、4～6年生で29.7%となっている。

## (2) 放課後児童クラブの利用状況

問 22 (1) で「1 平日の放課後、長期休業中の平日ともに世話をする者がいない」または「2 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の平日には世話をする者がいない」と回答した人のみ回答

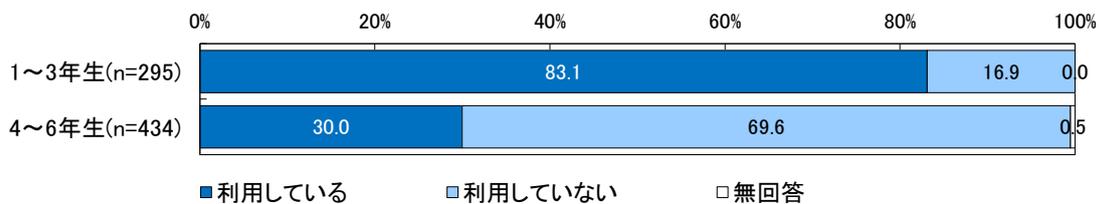
問 22 (2) 小学校授業日の放課後児童クラブの利用状況についてうかがいます。

【放課後児童クラブの利用状況（小学校授業日）】



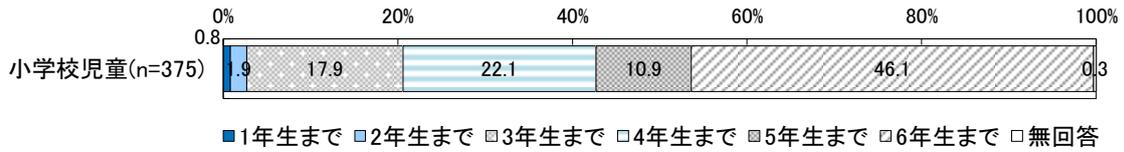
小学校授業日の放課後児童クラブの利用状況について、「利用している」と回答した割合が 50.9%となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】



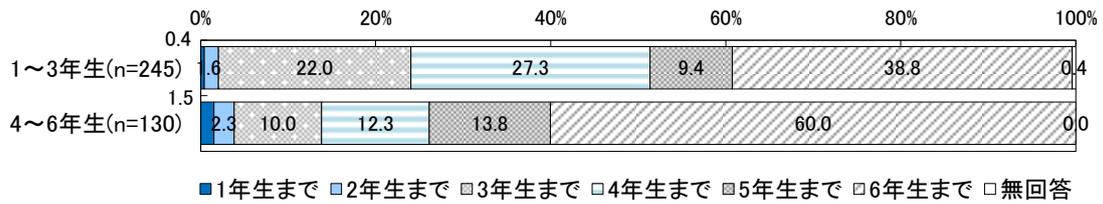
学年別にみると、「利用している」と回答した割合は 1～3 年生で 83.1%、4～6 年生で 30.0%となっている。

【利用希望終了学年（小学校授業日）】



小学校授業日の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が46.1%と最も高くなっている。

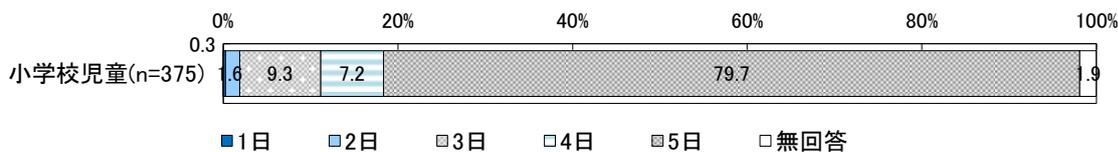
【利用希望終了学年（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「6年生まで」と回答した割合は4～6年生で60.0%となっている。

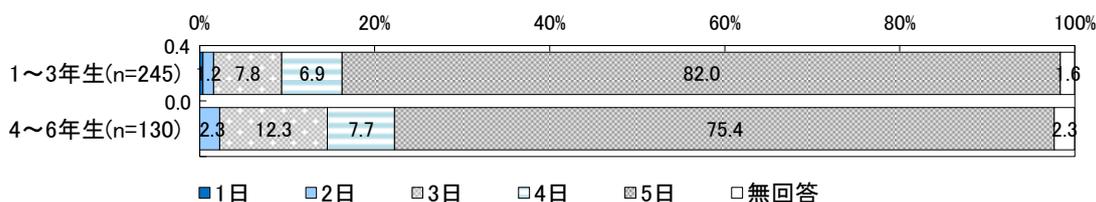
問 22(3) 小学校授業日の利用希望日数と利用したい時間についてうかがいます。

【利用希望日数（小学校授業日）】



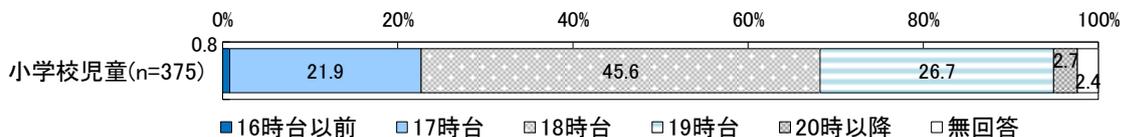
小学校授業日の利用希望日数について、「5日」と回答した割合が79.7%となっている。

【利用希望日数（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】



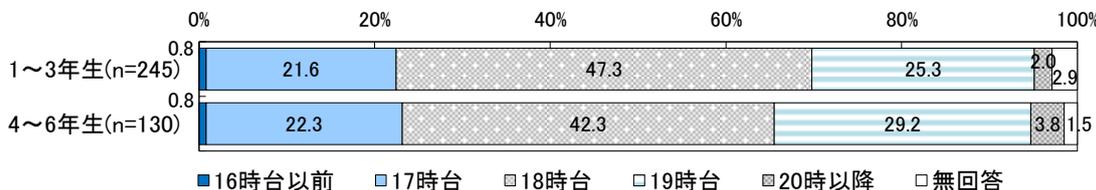
学年別にみると、「5日」と回答した割合は1～3年生で82.0%となっている。

【希望終了時間（小学校授業日）】



小学校授業日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が45.6%と最も高くなっている。

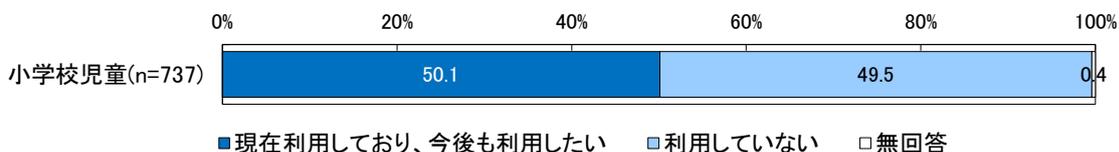
【希望終了時間（小学校授業日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「19時台」と回答した割合は4～6年生が1～3年生よりも高く、29.2%となっている。

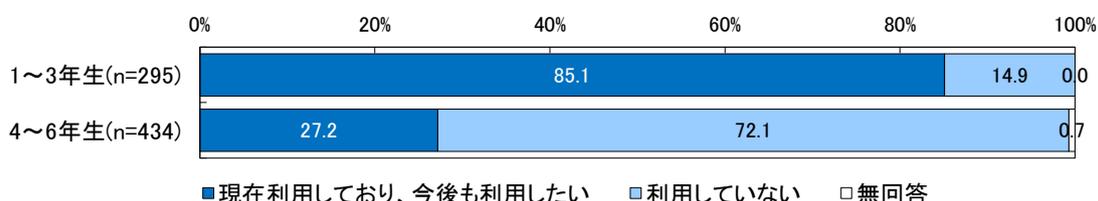
問 22(4) 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の放課後児童クラブの利用状況についてうかがいます。

【放課後児童クラブの利用状況（長期休業中）】



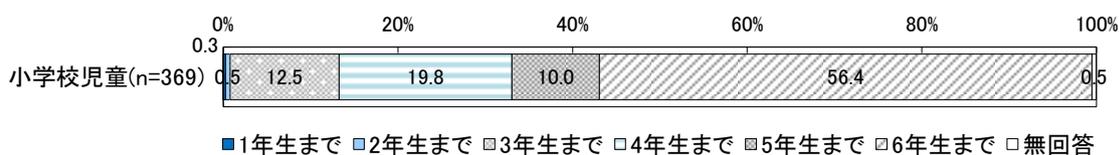
長期休業中の放課後児童クラブの利用状況について、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合が50.1%となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



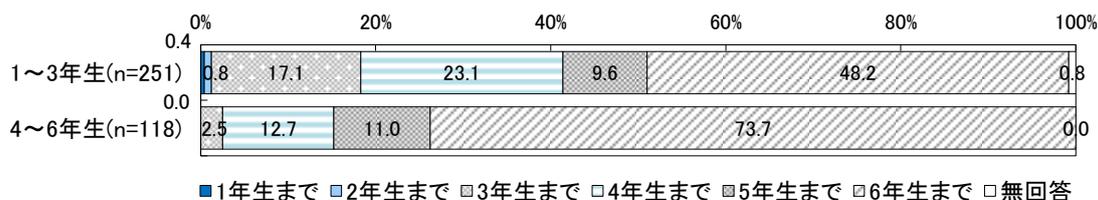
学年別にみると、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合は1～3年生で85.1%、4～6年生で27.2%となっている。

【利用希望終了学年（長期休業中）】



長期休業中の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が56.4%と最も高くなっている。

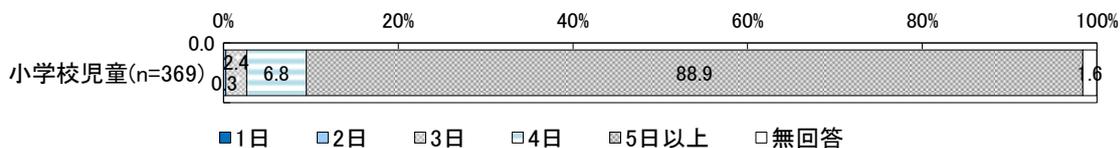
【利用希望終了学年（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「6年生まで」と回答した割合は4～6年生で73.7%となっている。

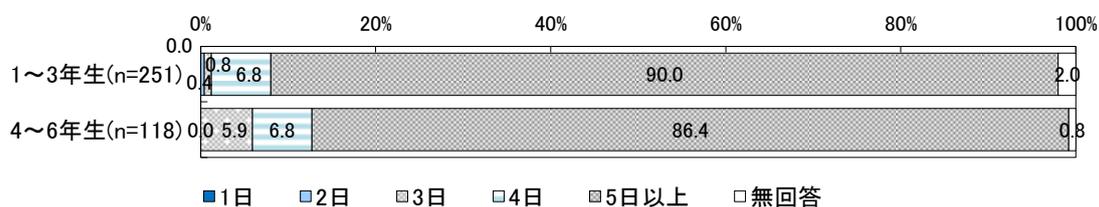
問 22(5) 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）の利用希望日数と利用したい時間についてうかがいます。

【利用希望日数（長期休業中）】



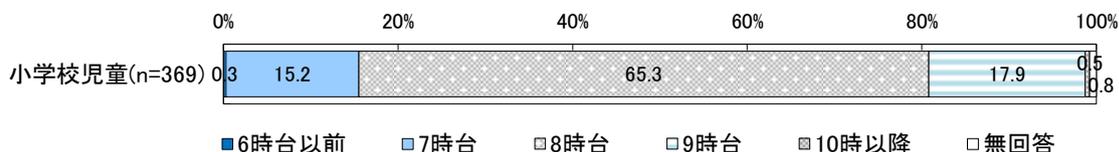
長期休業中の利用希望日数について、「5日以上」と回答した割合が88.9%となっている。

【利用希望日数（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



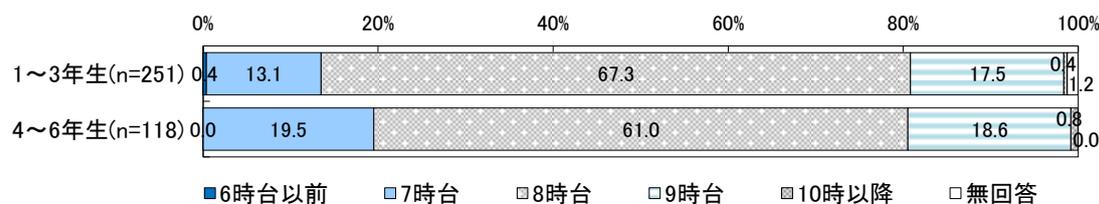
学年別にみると、「5日以上」と回答した割合はいずれの学年においても最も高くなっている。

【希望開始時間（長期休業中）】



長期休業中の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が65.3%と最も高くなっている。

【希望開始時間（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



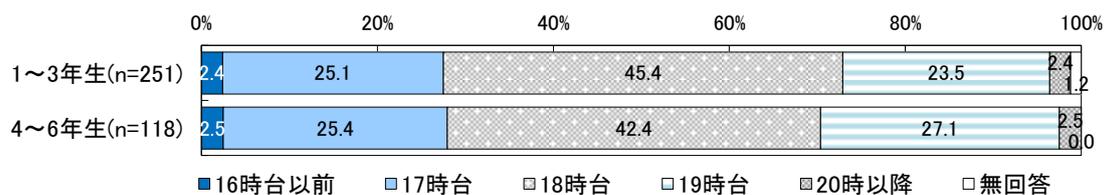
学年別にみると、「8時台」と回答した割合は1～3年生で67.3%となっている。

【希望終了時間（長期休業中）】



長期休業中の希望終了時間について、「18 時台」と回答した割合が 44.4%と最も高くなっている。

【希望終了時間（長期休業中）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「18 時台」と回答した割合はいずれの学年においても最も高くなっている。

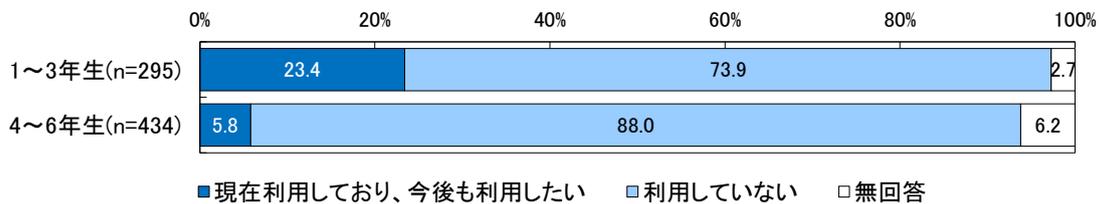
問 22(6) 土曜日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【放課後児童クラブの利用希望（土曜日）】



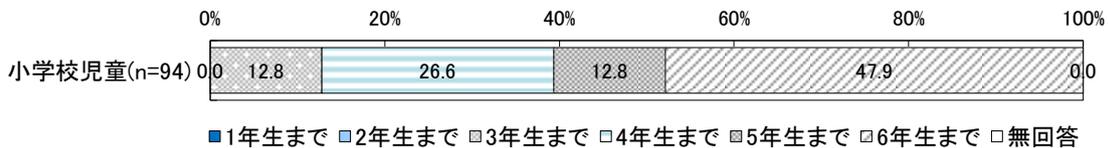
土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合が 12.8%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（土曜日）（小学校児童・学年別）】



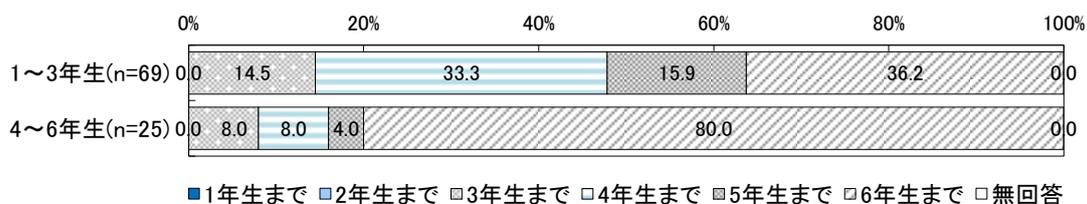
学年別にみると、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合は 1～3 年生で 23.4%、4～6 年生で 5.8%となっている。

【利用希望終了学年（土曜日）】



土曜日の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が 47.9%と最も高くなっている。

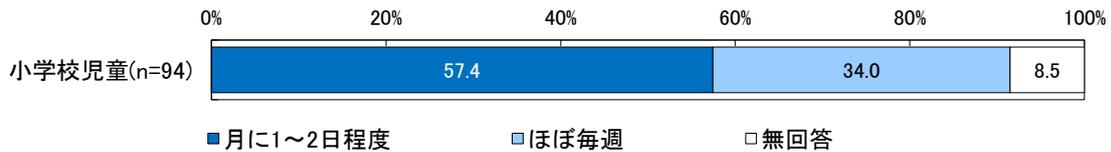
【利用希望終了学年（土曜日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「6年生まで」と回答した割合は 4～6 年生で 80.0%となっている。

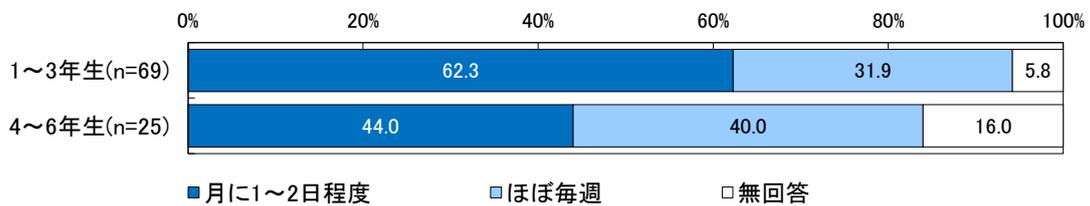
問 22(7) 土曜日の利用希望日数はどのくらいですか。

【利用希望日数（土曜日）】



土曜日の利用希望日数について、「月に1～2日程度」と回答した割合が57.4%、「ほぼ毎週」と回答した割合が34.0%となっている。

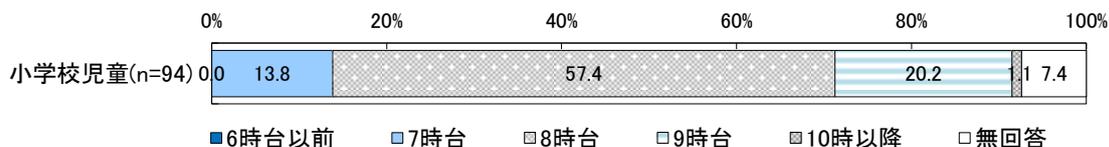
【利用希望日数（土曜日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「ほぼ毎週」と回答した割合は1～3年生で31.9%、4～6年生で40.0%となっている。

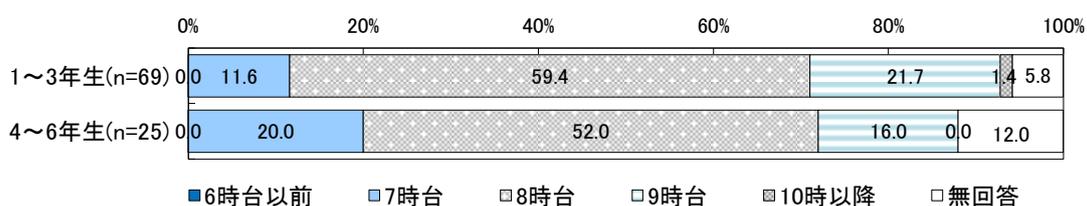
問 22(8) 土曜日の利用したい時間は何時頃ですか。

【希望開始時間（土曜日）】



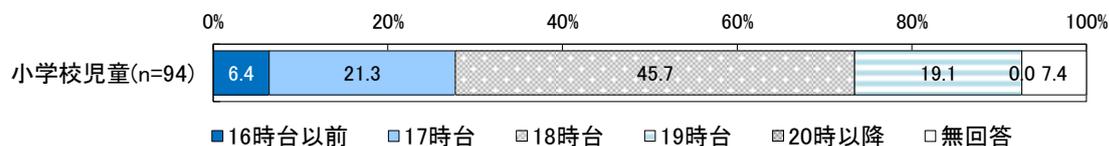
土曜日の希望開始時間について、「8時台」と回答した割合が57.4%と最も高くなっている。

【希望開始時間（土曜日）（小学校児童・学年別）】



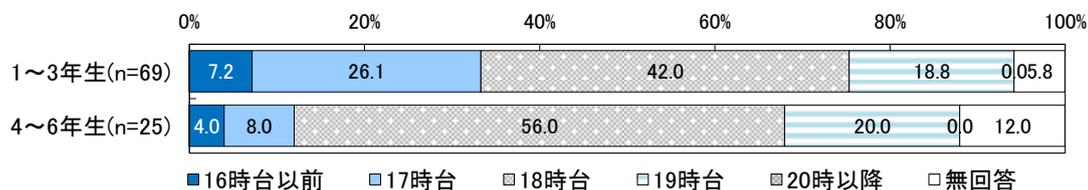
学年別にみると、「8時台」と回答した割合は1～3年生で59.4%となっている。

【希望終了時間（土曜日）】



土曜日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が45.7%と最も高くなっている。

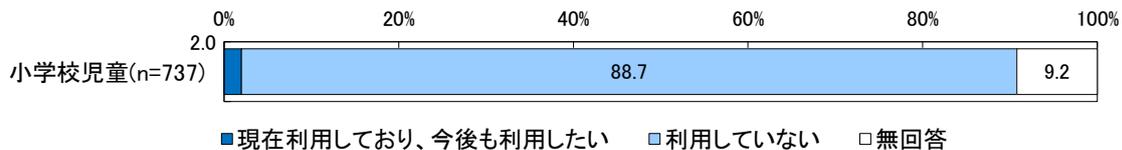
【希望終了時間（土曜日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「18時台」と回答した割合は4～6年生で56.0%となっている。

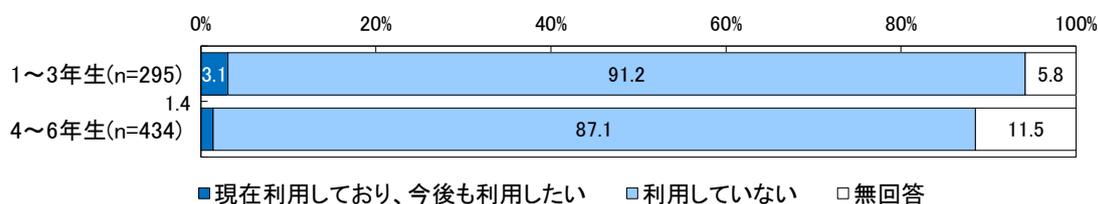
問 22 (9) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日）】



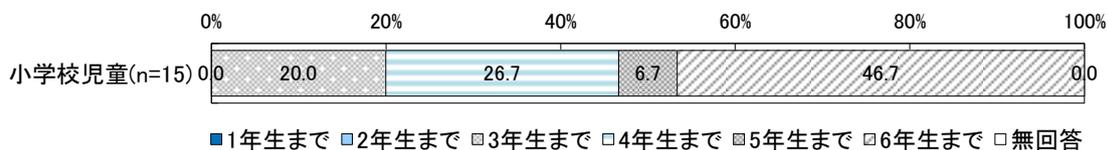
日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合が2.0%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（日曜・祝日）（小学校児童・学年別）】



学年別にみると、「現在利用しており、今後も利用したい」と回答した割合は1～3年生で3.1%となっている。

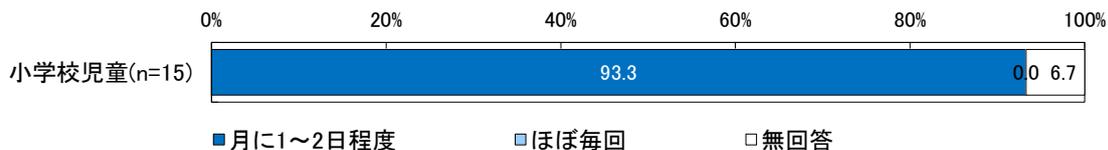
【利用希望終了学年（日曜・祝日）】



日曜・祝日の利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が46.7%と最も高くなっている。

問 22(10) 日曜・祝日の利用希望日数はどのくらいですか。

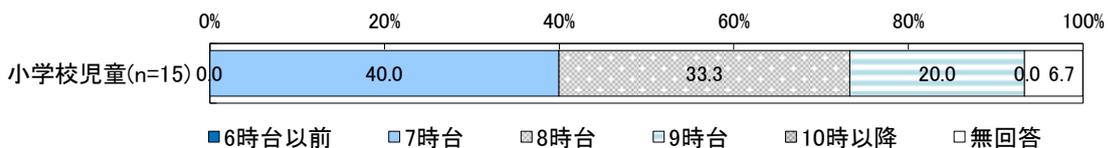
【利用希望日数（日曜・祝日）】



日曜・祝日の利用希望日数について、「月に1～2日程度」と回答した割合が93.3%となっている。

問 22(11) 日曜・祝日の利用したい時間は何時頃ですか。

【希望開始時間（日曜・祝日）】



日曜・祝日の希望開始時間について、「7時台」と回答した割合が40.0%と最も高くなっている。

【希望終了時間（日曜・祝日）】

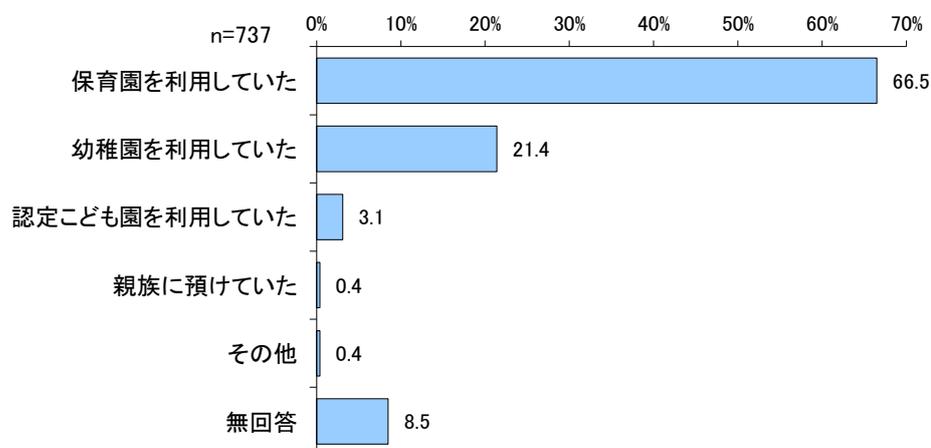


日曜・祝日の希望終了時間について、「18時台」と回答した割合が46.7%と最も高くなっている。

### (3) 小学校入学前の状況

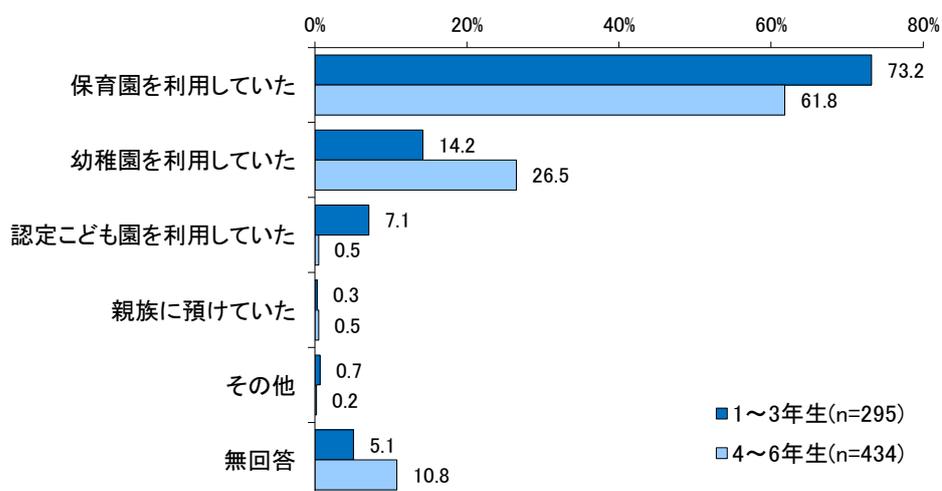
問 22(12) 小学校入学前の状況についてうかがいます。

【小学校入学前の状況】



小学校入学前の状況について、「保育園を利用していた」と回答した割合が 66.5%と最も高く、次いで「幼稚園を利用していた」(21.4%)となっている。

【小学校入学前の状況 (小学校児童・学年別)】

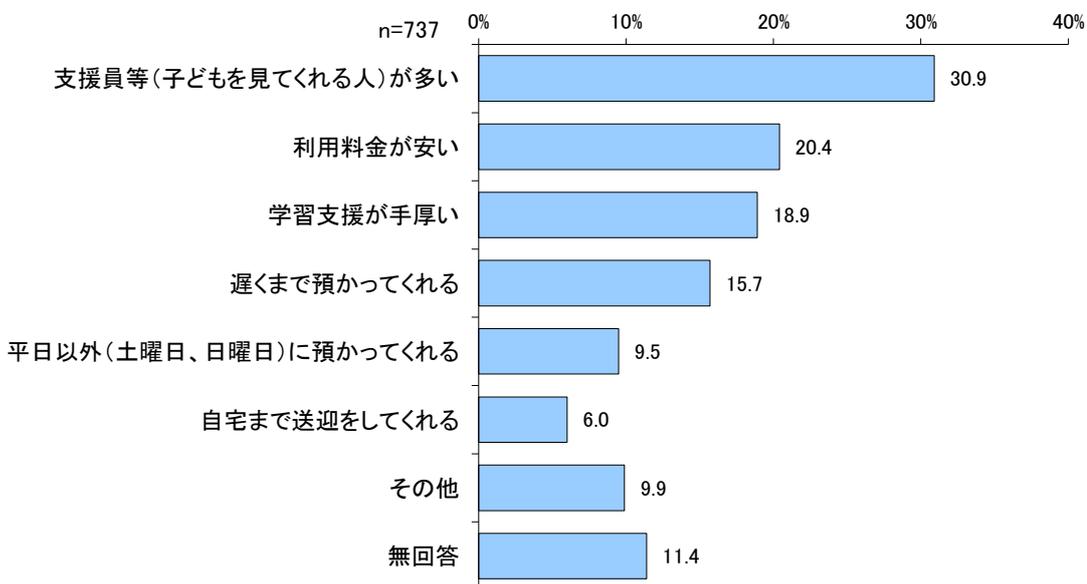


学年別にみると、「保育園を利用していた」と回答した割合はいずれの学年においても最も高くなっている。

#### (4) 魅力を感じる児童クラブ

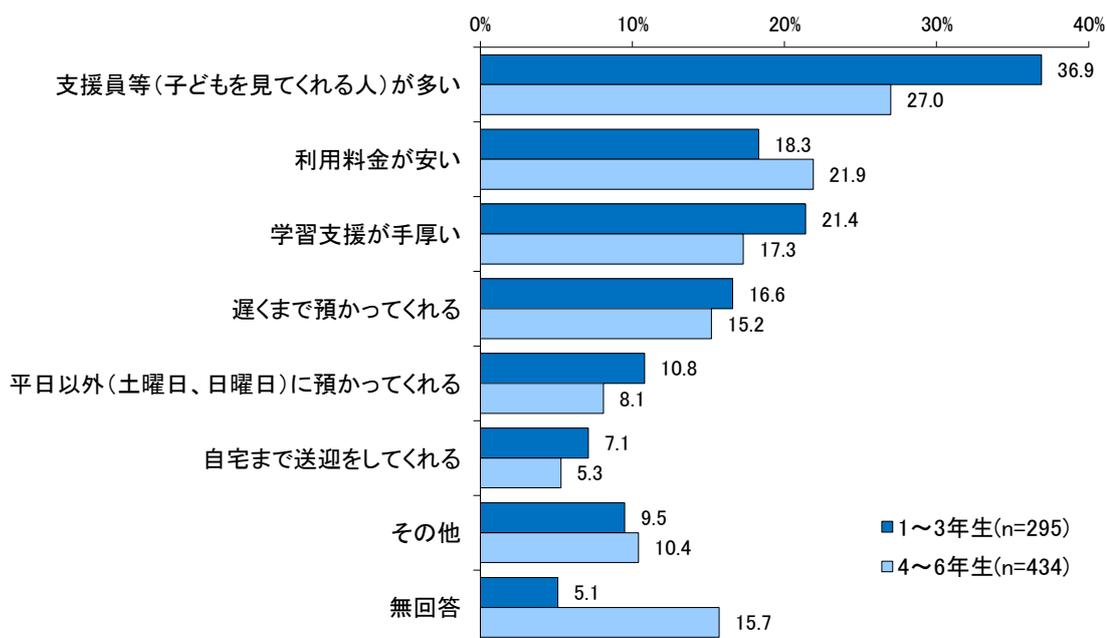
問 22(13) どんな児童クラブに魅力を感じますか。

【魅力を感じる児童クラブ】



魅力を感じる児童クラブについて、「支援員等（子どもを見てくれる人）が多い」と回答した割合が 30.9%と最も高く、「利用料金が安い」（20.4%）、「学習支援が手厚い」（18.9%）、「遅くまで預かってくれる」（15.7%）が続いている。

【魅力を感じる児童クラブ（小学校児童・学年別）】



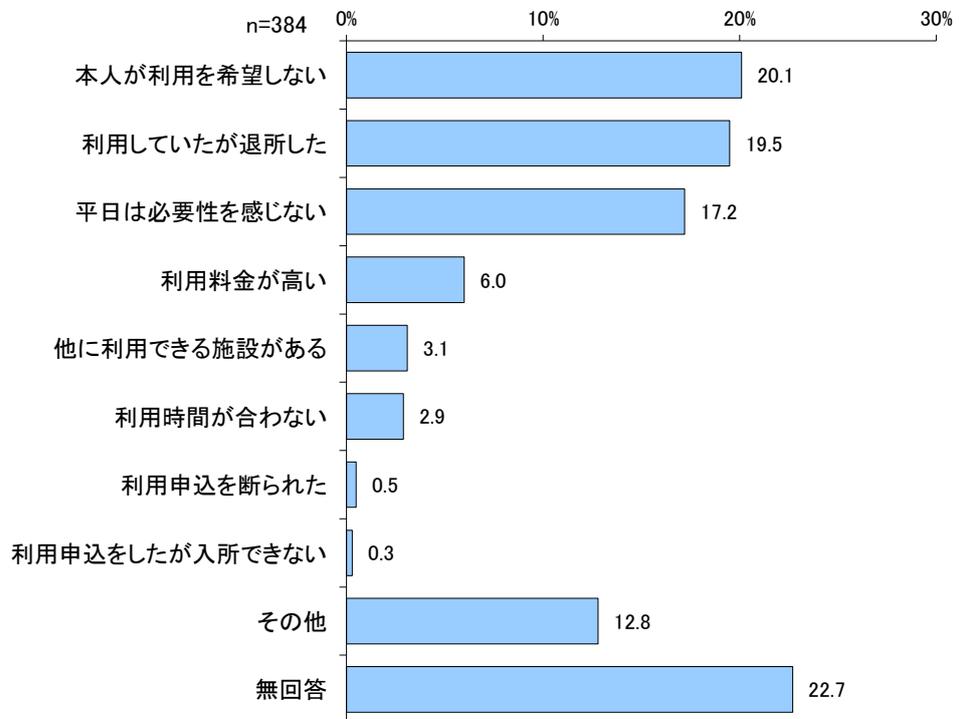
学年別にみると、「支援員等（子どもを見てくれる人）が多い」と回答した割合は1～3年生で高くなっている。

(5) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 22(2) または(4) で「2 利用していない」と回答した人のみ回答

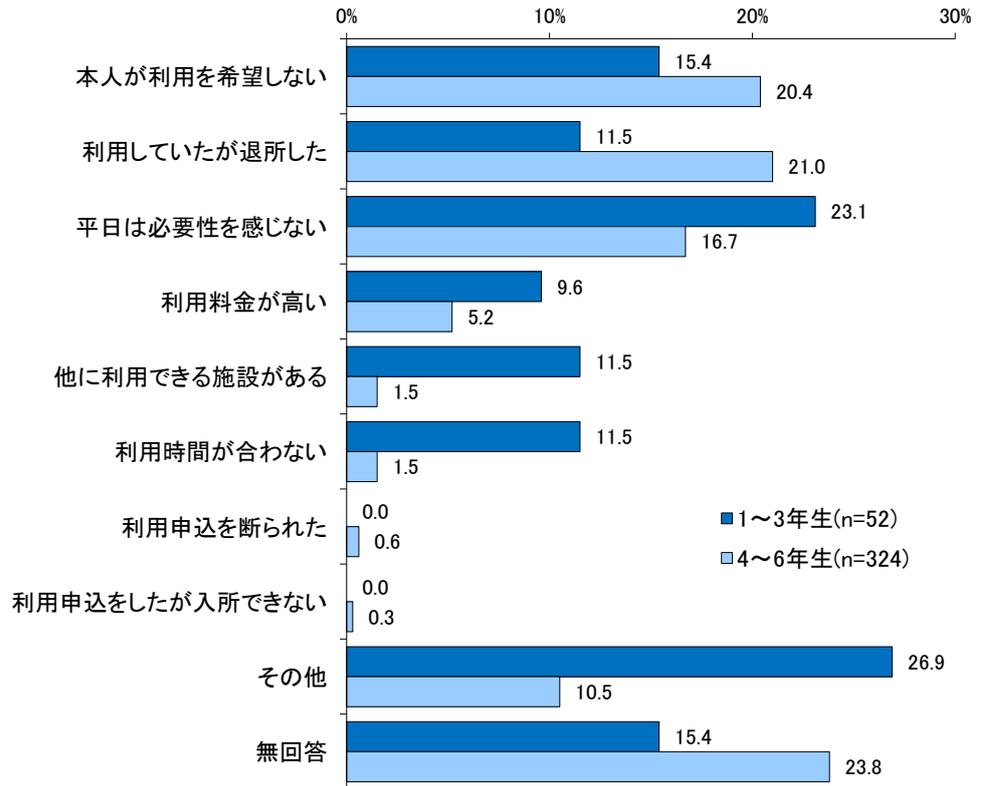
問 22(14) 利用していない理由は何ですか。

【放課後児童クラブを利用していない理由】



放課後児童クラブを利用していない理由について、「本人が利用を希望しない」と回答した割合が 20.1%と最も高く、「利用していたが退所した」(19.5%)、「平日は必要性を感じない」(17.2%)が続いている。

【放課後児童クラブを利用していない理由（小学校児童・学年別）】



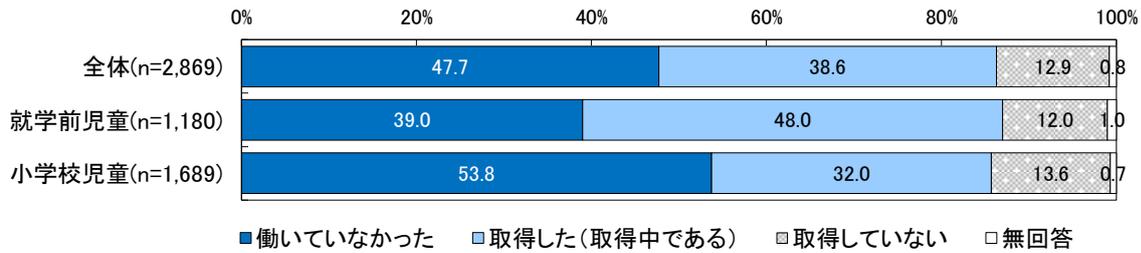
学年別にみると、「本人が利用を希望しない」、「利用していたが退所した」と回答した割合は4～6年生で、「平日は必要性を感じない」、「他に利用できる施設がある」、「利用時間が合わない」と回答した割合は1～3年生で高くなっている。

## 11 育児休業

### (1) 育児休業取得状況

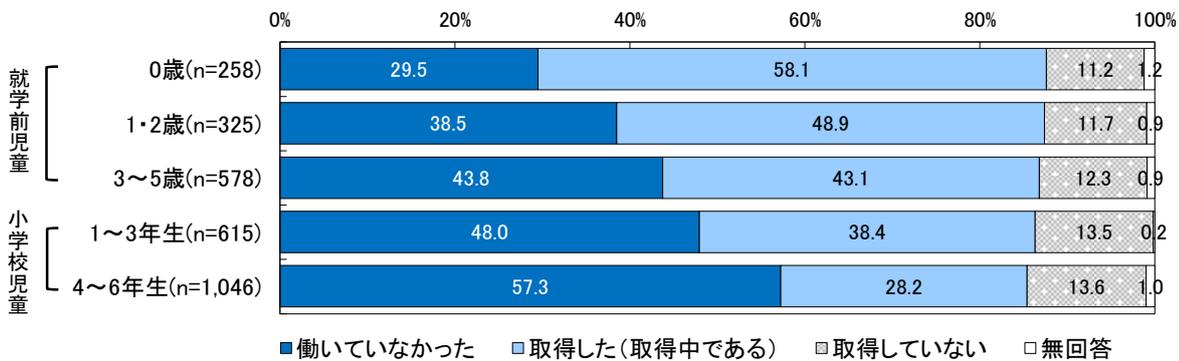
問 23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、回答してください。また、取得していない方はその理由を回答してください。

【育児休業取得状況（母親）】



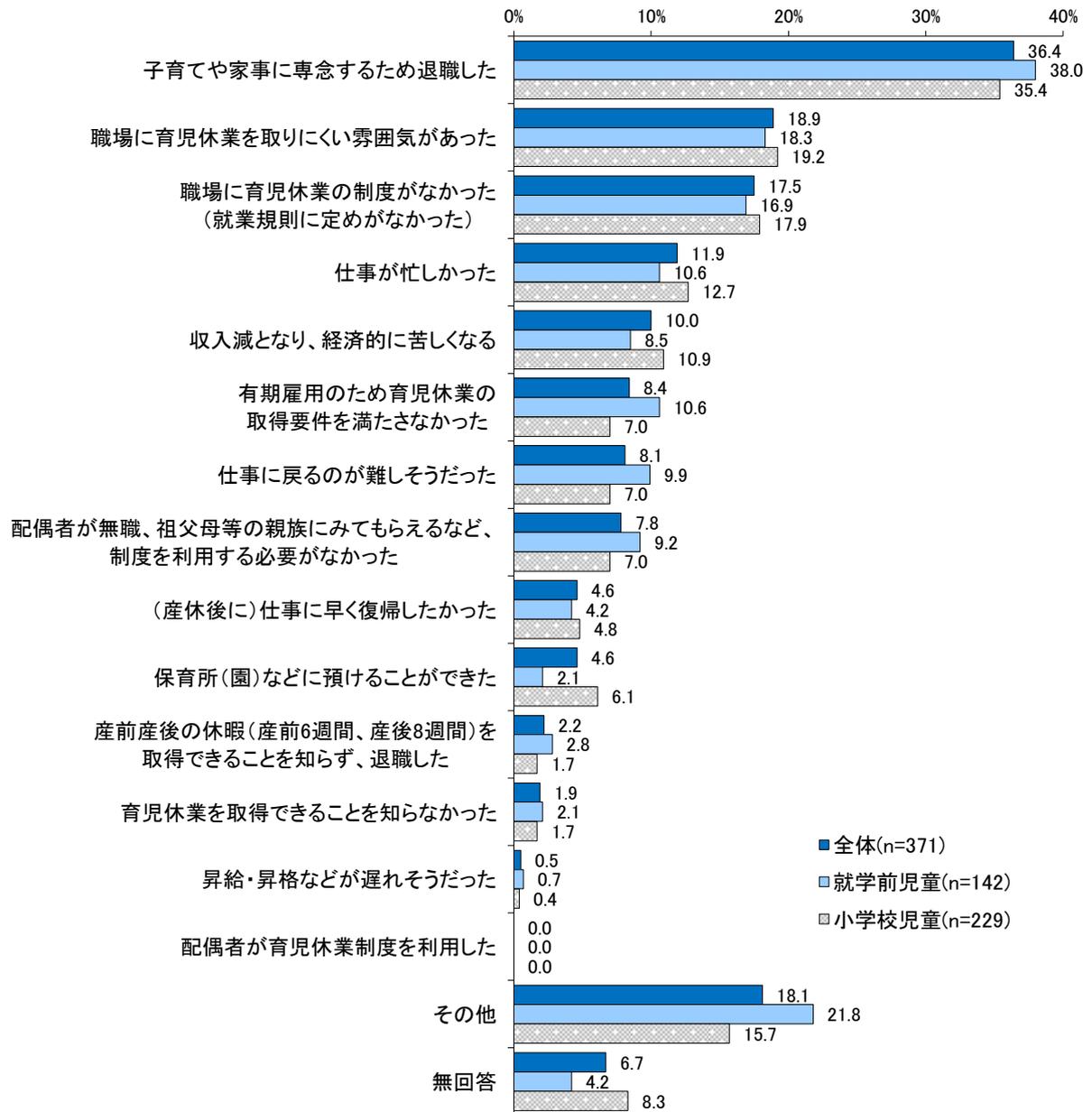
母親の育児休業取得状況について、「取得した（取得中である）」と回答した割合が全体で38.6%、就学前児童で48.0%、小学校児童で32.0%となっている。

【育児休業取得状況（母親）（年齢・学年別）】



年齢・学年別にみると、「取得した（取得中である）」と回答した割合は年齢が低いほど高くなっている。

【育児休業を取得しなかった理由（母親）】



母親が育児休業を取得しなかった理由について、「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した割合が最も高く、全体で 36.4%、就学前児童で 38.0%、小学校児童で 35.4%となっており、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（全体 18.9%・就学前児童 18.3%・小学校児童 19.2%）、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（全体 17.5%・就学前児童 16.9%・小学校児童 17.9%）が続いている。

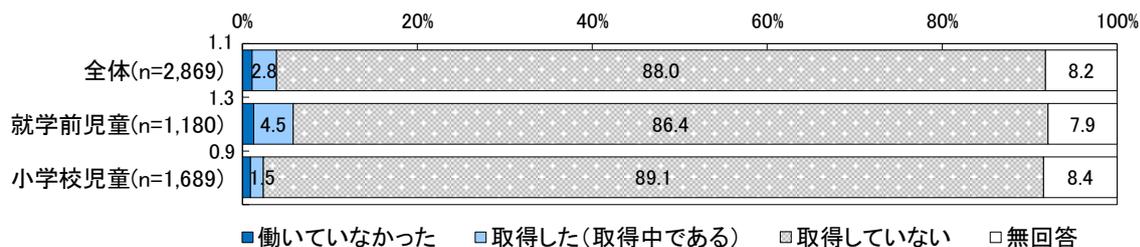
【育児休業を取得しなかった理由（母親）（年齢・学年別）】

		回答数	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	仕事が忙しかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	仕事に戻るのが難しそうだった	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
児童 就学前	0歳	29	44.8%	24.1%	20.7%	17.2%	10.3%	20.7%	17.2%	10.3%
	1・2歳	38	34.2%	21.1%	15.8%	7.9%	10.5%	18.4%	10.5%	15.8%
	3～5歳	71	38.0%	12.7%	16.9%	8.5%	5.6%	2.8%	5.6%	5.6%
児童 小学校	1～3年生	83	39.8%	18.1%	21.7%	10.8%	8.4%	6.0%	8.4%	7.2%
	4～6年生	142	33.8%	19.7%	15.5%	13.4%	12.7%	7.7%	6.3%	7.0%

		回答数	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	保育所（園）などに預けることができた	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	育児休業を取得できることを知らなかった	昇給・昇格などが遅れそうだった	配偶者が育児休業制度を利用した	その他	無回答
児童 就学前	0歳	29	-	-	-	-	-	-	20.7%	-
	1・2歳	38	7.9%	5.3%	5.3%	-	2.6%	-	18.4%	5.3%
	3～5歳	71	2.8%	1.4%	2.8%	2.8%	-	-	25.4%	5.6%
児童 小学校	1～3年生	83	4.8%	4.8%	2.4%	3.6%	-	-	10.8%	6.0%
	4～6年生	142	4.9%	7.0%	1.4%	0.7%	0.7%	-	18.3%	7.7%

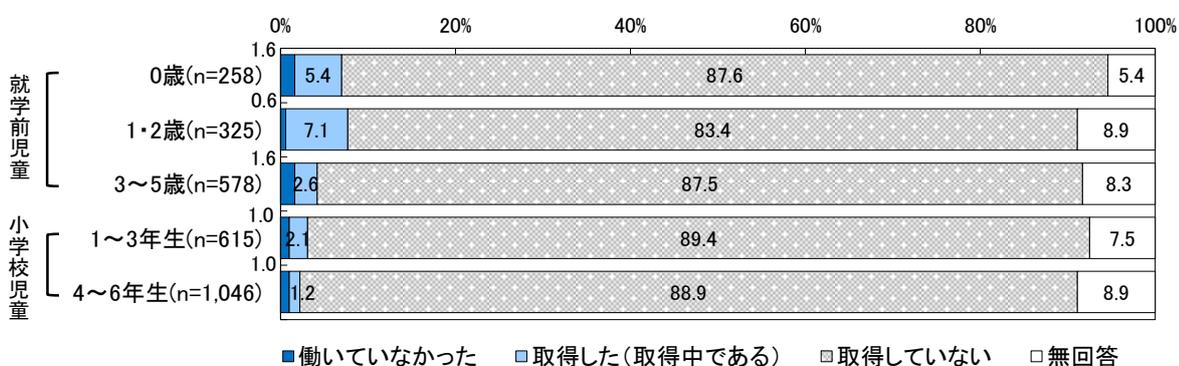
年齢・学年別にみると、「子育てや家事に専念するため退職した」と回答した割合は0歳で、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

### 【育児休業取得状況（父親）】



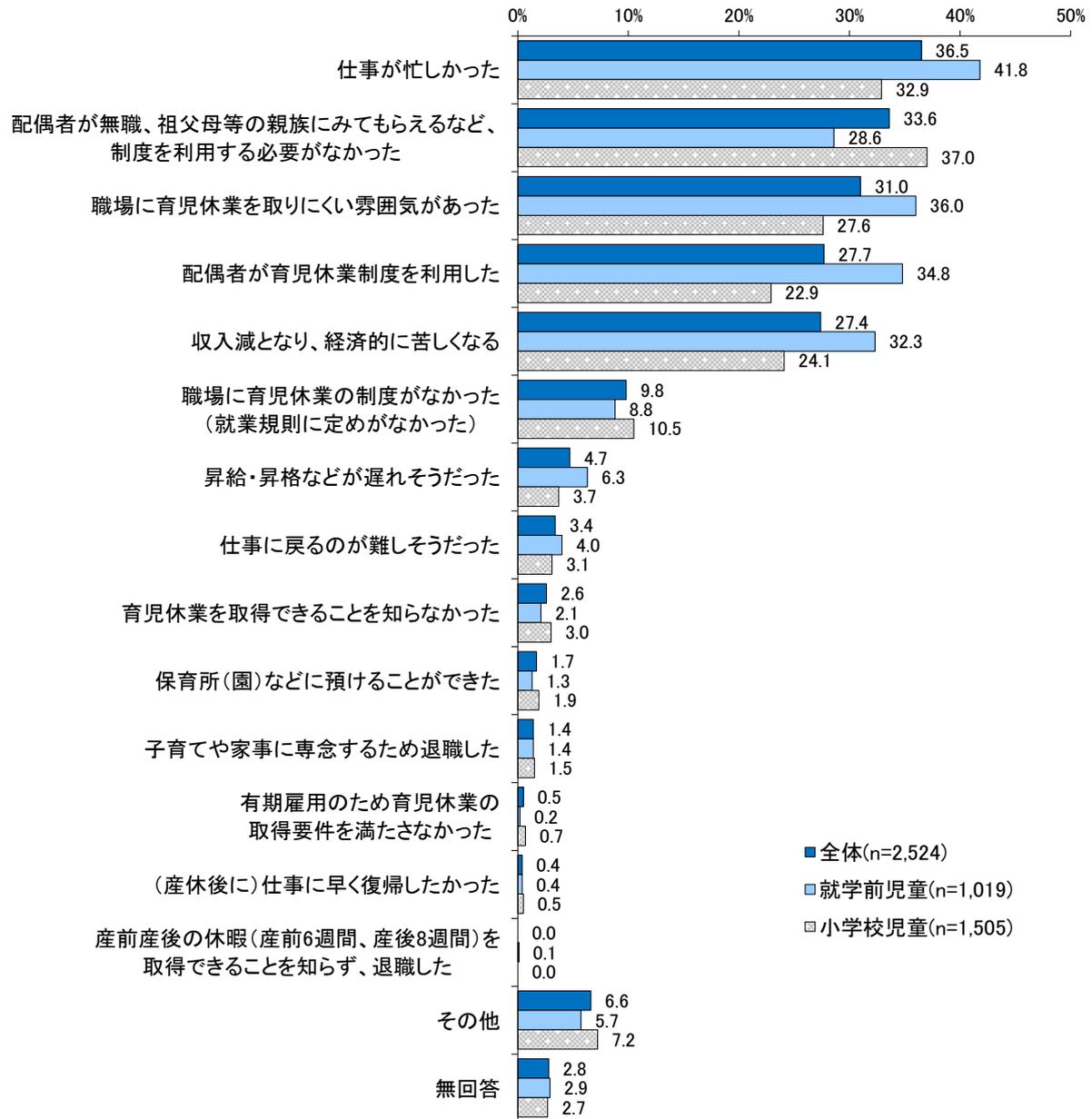
父親の育児休業取得状況について、「取得した（取得中である）」と回答した割合が全体で2.8%、就学前児童で4.5%、小学校児童で1.5%となっている。

### 【育児休業取得状況（父親）（年齢・学年別）】



年齢・学年別にみると、「取得した（取得中である）」と回答した割合はいずれの年齢・学年においても1割未満と低くなっているが、1・2歳で7.1%となっている。

### 【育児休業を取得しなかった理由（父親）】



父親が育児休業を取得しなかった理由について、全体では「仕事が忙しかった」と回答した割合が36.5%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（33.6%）となっている。

就学前児童では「仕事が忙しかった」と回答した割合が41.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（36.0%）となっている。

小学校児童では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」と回答した割合が37.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」（32.9%）となっている。

【育児休業を取得しなかった理由（父親）（年齢・学年別）】

		回答数	仕事が忙しかった	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	配偶者が育児休業制度を利用した	収入減となり、経済的に苦しくなる	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	昇給・昇格などが遅れそうだった	仕事に戻るのが難しそうだった
児童 就学前	0歳	226	47.3%	22.1%	36.7%	46.0%	38.1%	6.6%	6.2%	5.8%
	1・2歳	271	43.2%	28.4%	38.0%	35.1%	32.5%	7.7%	6.3%	3.3%
	3～5歳	506	38.1%	32.0%	34.6%	30.2%	30.2%	10.1%	6.5%	3.6%
児童 小学校	1～3年生	550	34.4%	30.7%	29.3%	26.2%	26.0%	10.0%	4.4%	2.9%
	4～6年生	930	32.0%	40.5%	26.9%	21.0%	22.8%	10.8%	3.3%	3.2%

		回答数	育児休業を取得できることを知らなかった	保育所（園）などに預けることができた	子育てや家事に専念するため退職した	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できず、退職した	その他	無回答
児童 就学前	0歳	226	1.8%	-	1.8%	-	-	-	4.0%	3.1%
	1・2歳	271	2.2%	1.8%	0.7%	0.4%	-	0.4%	7.7%	2.6%
	3～5歳	506	2.2%	1.6%	1.4%	0.2%	0.6%	-	5.5%	3.2%
児童 小学校	1～3年生	550	1.5%	1.1%	1.6%	0.5%	0.2%	-	6.9%	2.5%
	4～6年生	930	4.0%	2.4%	1.4%	0.6%	0.6%	-	7.2%	2.9%

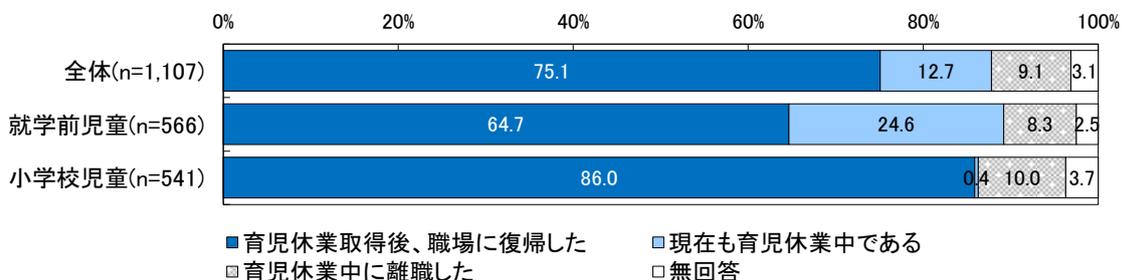
年齢・学年別にみると、「仕事が忙しかった」と回答した割合は0歳、1・2歳で、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」と回答した割合は4～6年生で、「配偶者が育児休業制度を利用した」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」と回答した割合は0歳で高くなっている。

(2) 育児休業取得後の職場への復帰状況

問 23 で「2 取得した（取得中である）」と回答した人のみ回答

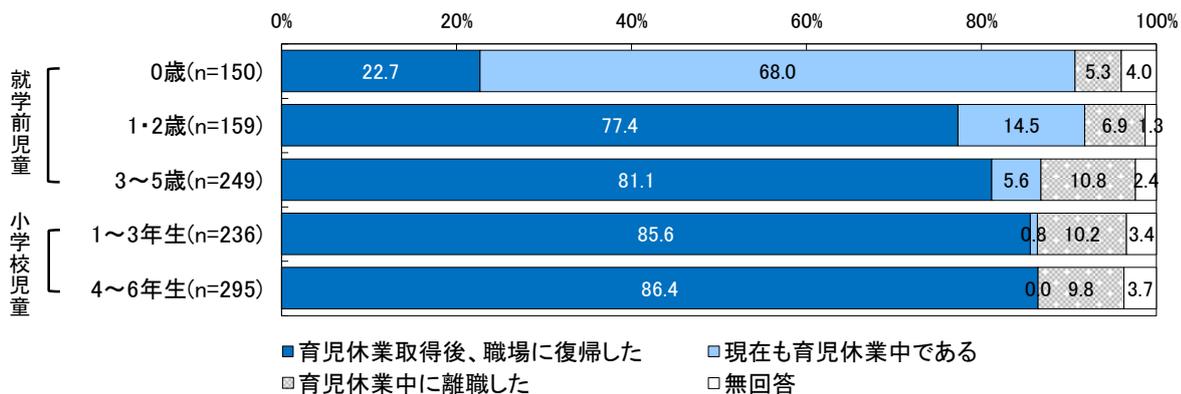
問 23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（母親）】



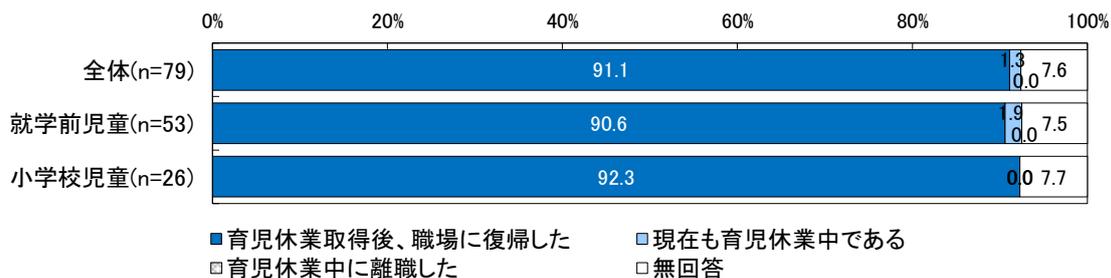
母親の育児休業取得後の職場への復帰状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合が全体で 75.1%、就学前児童で 64.7%、小学校児童で 86.0%となっている。

【育児休業取得後の職場への復帰状況（母親）（年齢・学年別）】



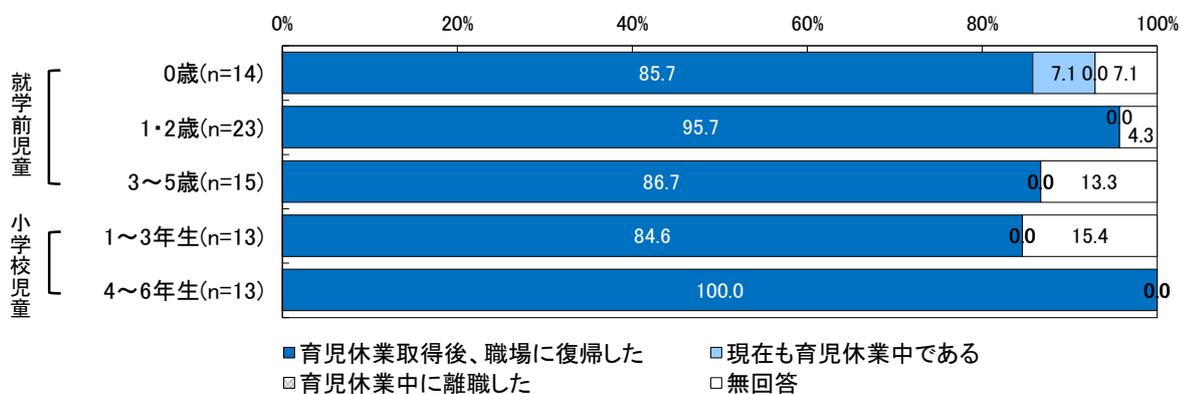
年齢・学年別にみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は0歳を除くすべての年齢・学年で高くなっている。

### 【育児休業取得後の職場への復帰状況（父親）】



父親の育児休業取得後の職場への復帰状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合が全体で91.1%、就学前児童で90.6%、小学校児童で92.3%となっている。

### 【育児休業取得後の職場への復帰状況（父親）（年齢・学年別）】



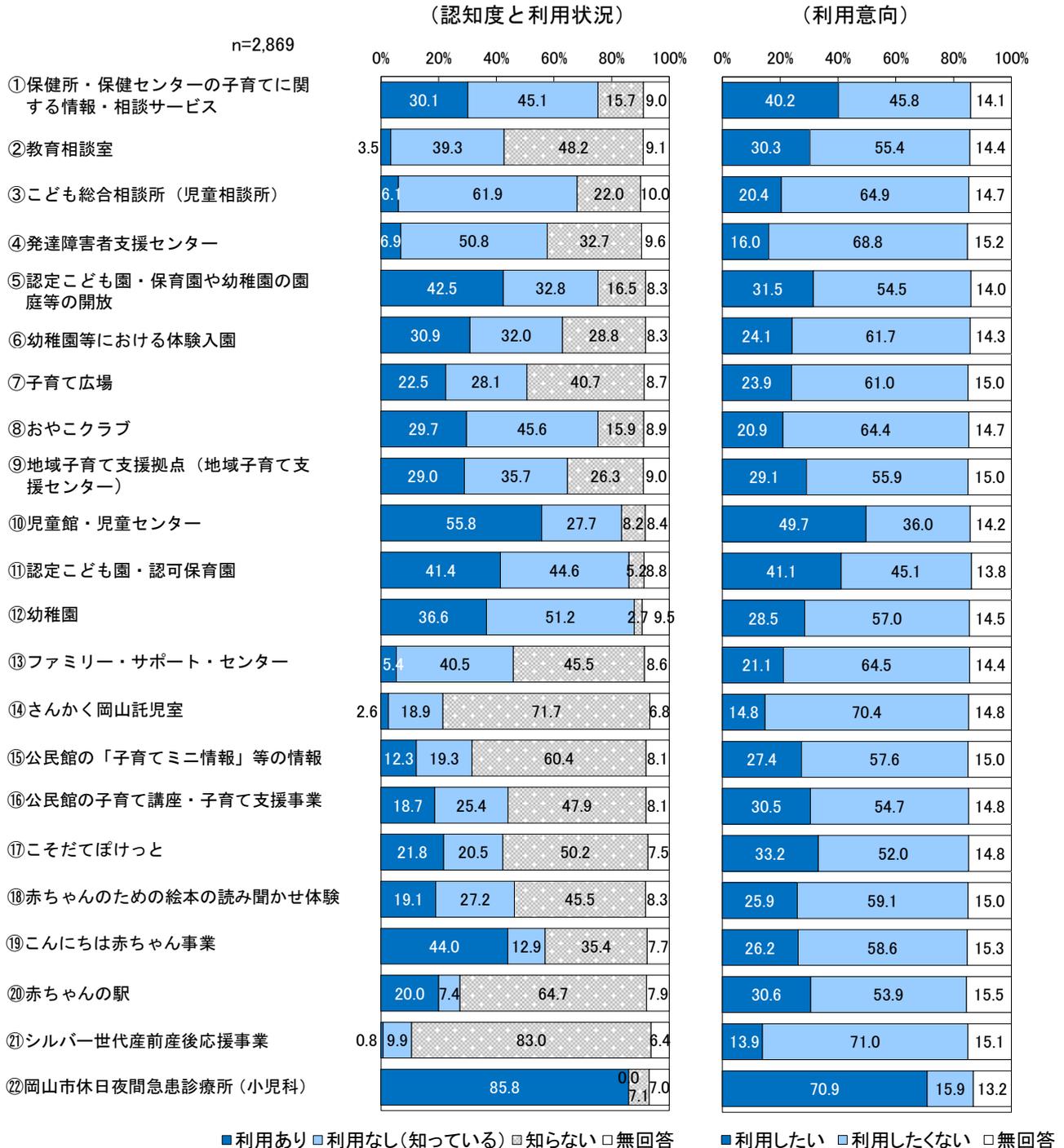
年齢・学年別にみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合は1・2歳、4～6年生で高くなっている。

## 12 子育て支援サービス

### (1) 子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向

問 24 下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。

【子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向（全体）】



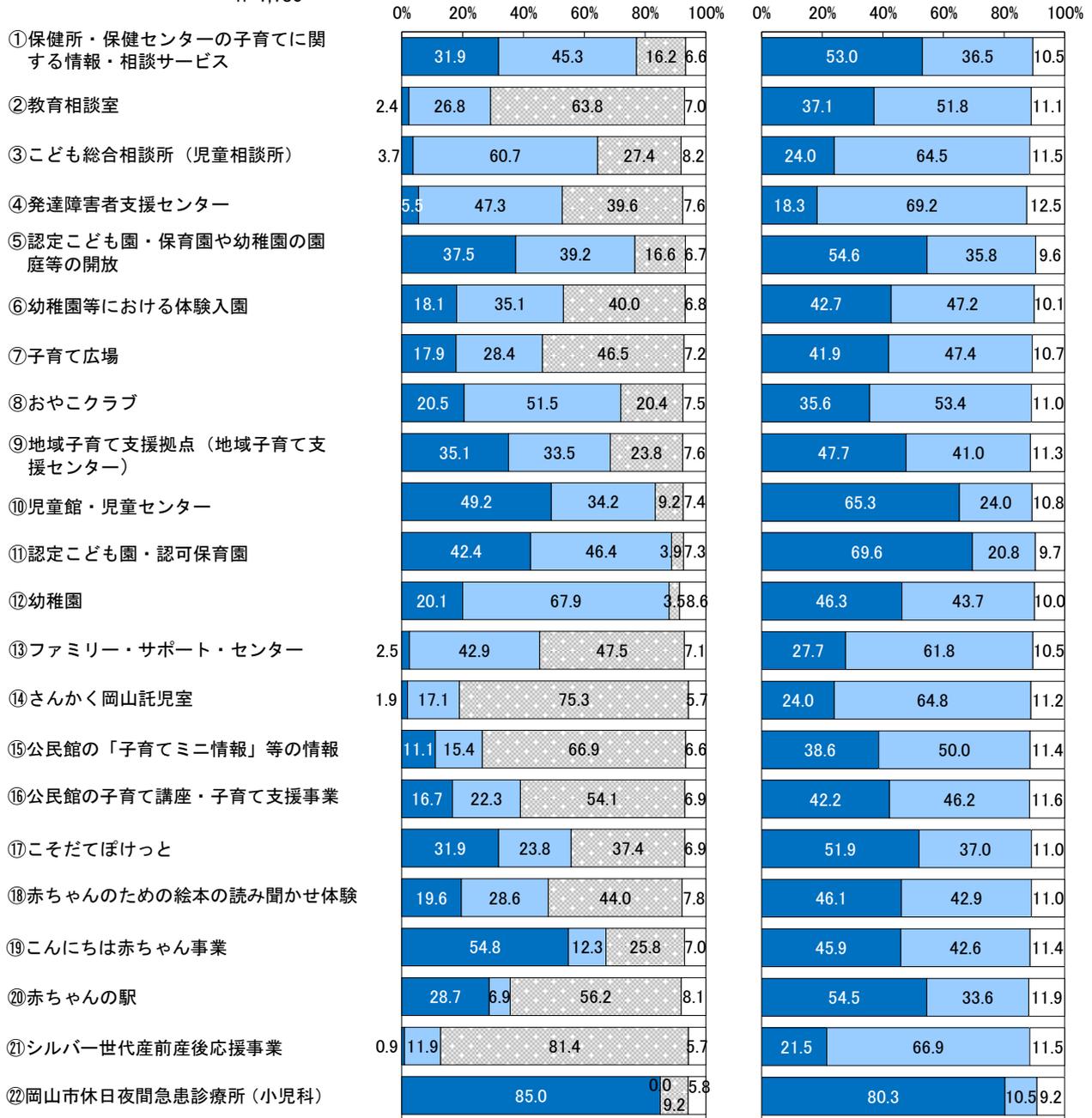
全体における子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について、「利用あり」と回答した割合は「⑩児童館・児童センター」、「㉒岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」の項目で、「利用したい」と回答した割合は「㉒岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で高くなっている。

【子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向（就学前児童）】

（認知度と利用状況）

（利用意向）

n=1,180



■利用あり □利用なし(知っている) □知らない □無回答      ■利用したい □利用したくない □無回答

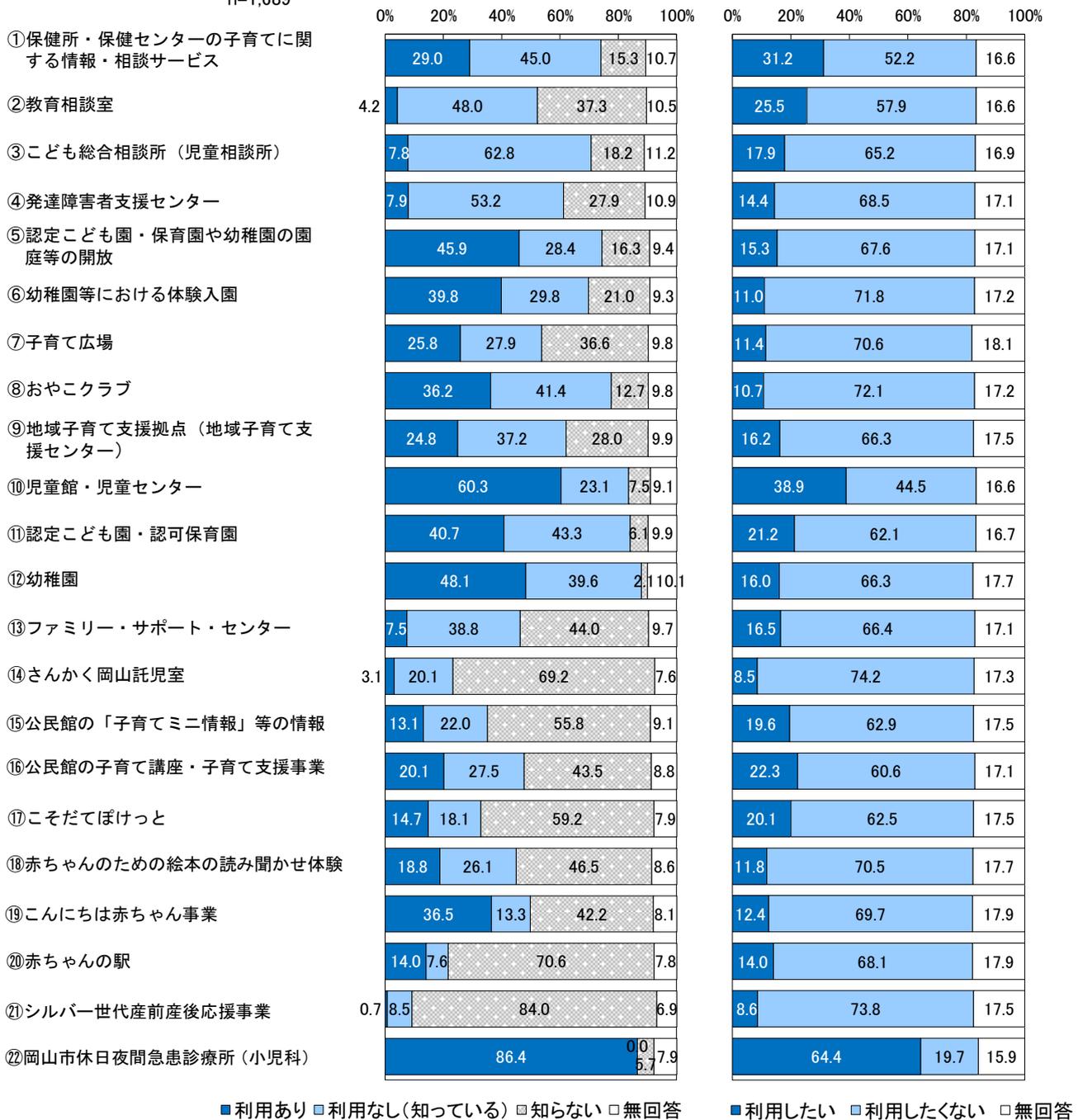
就学前児童における子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について、「利用あり」と回答した割合は「⑲こんにちは赤ちゃん事業」、「㉒岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」の項目で、「利用したい」と回答した割合は「㉒岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で高くなっている。

【子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向（小学校児童）】

（認知度と利用状況）

（利用意向）

n=1,689



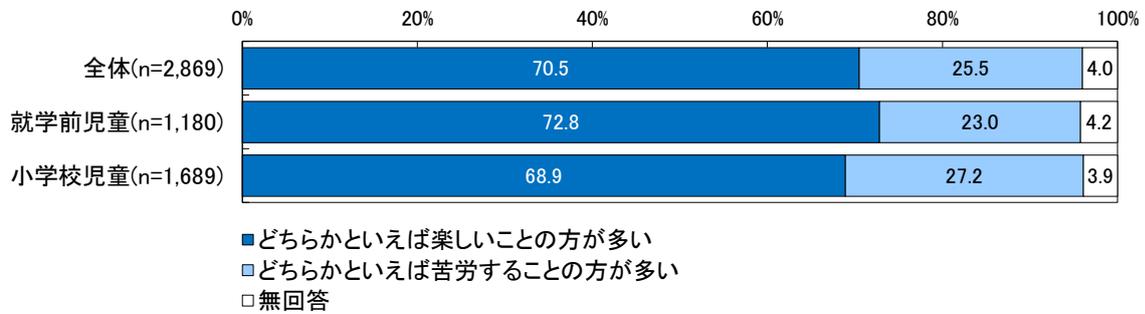
小学校児童における子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向について、「利用あり」と回答した割合は「⑩児童館・児童センター」、「㉒岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」の項目で、「利用したい」と回答した割合は「㉒岡山市休日夜間急患診療所（小児科）」で高くなっている。

## 13 子育て全般

### (1) 子育てにおける楽しさと苦勞の程度

問 25 子育ては楽しいこと、苦勞すること、どちらが多いと思いますか。

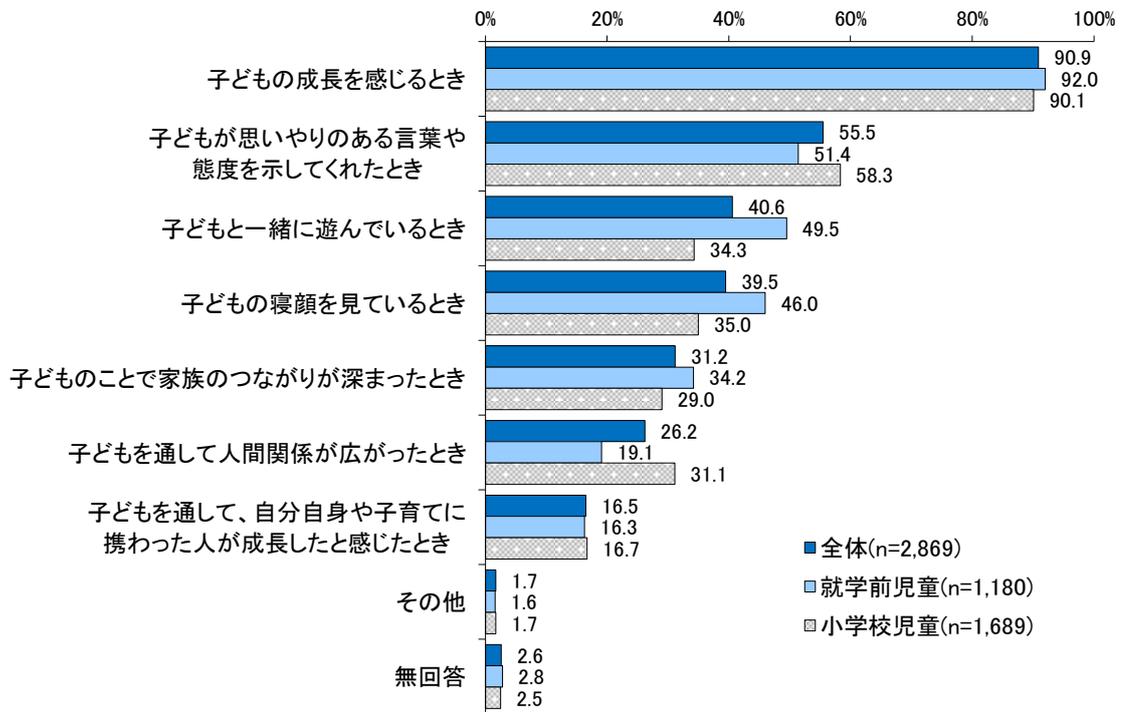
【子育てにおける楽しさと苦勞の程度】



子育てにおける楽しさと苦勞の程度について、「どちらかといえば楽しいことの方が多い」と回答した割合が全体で70.5%、就学前児童で72.8%、小学校児童で68.9%、「どちらかといえば苦勞することの方が多い」と回答した割合が全体で25.5%、就学前児童で23.0%、小学校児童で27.2%となっている。

問 25-1 子育てをしているときは楽しいこともあれば、そうでないときもあります。楽しいと思うとき、楽しくないと思うとき、それぞれの理由は何ですか。

【子育てを楽しいと思うとき】



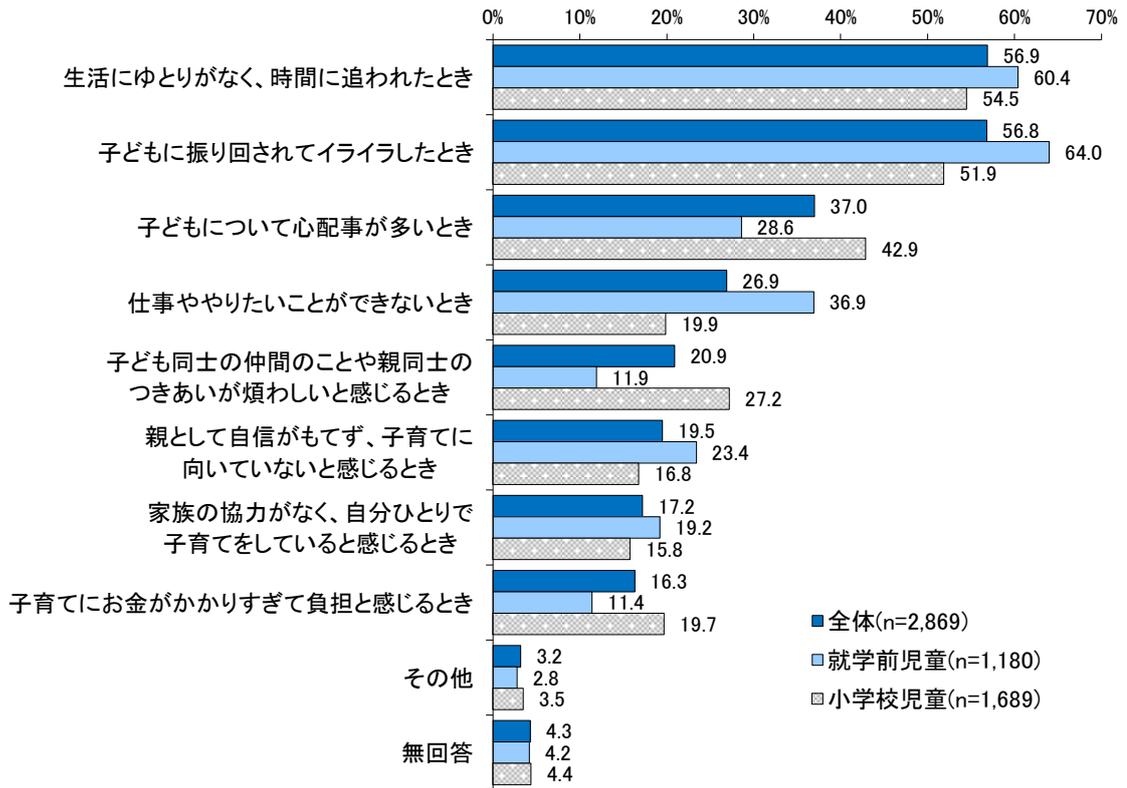
子育てを楽しいと思うときについて、「子どもの成長を感じる時」と回答した割合が最も高く、全体で90.9%、就学前児童で92.0%、小学校児童で90.1%となっている。

【子育てを楽しいと思うとき（年齢・学年別）】

		回答数	子どもの成長を感じる時	子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれた時	子どもと一緒に遊んでいる時	子どもの寝顔を見ている時	子どものことで家族のつながりが深まった時	子どもを通して人間関係が広がった時	子どもを通して、自分自身や子育てに携わった人が成長したと感じた時	その他	無回答
就学前児童	0歳	258	93.8%	18.2%	68.2%	60.1%	39.1%	11.2%	17.8%	1.2%	2.3%
	1・2歳	325	93.8%	57.8%	51.7%	41.5%	35.4%	14.5%	13.5%	1.5%	2.5%
	3～5歳	578	90.3%	62.8%	40.3%	41.7%	31.5%	24.9%	17.3%	1.9%	3.1%
小学校児童	1～3年生	615	90.1%	58.7%	35.8%	37.9%	27.0%	31.9%	15.4%	1.1%	2.9%
	4～6年生	1,046	90.2%	57.9%	33.7%	33.4%	30.2%	30.6%	17.5%	2.1%	2.2%

年齢・学年別にみると、「子どもが思いやりのある言葉や態度を示してくれた時」と回答した割合は1・2歳、3～5歳、1～3年生、4～6年生で、「子どもと一緒に遊んでいる時」、「子どもの寝顔を見ている時」と回答した割合は0歳で、「子どもを通して人間関係が広がった時」と回答した割合は1～3年生、4～6年生で高くなっている。

### 【子育てを楽しめないと思うとき】



子育てを楽しめないと思うときについて、全体、小学校児童では「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」と回答した割合が最も高く全体で 56.9%、小学校児童で 54.5%となっており、次いで「子どもに振り回されてイライラしたとき」（全体 56.8%・小学校児童 51.9%）となっている。

就学前児童では「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した割合が 64.0%と最も高く、次いで「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」（60.4%）となっている。

【子育てを楽しくないと思うとき（年齢・学年別）】

		回答数	生活にゆとりがなく、時間に追われたとき	子どもに振り回されてイライラしたとき	子どもについて心配事が多いとき	仕事ややりたいことができないとき	子ども同士の仲間のことや親同士のつきあいが煩わしいと感じるとき	親として自信がもてず、子育てに向いていないと感じるとき	家族の協力がなく、自分ひとりで子育てをしていると感じるとき	子育てにお金がかかりすぎて負担と感じるとき
児童 就学前	0歳	258	53.5%	50.4%	31.0%	43.0%	6.6%	20.2%	25.6%	11.2%
	1・2歳	325	63.1%	68.6%	23.1%	38.5%	7.1%	25.8%	19.4%	10.8%
	3～5歳	578	61.8%	67.5%	30.8%	33.6%	16.8%	23.5%	16.1%	11.8%
児童 小学校	1～3年生	615	59.7%	57.2%	37.9%	24.6%	23.3%	17.4%	14.5%	15.6%
	4～6年生	1,046	51.8%	48.7%	46.0%	17.2%	29.6%	16.4%	16.3%	21.9%

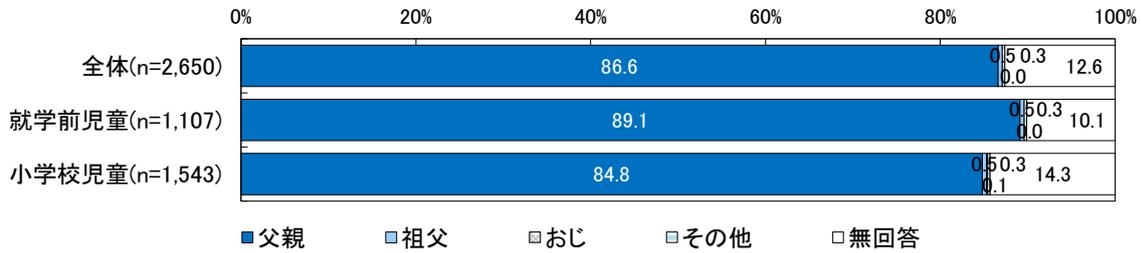
		回答数	その他	無回答
児童 就学前	0歳	258	4.7%	5.4%
	1・2歳	325	2.5%	4.6%
	3～5歳	578	2.1%	3.5%
児童 小学校	1～3年生	615	4.2%	4.2%
	4～6年生	1,046	3.2%	4.4%

年齢・学年別にみると、「子どもに振り回されてイライラしたとき」と回答した割合は1・2歳、3～5歳で、「子どもについて心配事が多いとき」、「子育てにお金がかかりすぎて負担と感じるとき」と回答した割合は4～6年生で、「子ども同士の仲間のことや親同士のつきあいが煩わしいと感じるとき」と回答した割合は3～5歳、1～3年生、4～6年生で、「家族の協力がなく、自分ひとりで子育てをしていると感じるとき」と回答した割合は0歳で高くなっている。

(2) 家事や子どもと関わる時間

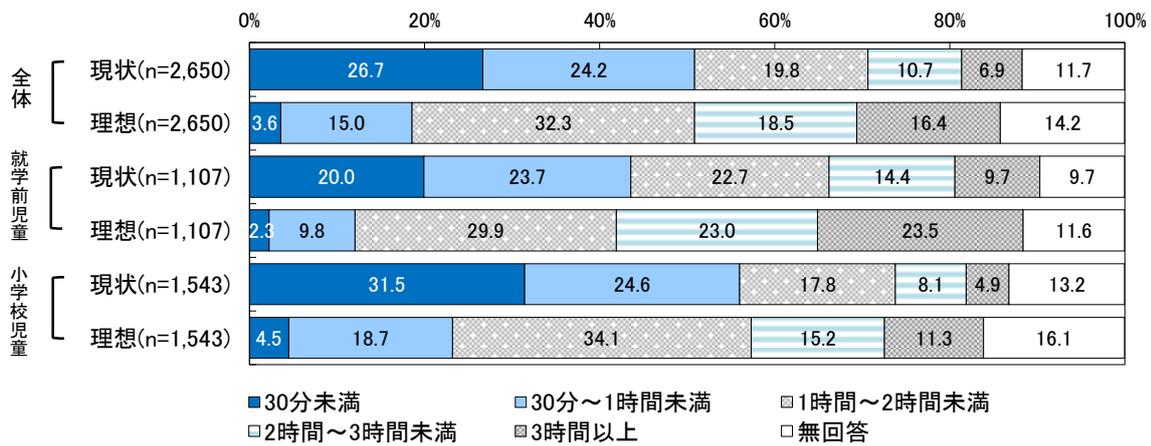
問 26 平日・休日について、一日のうち家事や子どもとかかわる時間はどのくらいありますか。

【主な男性養育者】



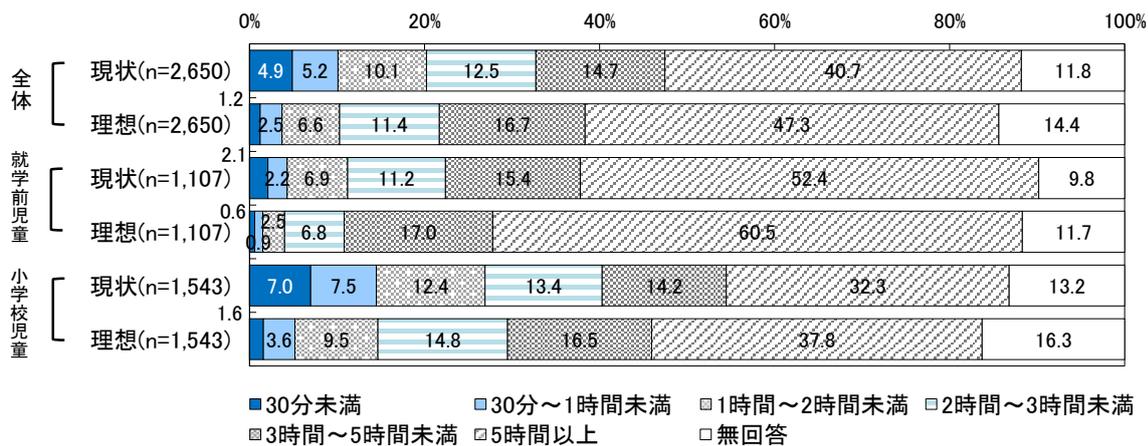
主な男性養育者について、「父親」と回答した割合が全体で 86.6%、就学前児童で 89.1%、小学校児童で 84.8%となっている。

【平日に子どもと関わる時間（男性養育者）】



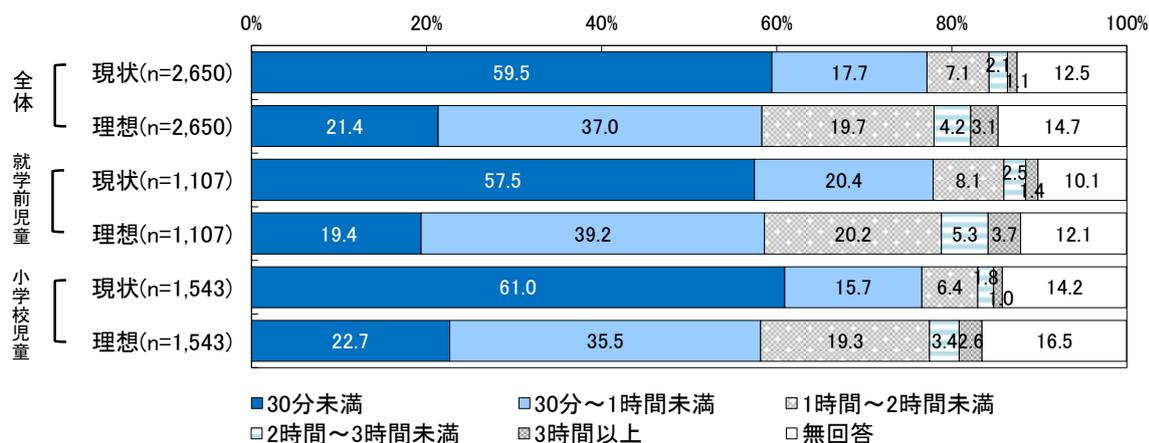
男性養育者の平日に子どもと関わる時間について、現状が『1時間以上』と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても低く、理想が現状よりも高くなっている。

### 【休日に子どもと関わる時間（男性養育者）】



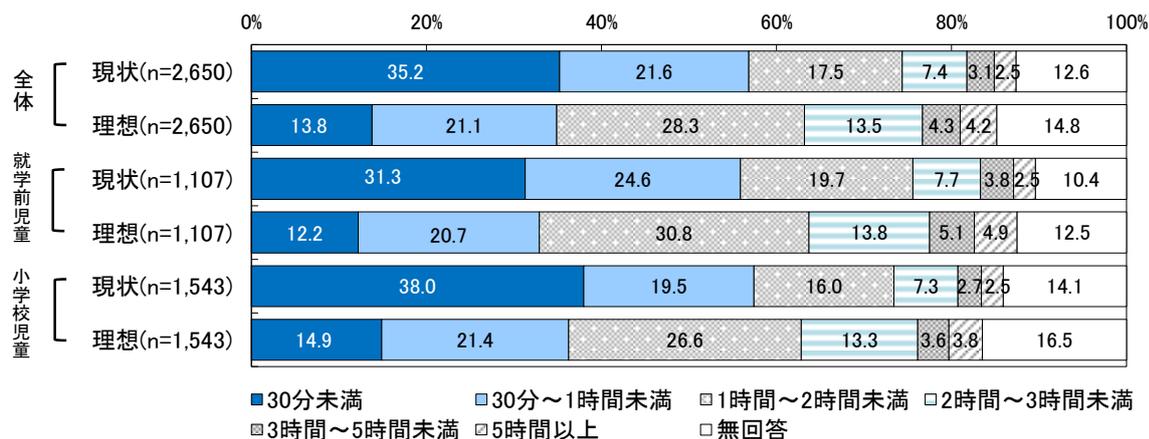
男性養育者の休日に子どもと関わる時間について、現状、理想ともに「5時間以上」と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても最も高くなっているが、理想が現状よりも高くなっている。

### 【平日の家事等の時間（男性養育者）】



男性養育者の平日の家事等の時間について、『1時間以上』と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても理想が現状よりも高くなっている。

### 【休日の家事等の時間（男性養育者）】



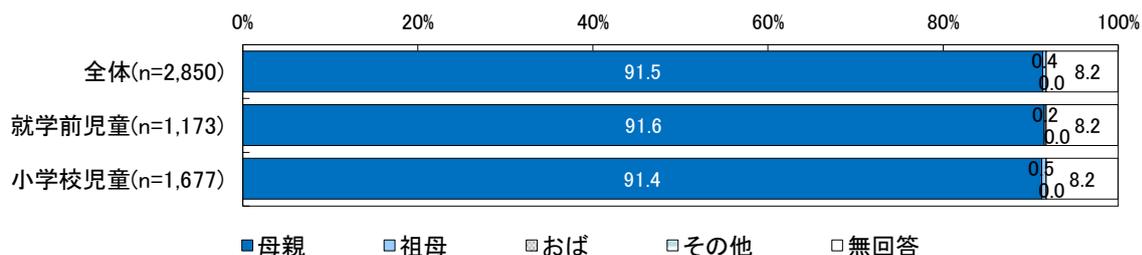
男性養育者の休日の家事等の時間について、『1時間以上』と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても理想が現状よりも高くなっている。

### 【優先度（男性養育者）】

	回答数	仕事を優先している	仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている	子どもと関わる時間を優先している	プライベートの時間を優先している	家事等の時間を優先している	特にない	無回答	
全体	現状	2,650	48.1%	23.9%	7.1%	4.9%	1.3%	4.0%	12.5%
	理想	2,650	4.9%	57.2%	15.4%	3.8%	1.5%	4.7%	14.2%
就学前児童	現状	1,107	46.6%	28.0%	8.0%	4.5%	1.2%	3.4%	10.4%
	理想	1,107	4.5%	59.3%	18.2%	2.3%	1.8%	3.8%	12.2%
小学校児童	現状	1,543	49.1%	20.9%	6.4%	5.2%	1.4%	4.3%	14.1%
	理想	1,543	5.2%	55.7%	13.4%	4.9%	1.4%	5.3%	15.6%

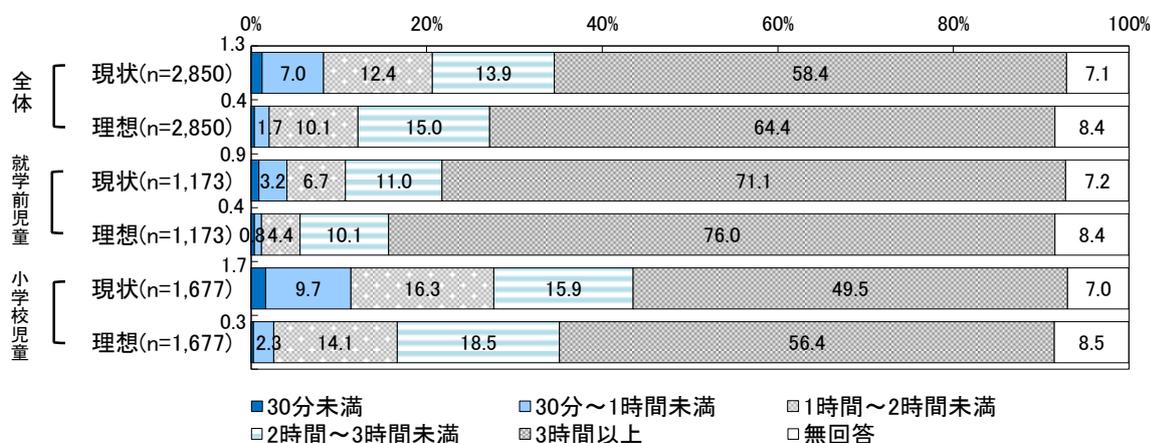
男性養育者の優先度について、「仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている」、「子どもと関わる時間を優先している」と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても理想が現状よりも高くなっている。

### 【主な女性養育者】



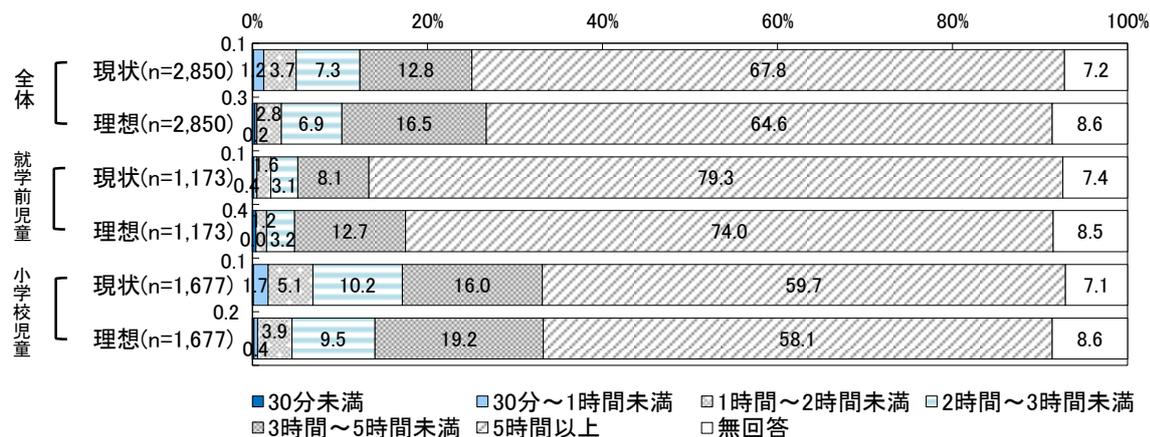
主な女性養育者について、「母親」と回答した割合が全体で 91.5%、就学前児童で 91.6%、小学校児童で 91.4%となっている。

### 【平日に子どもと関わる時間（女性養育者）】



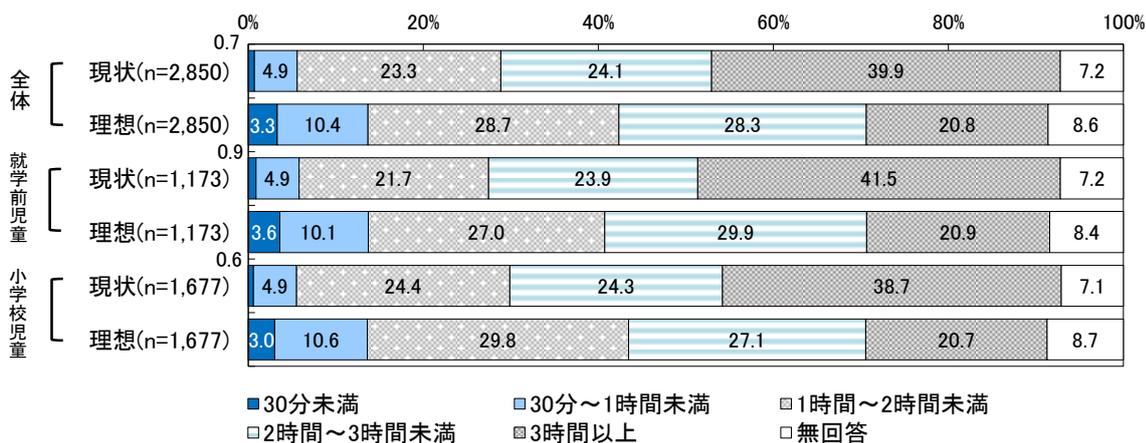
女性養育者の平日に子どもと関わる時間について、「3時間以上」と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても理想が現状よりも高くなっている。

### 【休日に子どもと関わる時間（女性養育者）】



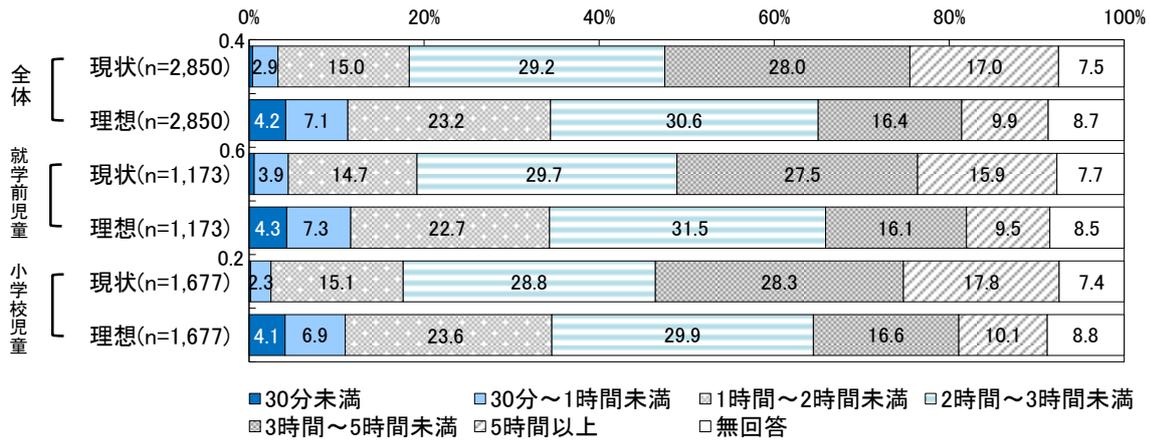
女性養育者の休日に子どもと関わる時間について、「5時間以上」と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても現状が理想よりも高くなっている。

### 【平日の家事等の時間（女性養育者）】



女性養育者の平日の家事等の時間について、「3時間以上」と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても現状が理想よりも高くなっている。

【休日の家事等の時間（女性養育者）】



女性養育者の休日の家事等の時間について、『3時間以上』と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても現状が理想よりも高くなっている。

【優先度（女性養育者）】

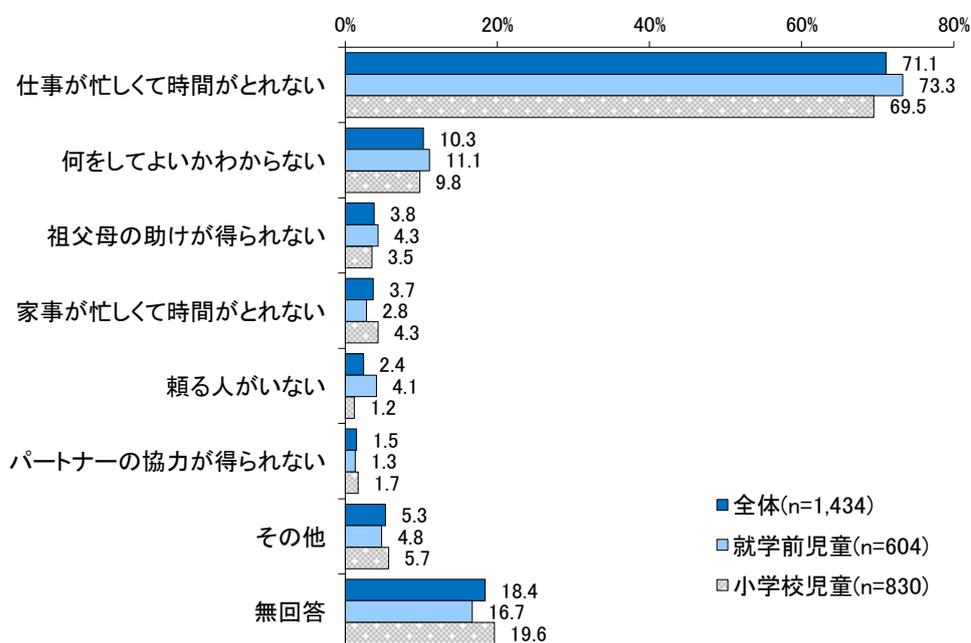
		回答数	仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている	子どもと関わる時間を優先している	家事等の時間を優先している	仕事を優先している	プライベートの時間を優先している	特になし	無回答
全体	現状	2,850	32.9%	29.0%	14.1%	13.6%	0.6%	5.1%	7.6%
	理想	2,850	61.5%	23.5%	1.1%	0.9%	3.5%	3.6%	8.1%
就学前児童	現状	1,173	28.3%	38.2%	13.2%	10.1%	0.6%	5.2%	7.9%
	理想	1,173	58.1%	28.2%	0.7%	0.8%	3.2%	3.4%	8.1%
小学校児童	現状	1,677	36.1%	22.6%	14.7%	16.0%	0.6%	5.1%	7.4%
	理想	1,677	63.9%	20.2%	1.4%	1.0%	3.8%	3.7%	8.1%

女性養育者の優先度について、「仕事、子育て、家事、プライベートの時間をともに大切にしている」と回答した割合は全体、就学前児童、小学校児童のいずれにおいても理想が現状よりも高くなっている。

現状と理想の時間が異なっている人のみ回答

問 26 現状と理想の時間が異なるのは、何が原因であると考えられますか。

【現状と理想の時間が異なる原因（男性養育者）】



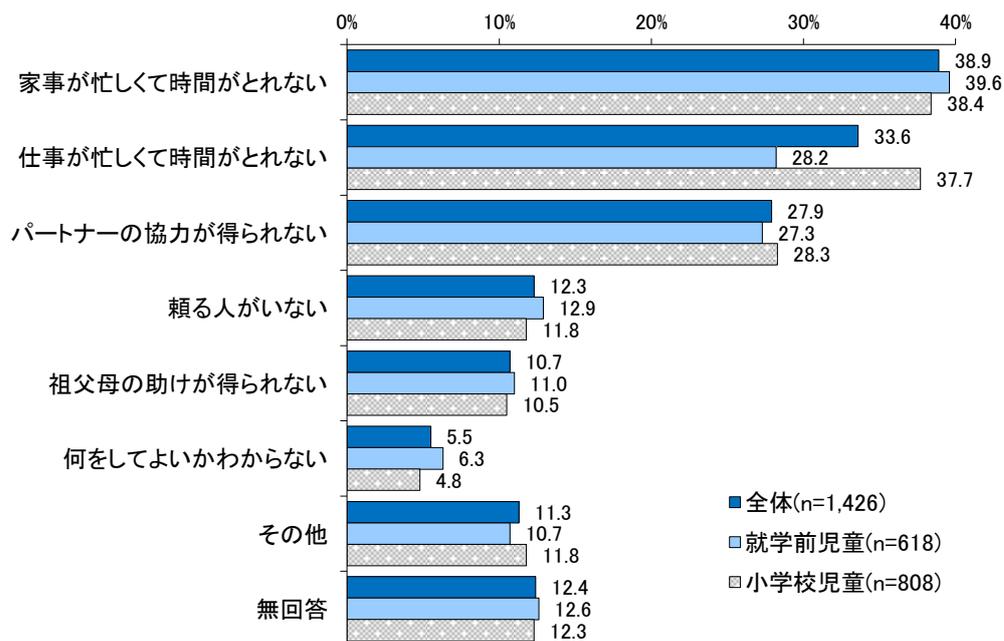
男性養育者の現状と理想の時間が異なる原因について、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合が全体で71.1%、就学前児童で73.3%、小学校児童で69.5%と最も高くなっている。

【現状と理想の時間が異なる原因（男性養育者）（年齢・学年別）】

		回答数	仕事が忙しくて時間がとれない	何をしてもよいかわからない	祖父母の助けが得られない	家事が忙しくて時間がとれない	頼る人がいない	パートナーの協力が得られない	その他	無回答
就学前児童	0歳	147	63.9%	12.9%	4.1%	2.0%	4.8%	-	4.8%	23.1%
	1・2歳	171	78.4%	12.9%	4.7%	2.9%	2.3%	2.3%	3.5%	14.0%
	3～5歳	278	74.8%	9.4%	4.3%	3.2%	5.0%	1.4%	5.4%	15.5%
小学校児童	1～3年生	311	71.1%	8.4%	2.6%	3.5%	1.6%	1.0%	5.8%	19.9%
	4～6年生	504	68.8%	10.7%	4.2%	4.8%	1.0%	2.2%	5.6%	19.2%

年齢・学年別にみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合はすべての年齢・学年で高くなっている。

【現状と理想の時間が異なる原因（女性養育者）】



女性養育者の現状と理想の時間が異なる原因について、「家事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合が全体で38.9%、就学前児童で39.6%、小学校児童で38.4%と最も高く、次いで「仕事が忙しくて時間がとれない」（全体33.6%・就学前児童28.2%・小学校児童37.7%）となっている。

【現状と理想の時間が異なる原因（女性養育者）（年齢・学年別）】

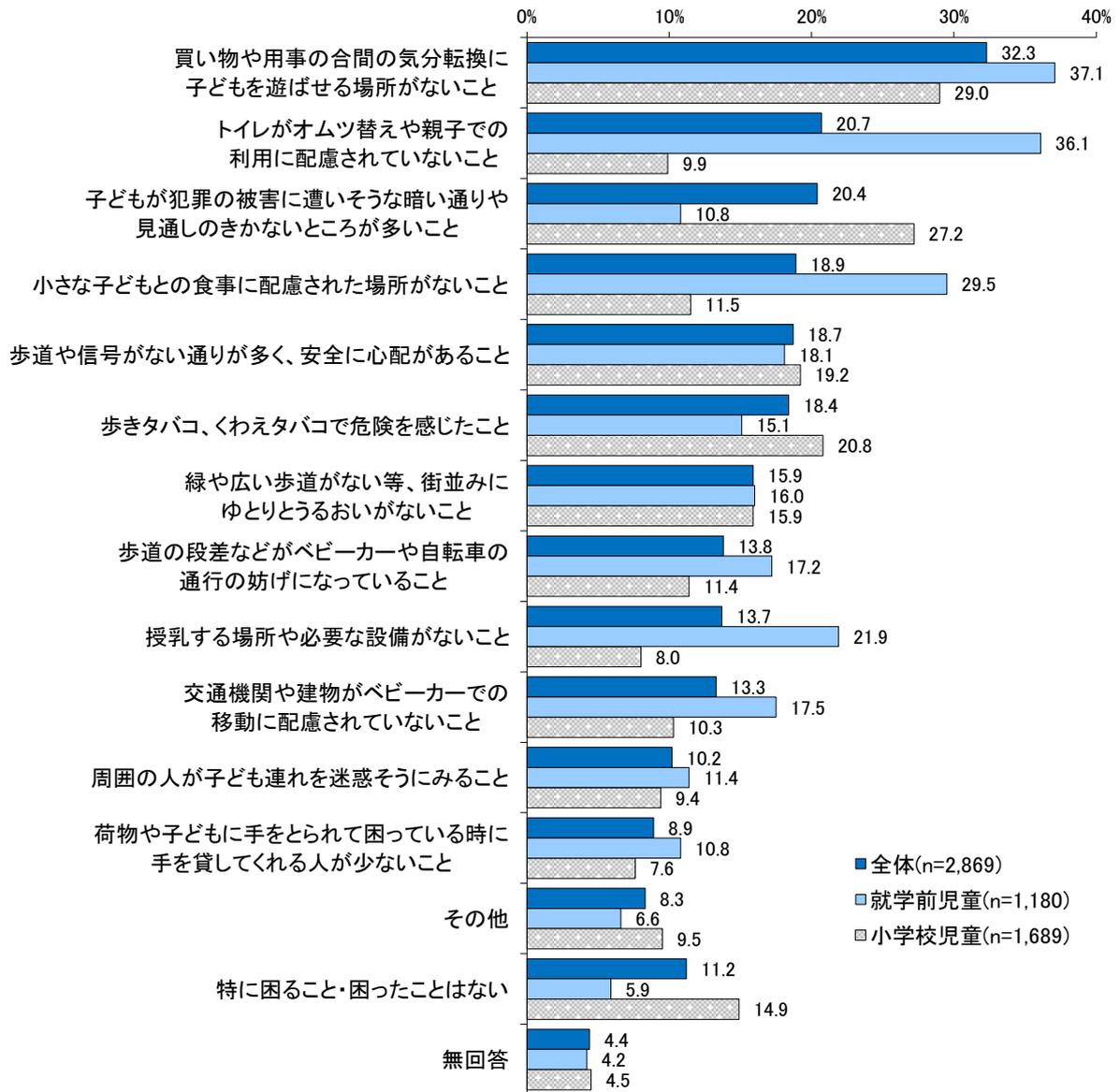
		回答数	家事が忙しくて時間がとれない	仕事が忙しくて時間がとれない	パートナーの協力が得られない	頼る人がいない	祖父母の助けが得られない	何をしてもよいかわからない	その他	無回答
児童 就学前	0歳	134	28.4%	12.7%	28.4%	11.2%	9.0%	9.0%	14.9%	17.2%
	1・2歳	176	45.5%	28.4%	31.3%	14.8%	9.1%	6.8%	6.8%	11.4%
	3～5歳	301	41.9%	35.5%	24.9%	13.0%	13.3%	4.7%	10.6%	11.0%
児童 小学校	1～3年生	325	40.6%	36.6%	28.9%	13.2%	11.4%	4.9%	12.3%	11.4%
	4～6年生	471	36.9%	38.4%	28.0%	11.0%	10.0%	4.7%	11.3%	13.0%

年齢・学年別にみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」と回答した割合は3～5歳、1～3年生、4～6年生で高くなっている。

(3) 子どもとの外出時に困ること・困ったこと

問 27 子どもと外出の際、困ること・困ったことは何ですか。

【子どもとの外出時に困ること・困ったこと】



子どもとの外出時に困ること・困ったことについて、「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと」と回答した割合が最も高く、全体で 32.3%、就学前児童で 37.1%、小学校児童で 29.0%となっており、次いで、全体、就学前児童では「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」（全体 20.7%・就学前児童 36.1%）、小学校児童では「子どもが犯罪の被害に遭いそうな暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」（27.2%）となっている。

【子どもとの外出時に困ること・困ったこと（年齢・学年別）】

		回答数	買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと	子どもが犯罪の被害に遭いそうな暗い通りや見通しのきかないところが多いこと	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと	歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること	歩きタバコ、くわえタバコで危険を感じたこと	緑や広い歩道がない等、街並みにゆとりとおいがないこと	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
児童 就学前	0歳	258	26.7%	45.0%	7.8%	34.9%	12.4%	13.6%	11.2%	26.7%
	1・2歳	325	40.3%	42.2%	8.9%	34.2%	15.1%	13.5%	17.8%	14.8%
	3～5歳	578	40.1%	29.1%	13.1%	23.9%	22.3%	16.8%	17.3%	14.5%
児童 小学校	1～3年生	615	36.7%	12.8%	28.1%	15.8%	21.6%	18.4%	15.9%	10.2%
	4～6年生	1,046	24.5%	8.1%	26.9%	9.4%	18.3%	22.3%	15.9%	11.8%

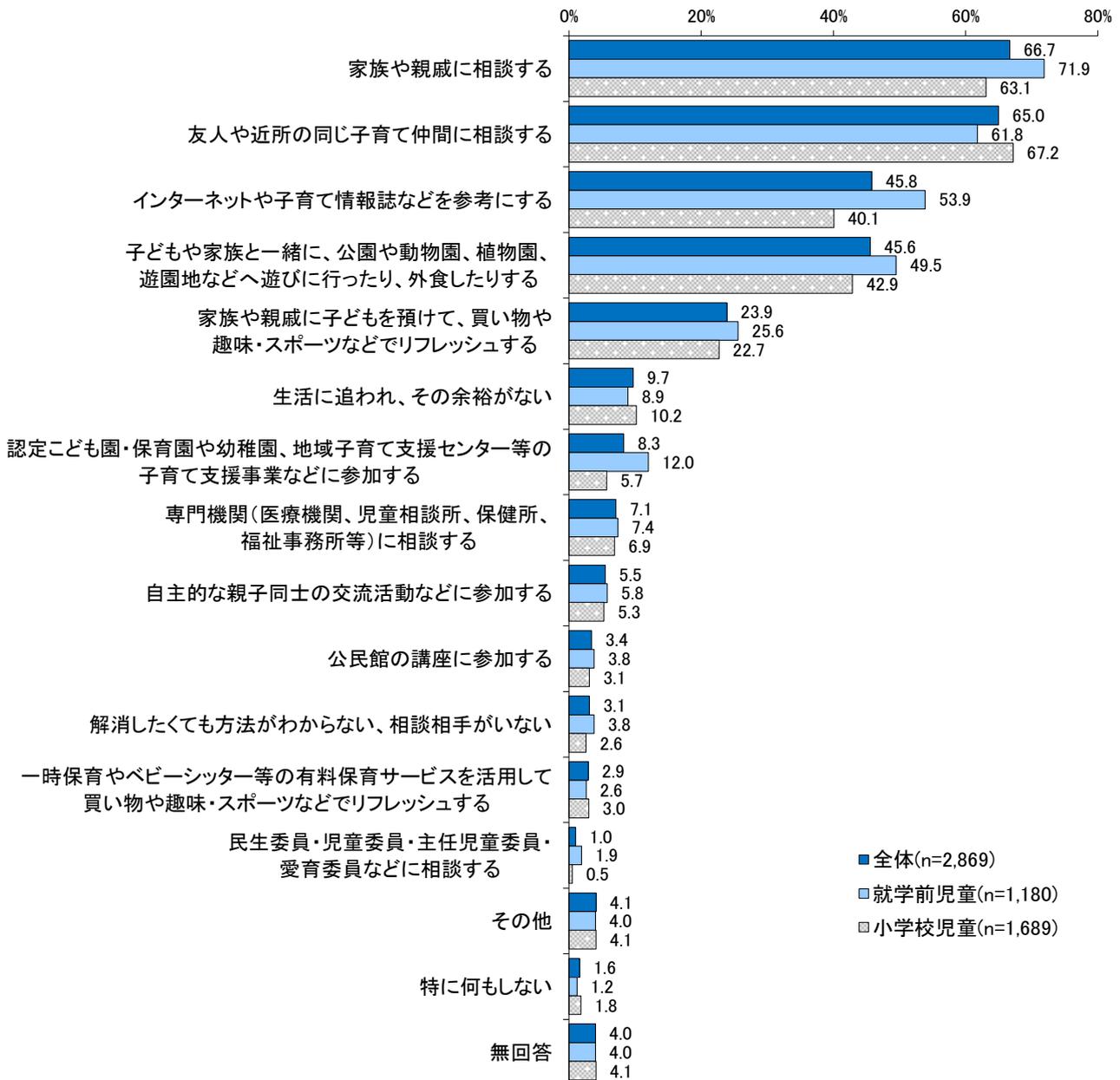
		回答数	授乳する場所や必要な設備がないこと	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと	周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること	荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと	その他	特に困ること・困ったことはない	無回答
児童 就学前	0歳	258	40.7%	24.8%	7.0%	10.1%	5.8%	5.0%	2.7%
	1・2歳	325	18.8%	18.2%	15.7%	12.0%	6.5%	5.5%	4.3%
	3～5歳	578	15.4%	14.0%	10.7%	10.4%	7.3%	6.7%	4.3%
児童 小学校	1～3年生	615	8.6%	11.1%	10.6%	7.5%	10.1%	11.2%	3.6%
	4～6年生	1,046	7.6%	9.9%	8.8%	7.7%	8.8%	16.8%	4.9%

年齢・学年別にみると、「買い物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がないこと」と回答した割合は1・2歳、3～5歳、1～3年生で、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」と回答した割合は0歳、1・2歳で、「子どもが犯罪の被害に遭いそうな暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」と回答した割合は1～3年生、4～6年生で、「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること」、「授乳する場所や必要な設備がないこと」、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」と回答した割合は0歳で高くなっている。

#### (4) 子育てに関する悩みやストレスの解消方法

問 28 子育てに関して、不安や悩み、ストレスを感じたときどのように解消していますか。または、解消しましたか。

【子育てに関する悩みやストレスの解消方法】



子育てに関する悩みやストレスの解消方法について、全体、就学前児童では「家族や親戚に相談する」と回答した割合が最も高く、全体で 66.7%、就学前児童で 71.9%となっており、次いで「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」(全体 65.0%・就学前児童 61.8%)となっている。

小学校児童では「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」と回答した割合が 67.2%と最も高く、次いで「家族や親戚に相談する」(63.1%)となっている。

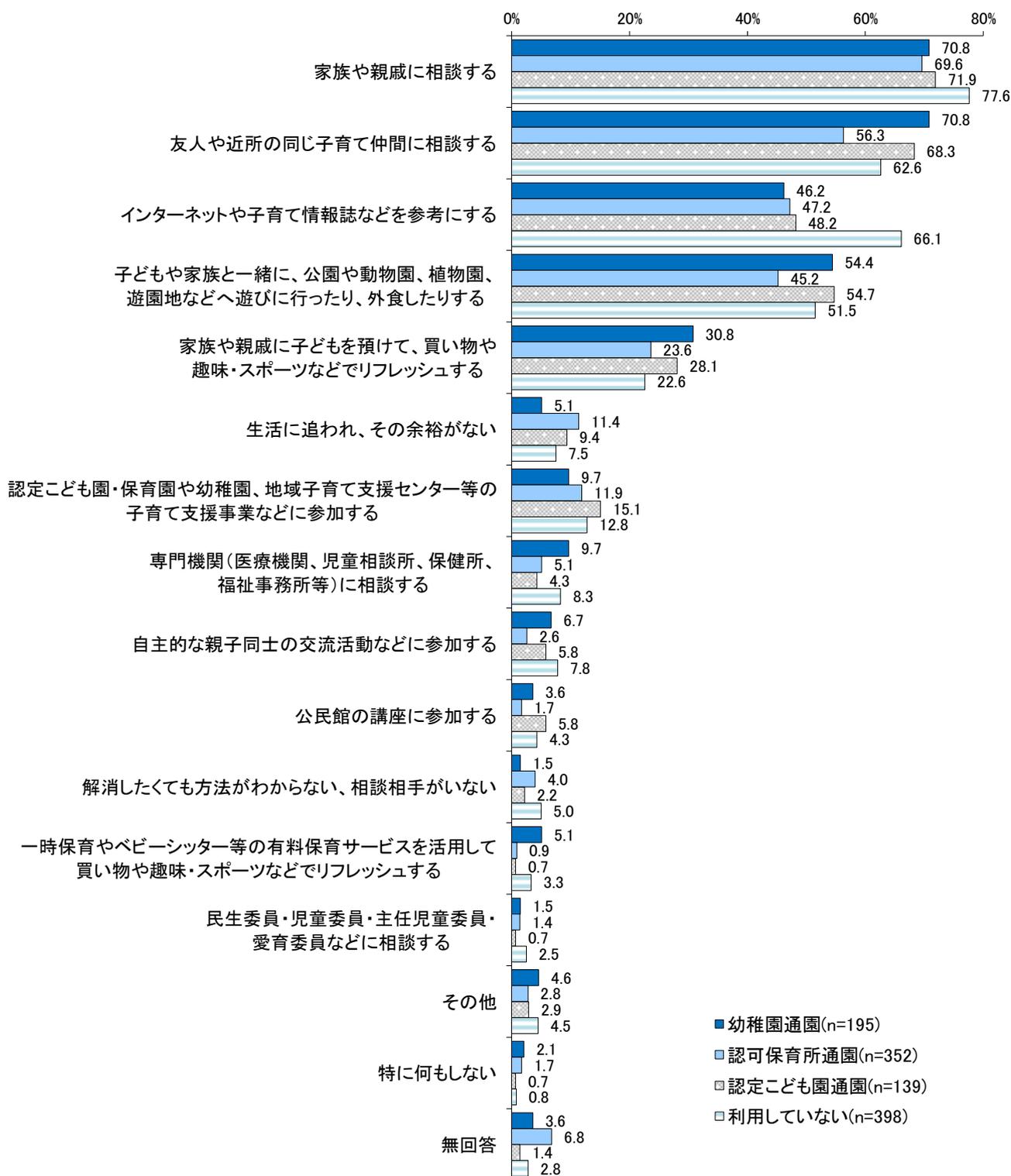
【子育てに関する悩みやストレスの解消方法（年齢・学年別）】

		回答数	家族や親戚に相談する	友人や近所の同じ子育て仲間に相談する	インターネットや子育て情報誌などを参考にする	子どもや家族と一緒に、公園や動物園、植物園、遊園地などへ遊びに行ったり、外食したりする	家族や親戚に子どもを預けて、買い物や趣味・スポーツなどでリフレッシュする	生活に追われ、その余裕がない	認定こども園・保育園や幼稚園、地域子育て支援センター等の子育て支援事業などに参加する	専門機関（医療機関、児童相談所、保健所、福祉事務所等）に相談する
児童 就学前	0歳	258	78.7%	57.8%	69.8%	48.8%	25.2%	5.8%	13.6%	8.1%
	1・2歳	325	71.7%	63.1%	60.6%	48.3%	23.1%	9.8%	12.6%	6.2%
	3～5歳	578	70.1%	63.5%	43.9%	50.9%	27.2%	9.9%	10.9%	7.8%
児童 小学校	1～3年生	615	65.9%	67.6%	45.2%	45.4%	25.2%	10.7%	6.2%	7.2%
	4～6年生	1,046	61.6%	66.8%	38.0%	41.4%	20.8%	10.0%	5.5%	6.7%

		回答数	自主的な親子同士の交流活動などに参加する	公民館の講座に参加する	解消したくても方法がわからない、相談相手がいない	一時保育やベビーシッター等の有料保育サービスを活用して買い物や趣味・スポーツなどでリフレッシュする	民生委員・児童委員・主任児童委員・愛育委員などに相談する	その他	特に何もしない	無回答
児童 就学前	0歳	258	7.8%	5.0%	3.9%	1.2%	4.3%	3.5%	0.4%	3.1%
	1・2歳	325	4.9%	3.4%	3.4%	4.0%	1.2%	5.2%	0.6%	4.0%
	3～5歳	578	5.5%	3.6%	4.2%	2.6%	1.2%	3.5%	1.6%	4.0%
児童 小学校	1～3年生	615	5.2%	2.3%	2.4%	2.9%	0.7%	2.8%	2.0%	4.6%
	4～6年生	1,046	5.4%	3.4%	2.8%	3.2%	0.3%	4.9%	1.7%	3.8%

年齢・学年別にみると、「家族や親戚に相談する」と回答した割合は0歳で、「インターネットや子育て情報誌などを参考にする」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

【子育てに関する悩みやストレスの解消方法（定期的な教育・保育事業の利用状況別）】

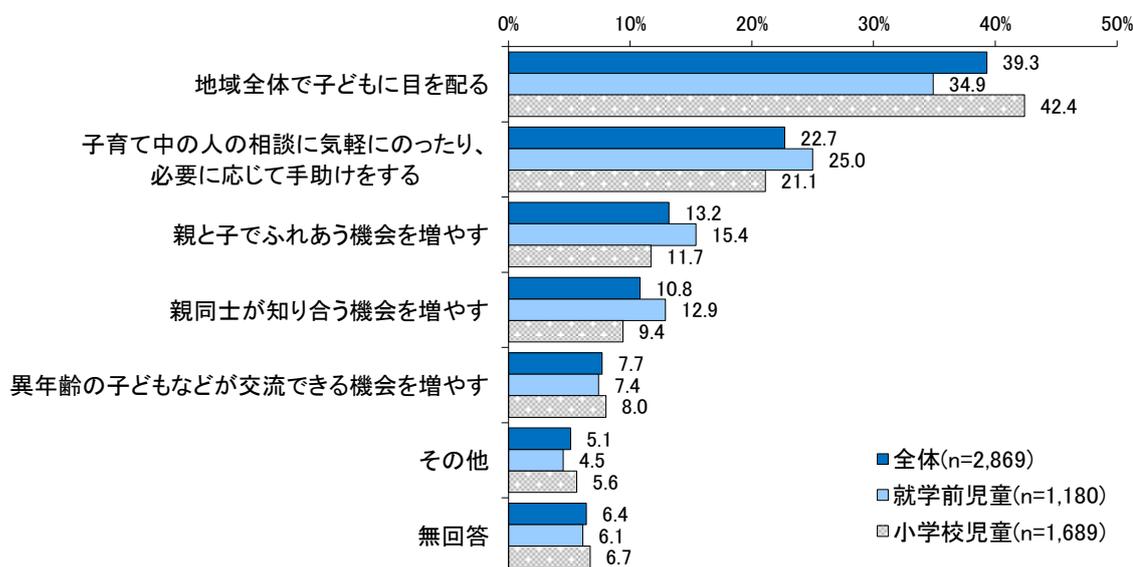


定期的な教育・保育事業の利用状況別にみると、「友人や近所の同じ子育て仲間に相談する」と回答した割合は幼稚園通園、認定こども園通園の保護者で、「インターネットや子育て情報誌などを参考にする」と回答した割合は事業を利用していない保護者で高くなっている。

(5) 地域社会に望む支援

問 29 地域社会には、どのような支援を望みますか。

【地域社会に望む支援】



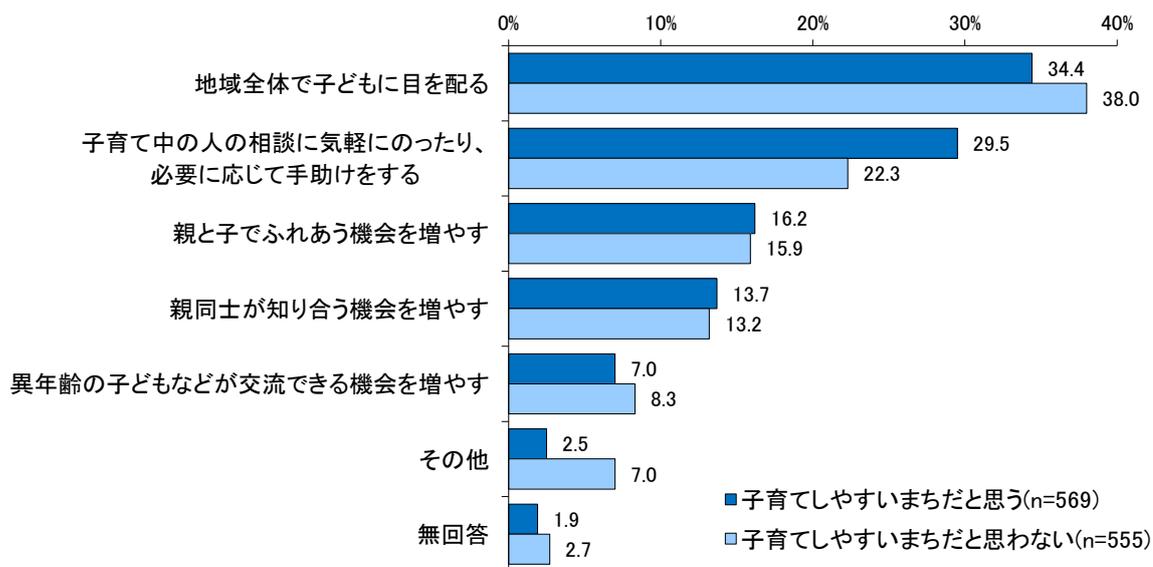
地域社会に望む支援について、「地域全体で子どもに目を配る」と回答した割合が最も高く、全体で 39.3%、就学前児童で 34.9%、小学校児童で 42.4%となっており、次いで「子育て中の人の相談に気軽にのったり、必要に応じて手助けをする」(全体 22.7%・就学前児童 25.0%・小学校児童 21.1%) となっている。

【地域社会に望む支援（年齢・学年別）】

		回答数	地域全体で子どもに目を配る	子育て中の人の相談に気軽にのったり、必要に応じて手助けをする	親子でふれあう機会を増やす	親同士が知り合う機会を増やす	異年齢の子どもなどが交流できる機会を増やす	その他	無回答
就学前児童	0歳	258	31.4%	28.3%	15.5%	17.1%	4.3%	1.9%	5.0%
	1・2歳	325	32.6%	24.6%	17.5%	15.7%	5.5%	3.7%	6.5%
	3～5歳	578	37.5%	24.2%	14.4%	9.5%	9.7%	6.2%	6.1%
小学校児童	1～3年生	615	43.7%	21.1%	12.4%	9.3%	7.3%	6.2%	6.5%
	4～6年生	1,046	41.8%	20.7%	11.2%	9.5%	8.5%	5.4%	6.8%

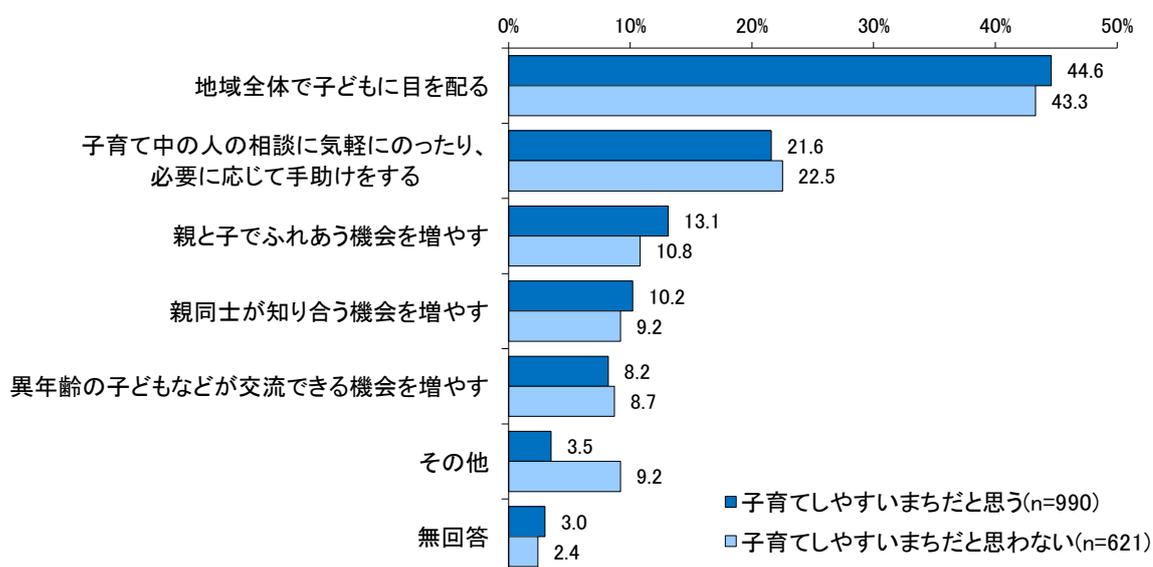
年齢・学年別にみると、「親同士が知り合う機会を増やす」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

【地域社会に望む支援（就学前児童・子育てがしやすいまちの評価別）】



子育てがしやすいまちの評価別にみると、「子育て中の人の相談に気軽にのったり、必要に応じて手助けをする」と回答した割合は子育てしやすいまちだと思う層で高くなっている。

【地域社会に望む支援（小学校児童・子育てがしやすいまちの評価別）】

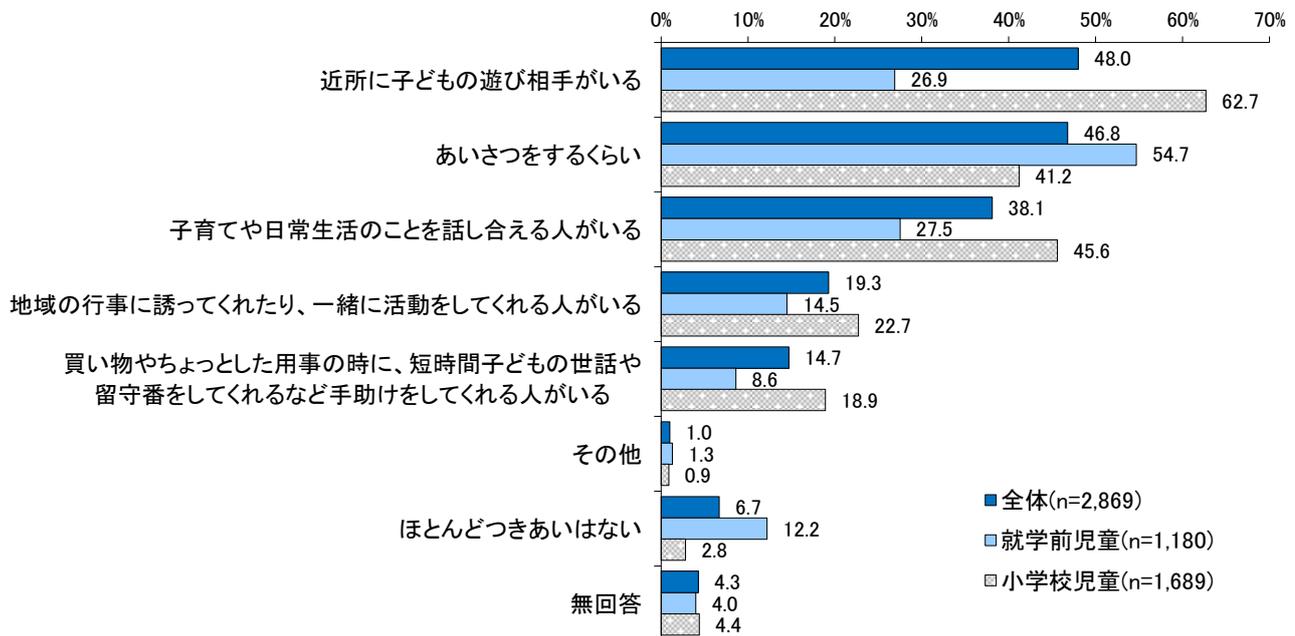


子育てがしやすいまちの評価別にみると、大きな差はみられない。

(6) 隣近所（地域）との付き合い

問 30 隣近所（地域）の方とお付き合いについてうかがいます。

【隣近所（地域）との付き合い】



隣近所（地域）との付き合いについて、全体では「近所に子どもの遊び相手がいる」と回答した割合が 48.0%と最も高く、次いで「あいさつをするくらい」（46.8%）となっている。

就学前児童では「あいさつをするくらい」と回答した割合が 54.7%と最も高く、次いで「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」（27.5%）となっている。

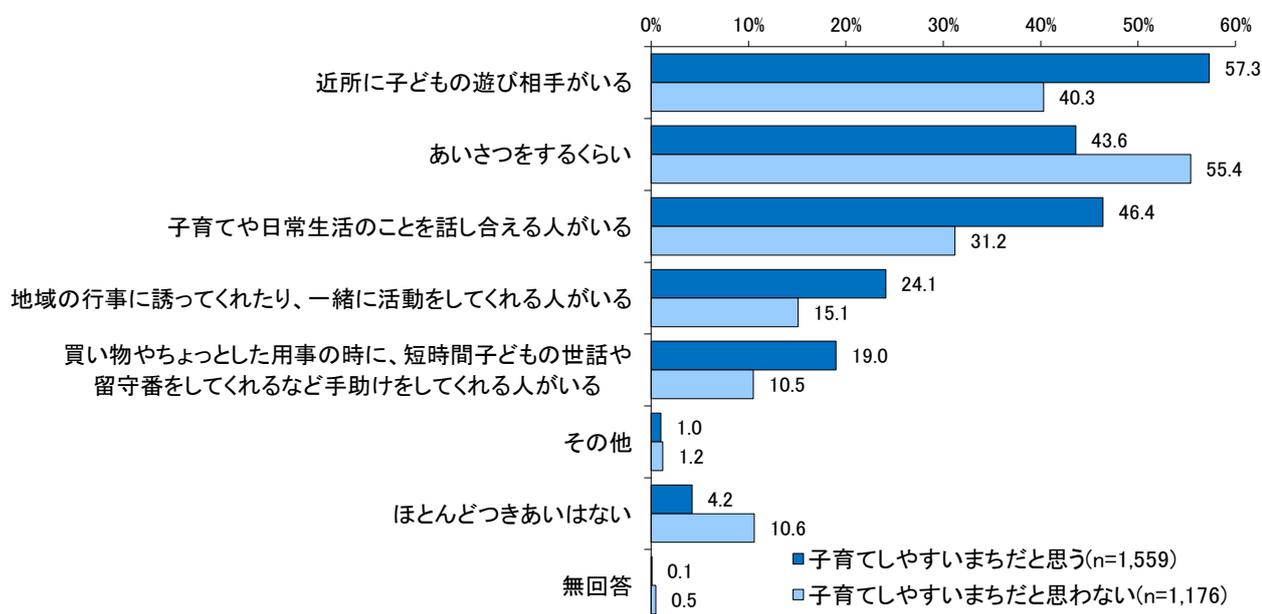
小学校児童では「近所に子どもの遊び相手がいる」と回答した割合が 62.7%と最も高く、次いで「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」（45.6%）となっている。

【隣近所（地域）との付き合い（年齢・学年別）】

		回答数	近所に子どもの遊び相手がいる	あいさつをするくらい	子育てや日常生活のことを話し合える人がいる	地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がいる	買い物やちょっとした用事の時に、短時間子どもの世話や留守番をしてくれるなど手助けをしてくれる人がいる	その他	ほとんどつきあいはない	無回答
児童 就学前	0歳	258	8.9%	62.0%	17.1%	8.9%	4.3%	1.9%	17.8%	3.1%
	1・2歳	325	22.5%	60.3%	21.5%	13.5%	6.8%	1.5%	11.1%	4.0%
	3～5歳	578	37.7%	49.5%	35.1%	17.6%	11.6%	0.9%	10.0%	4.0%
児童 小学校	1～3年生	615	62.0%	42.1%	44.7%	22.6%	18.7%	0.3%	4.1%	5.0%
	4～6年生	1,046	63.4%	40.4%	46.0%	23.1%	19.0%	1.2%	2.1%	4.1%

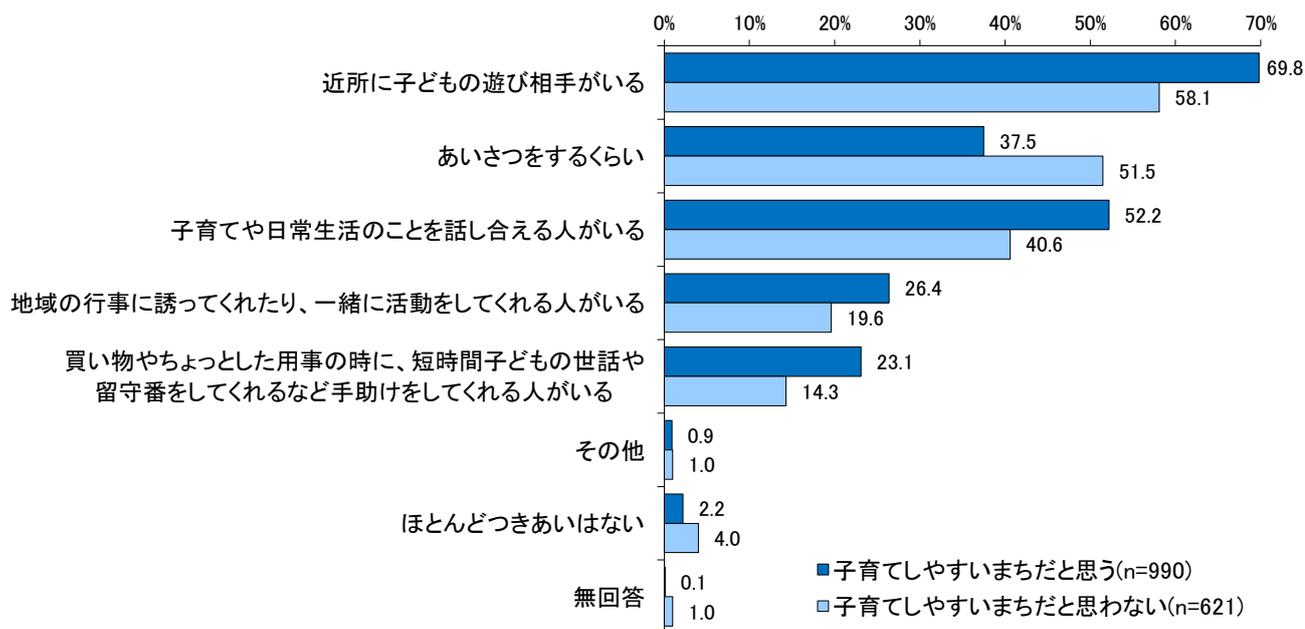
年齢・学年別にみると、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」と回答した割合は1～3年生、4～6年生で、「あいさつをするくらい」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

【隣近所（地域）との付き合い（全体・子育てがしやすいまちの評価別）】



子育てがしやすいまちの評価別にみると、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」、「地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がいる」、「買い物やちょっとした用事の時に、短時間子どもの世話や留守番をしてくれるなど手助けをしてくれる人がいる」と回答した割合は子育てしやすいまちだと思ふ層で高くなっている。

【隣近所（地域）との付き合い（子育てがしやすいまちの評価別・小学校児童）】

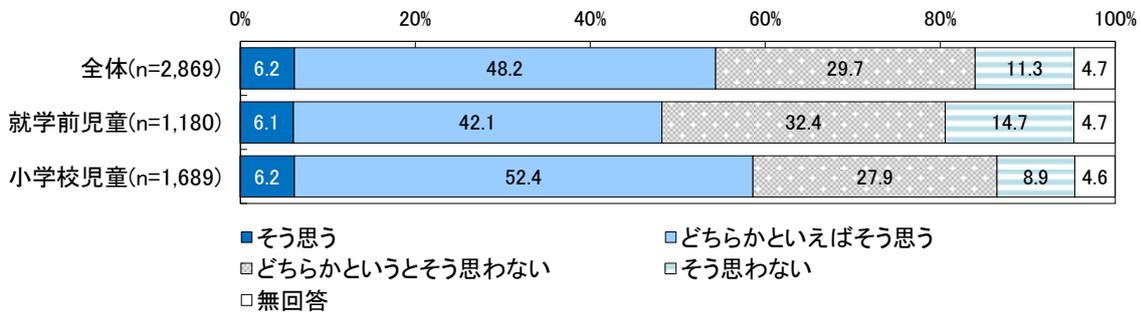


子育てがしやすいまちの評価別にみると、「近所に子どもの遊び相手がいる」、「子育てや日常生活のことを話し合える人がある」、「地域の行事に誘ってくれたり、一緒に活動をしてくれる人がある」、「買い物やちょっとした用事の時に、短時間子どもの世話や留守番をしてもらえるなど手助けをしてくれる人がある」と回答した割合は子育てしやすいまちだと思う層で高くなっている。

(7) 岡山市の子育てのしやすさの程度

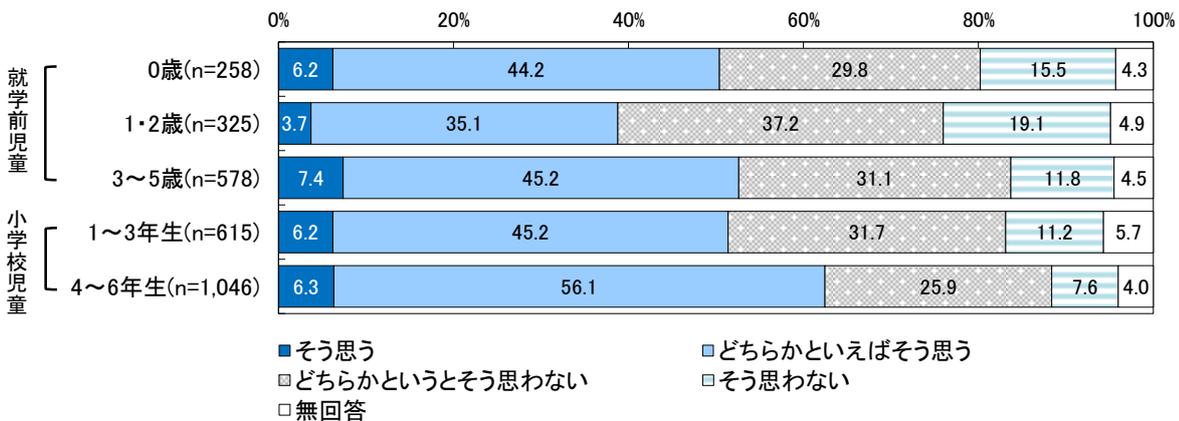
問 31 岡山市は子育てしやすいまちだと思いますか。

【岡山市の子育てのしやすさの程度】



岡山市の子育てのしやすさの程度について、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）と回答した割合は全体で 54.4%、就学前児童で 48.2%、小学校児童で 58.6%、『そう思わない』（「そう思わない」＋「どちらかというと思わない」）と回答した割合は全体で 41.0%、就学前児童で 47.1%、小学校児童で 36.8%となっている。

【岡山市の子育てのしやすさの程度（年齢・学年別）】



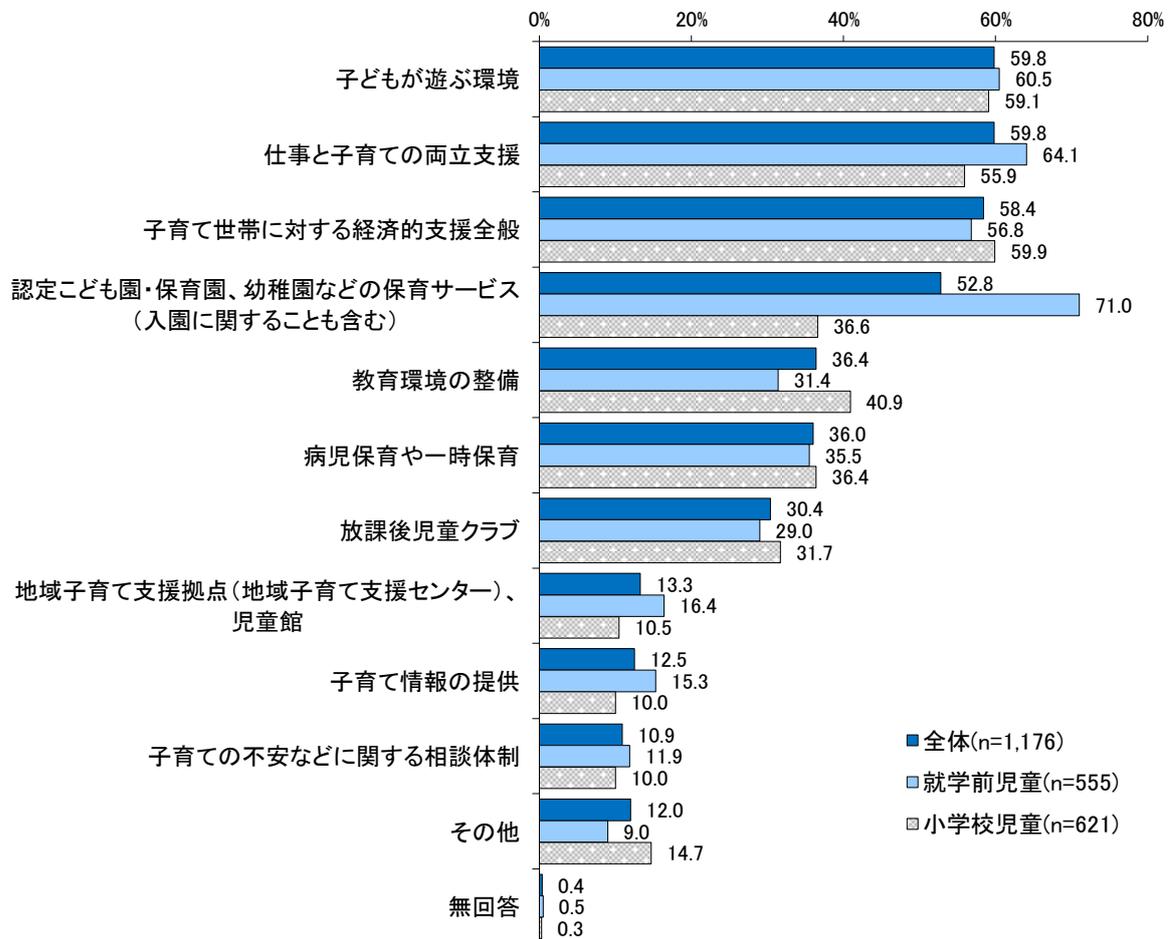
年齢・学年別にみると、『そう思う』と回答した割合は4～6年生で高くなっている。

(8) 子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと

問 31 で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答した人のみ回答

問 31-1 もっと子育てしやすいまちにするために、どのようなことについて充実が必要と思われるですか。その中で特に必要だと思うものについてもお答えください。

【子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと】



子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うことについて、全体では「子どもが遊ぶ環境」、「仕事と子育ての両立支援」と回答した割合が 59.8%と最も高く、次いで「子育て世帯に対する経済的支援全般」(58.4%)となっている。

就学前児童では「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス(入園に関することも含む)」と回答した割合が 71.0%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立支援」(64.1%)となっている。

小学校児童では「子育て世帯に対する経済的支援全般」と回答した割合が 59.9%と最も高く、次いで「子どもが遊ぶ環境」(59.1%)となっている。

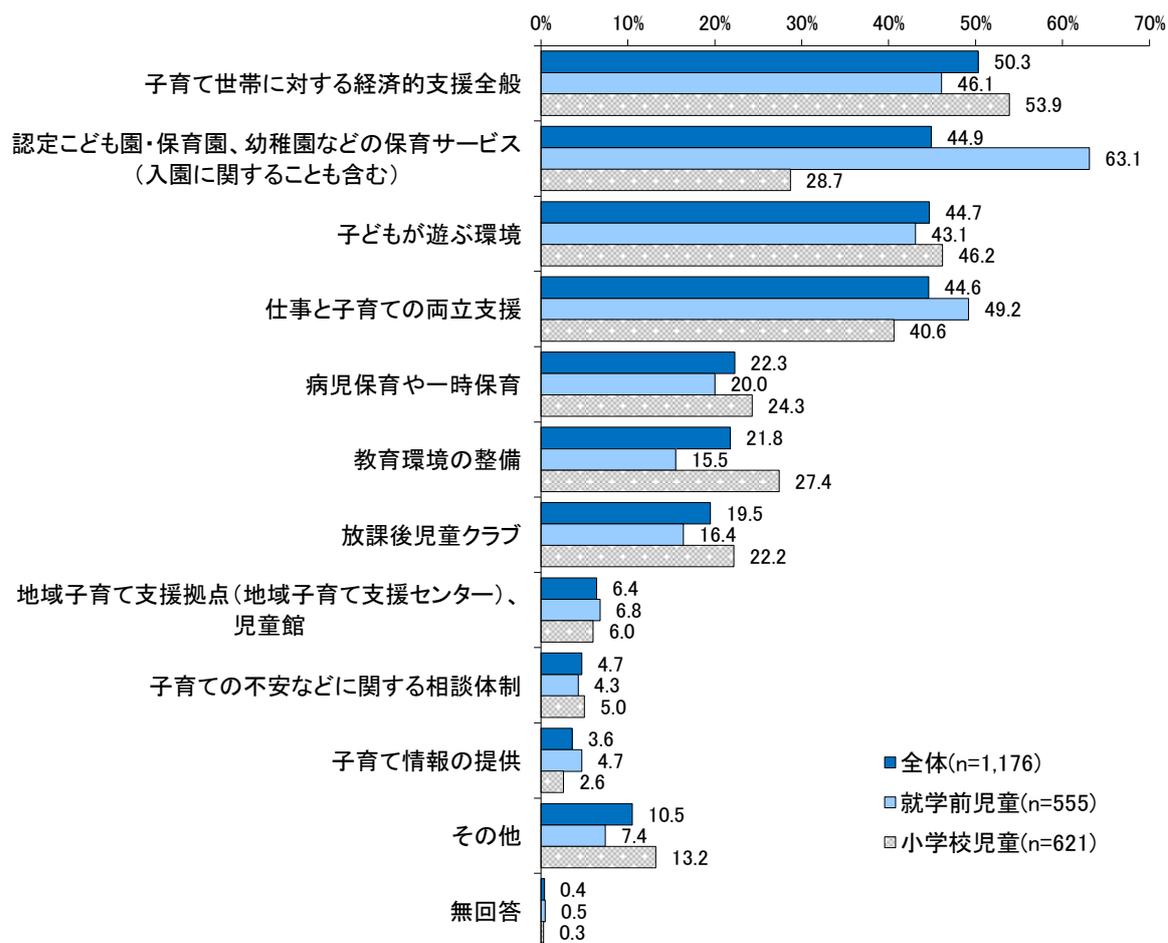
【子育てしやすいまちにするために充実が必要だと思うこと（年齢・学年別）】

		回答数	子どもが遊ぶ環境	仕事と子育ての両立支援	子育て世帯に対する経済的支援全般	認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス（入園に関することも含む）	教育環境の整備	病児保育や一時保育	放課後児童クラブ	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター）、児童館
児童 就学前	0歳	117	55.6%	68.4%	61.5%	79.5%	29.1%	41.0%	23.1%	12.0%
	1・2歳	183	61.2%	63.4%	52.5%	76.0%	30.1%	32.8%	23.0%	14.2%
	3～5歳	248	63.7%	62.9%	57.3%	64.1%	33.9%	35.1%	36.7%	20.6%
児童 小学校	1～3年生	264	57.6%	59.1%	61.7%	43.2%	39.0%	40.2%	38.6%	11.0%
	4～6年生	351	60.7%	54.4%	58.4%	31.6%	42.5%	33.9%	27.1%	10.3%

		回答数	子育て情報の提供	子育ての不安などに関する相談体制	その他	無回答
児童 就学前	0歳	117	17.9%	15.4%	6.0%	-
	1・2歳	183	16.4%	8.2%	7.7%	1.1%
	3～5歳	248	13.7%	13.3%	11.3%	0.4%
児童 小学校	1～3年生	264	11.7%	11.4%	13.3%	-
	4～6年生	351	8.8%	8.8%	15.1%	0.6%

年齢・学年別にみると、「仕事と子育ての両立支援」と回答した割合は0歳で、「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス（入園に関することも含む）」と回答した割合は0歳、1・2歳で、「教育環境の整備」と回答した割合は1～3年生、4～6年生で、「病児保育や一時保育」と回答した割合は0歳、1～3年生で、「放課後児童クラブ」と回答した割合は3～5歳、1～3年生で高くなっている。

### 【特に充実が必要だと思うこと】



特に充実が必要だと思うことについて、全体では「子育て世帯に対する経済的支援全般」と回答した割合が50.3%と最も高く、次いで「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス（入園に関することも含む）」（44.9%）となっている。

就学前児童では「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス（入園に関することも含む）」と回答した割合が63.1%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立支援」（49.2%）となっている。

小学校児童では「子育て世帯に対する経済的支援全般」と回答した割合が53.9%と最も高く、次いで「子どもが遊ぶ環境」（46.2%）となっている。

【特に充実が必要だと思うこと（年齢・学年別）】

		回答数	子育て世帯に対する経済的支援全般	認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス（入園に関することも含む）	子どもが遊ぶ環境	仕事と子育ての両立支援	病児保育や一時保育	教育環境の整備	放課後児童クラブ	地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター）、児童館
児童 就学前	0歳	117	51.3%	74.4%	35.9%	53.0%	23.1%	11.1%	10.3%	3.4%
	1・2歳	183	40.4%	68.3%	43.7%	51.4%	19.1%	16.4%	11.5%	7.1%
	3～5歳	248	47.2%	54.4%	46.8%	46.0%	19.0%	17.3%	23.4%	8.5%
児童 小学校	1～3年生	264	54.2%	35.2%	43.6%	42.8%	27.7%	22.3%	26.9%	5.7%
	4～6年生	351	53.6%	23.6%	48.4%	39.6%	22.2%	31.1%	19.1%	6.3%

		回答数	子育ての不安などに関する相談体制	子育て情報の提供	その他	無回答
児童 就学前	0歳	117	6.0%	6.0%	5.1%	-
	1・2歳	183	2.7%	6.0%	6.6%	1.1%
	3～5歳	248	4.8%	3.2%	8.9%	0.4%
児童 小学校	1～3年生	264	4.5%	3.8%	11.4%	-
	4～6年生	351	5.1%	1.7%	14.0%	0.6%

年齢・学年別にみると、「認定こども園・保育園、幼稚園などの保育サービス（入園に関することも含む）」、「仕事と子育ての両立支援」と回答した割合は0歳、1・2歳で、「病児保育や一時保育」と回答した割合は1～3年生で、「教育環境の整備」と回答した割合は4～6年生で高くなっている。

### Ⅲ 自由意見

大項目	小項目	件数
1. 子育て支援について	①保育園、幼稚園などの保育サービスについて	168
	②放課後児童クラブ、学童保育、放課後の子どもの居場所について	85
	③病児保育、一時保育について	41
	④子育て支援センター、児童館について	19
	⑤ひとり親への支援について	17
	⑥障害のある子どもへの子育て支援について	18
	⑦その他、待機児童等について	141
2. 教育環境の整備について		52
3. 相談、情報提供について	①情報提供について	53
	②子育ての不安と相談について	28
	③相談・交流の場について	21
	④発達障害について	28
4. 経済的支援について	⑤医療費について	210
	⑥保育料・教育費について	39
	⑦経済的支援全般について	49
5. 子育てと仕事の両立について		26
6. 環境について	①施設、道路などハード面での整備について	70
	②子どもが遊ぶ環境について	138
	③文化面での子どもの環境について	9
	④地域の環境について	38
7. 親の子育てについて		9
8. 市の対応、体制について		44
合 計		1,303

## 主な意見（抜粋）

### 1 子育て支援について

#### ① 保育園、幼稚園などの保育サービスについて

- ・全員が均等に受けられる保育や幼児教育施設の整備を望む。
- ・より多くの人それぞれのニーズにあった受け皿で、社会とのつながりができれば良いと思う。
- ・保育事業所を増やす取り組みとともに、保育の質の向上も必要。

#### ② 放課後児童クラブ、学童保育について

- ・学童クラブの定員、開所日、開所時間について配慮が必要。
- ・長期の休み（夏休み等）だけ預かる場所があると良い。
- ・兄弟がいる場合などの利用料をもっと安くしてほしい。

#### ③ 病児保育、一時保育について

- ・病児保育をしている医療機関が少ない。
- ・近所の保育園（認可施設）で一時預かりが利用できるようにしてほしい。
- ・全施設で均一な対応をしてほしい。

#### ④ 子育て支援センター、児童館について

- ・子育て支援センターでの相談が休みの日にもできるとありがたい。
- ・児童館などの開館時間を使いやすいものにしてほしい。

#### ⑤ ひとり親への支援について

- ・ひとり親でも十分に子どもに教育、習いごとなどができるようにしてほしい。
- ・就学援助や高校進学などの経済的支援を充実させ、「そだてやすい町」になってほしい。

#### ⑥ 障害のある子どもへの子育て支援について

- ・どこでも、どのような子どもでも入れ、過ごすことができる場所が増えたら良い。
- ・障害児童のショートステイの人数枠を増やしてほしい。

#### ⑦ その他、待機児童等について

- ・待機児童問題に引き続き取り組んでほしい。
- ・待機児童が全国的にも多い岡山市なので、しっかりとした支援制度を作ってほしい。
- ・子どもが産まれるたびに、保育園に入れるか不安な日々を送っているので、待機児童問題を早急に解決してもらいたい。

### 2 教育環境の整備について

- ・塾に頼ることなく学力が上がるよう、学校教育にもっと力を入れてもらいたい。
- ・グローバル化・多様化する世界で自立できる子どもを育てるための支援をしてほしい。
- ・昔のままでなく現在の状況に合わせた学区の見直しをしてほしい。

### 3 相談、情報提供について

#### ① 情報提供について

- ・子育て支援はたくさんあるが、積極的な情報発信があると、より一層利用や参加がしやすい。
- ・経済的に厳しく、対人関係が苦手な人間は、支援センターや地域のイベントにも参加しづらい。
- ・市の子育て施策として何をしているのかを知らせる活動をもっとしてほしい。

#### ② 子育ての不安と相談について

- ・子育てに悩んでいる親に快く相談にのってくれたり、手を差し伸べてほしい。
- ・どこに相談すればいいのか分からないので、窓口を一体化してほしい。

#### ③ 相談・交流の場について

- ・市が子育てしやすい環境作りのためにイベントや催しをしていることを知り、参加することで不安が解消された。
- ・育児相談が気軽にできるようなサービスを行ってほしい。

#### ④ 発達障害について

- ・高校卒業までの医療費、発達障害に関する事業（放課後デイ）の利用料や受給者証更新に係る負担を軽減してほしい。
- ・一緒に行くことのできるイベントなど、もっと身近に感じることのできる支援が欲しい。学校以外で困った時、相談できる場所が近くにあれば助かる。

### 4 経済的支援について

#### ① 医療費について

- ・子ども医療費助成制度を中学卒業まで無料にしてほしい。
- ・家庭の収入によって、医療費の負担割合を変えるといいのではないか。
- ・インフルエンザ予防接種の助成をしてほしい。

#### ② 保育料・教育費について

- ・まずは保育を希望する人が利用でき、安心して子どもを預けられる環境を整えるべき。保育士の待遇改善が必要。
- ・3歳未満の課税世帯についても保育料を軽減してほしい。
- ・所得によって保育料を変えるのではなく、一律にしてほしい。

#### ③ 経済的支援全般について

- ・第1子が18才を超えると、第2子以降を第1子扱いにして、（第3子以降の小学生以下の子ども）児童手当の金額を減らすのは、子育て支援策としてはおかしいと思う。
- ・子どもの手当の金額をあげてほしい。もらえる年齢を引き上げてほしい。
- ・第3子以上は給食費無料（減額）にするなど、子どもが増えても経済的負担が増えないように支援してほしい。

## 5 子育てと仕事の両立について

- ・子どもが幼い間は、長時間預けずに働くことができたなら一番良いと思う。子育てと仕事、経済面のバランスをとることは難しい。
- ・所得に関係なく、多子世帯が優遇される制度を増やしてほしい。
- ・働きたいと思っている人が働きやすい岡山市になってくれれば良いと思う。

## 6 環境について

### ① 施設、道路などハード面での整備について

- ・歩道の整備や公園の管理などを強化してほしい。
- ・通学、通園路の安全対策を進めてほしい。
- ・子どもが日々安全に生活できるよう、外灯を増やすなどの環境整備を行い、目を配ってほしい。

### ② 子どもが遊ぶ環境について

- ・子ども達が自由に遊べる場所がないことがかわいそうだ。
- ・公園はあっても狭かったり、ボールあそび等ができないなど制約がある。
- ・子供がもっと外で遊べるよう、公園の整備や無料（格安）体験イベントなど企画してもらいたい。

### ③ 文化面での子どもの環境について

- ・気軽に参加できるイベントや子ども達が交流できる場がたくさんあると嬉しい。安全で安心して利用できる場所と悩みを相談できるサービスの充実で、育児に悩むママを助けてほしい。

### ④ 地域の環境について

- ・他県から引っ越して来て、岡山市は子育てにとっても積極的だと感じた。地域の方も、小学校の登下校を積極的に見守ってくれて、昔のような、子どもを育てやすい環境になってきていると思う。
- ・過疎地域にも目を向け、子どもが安全に通学できるよう、外灯や防犯カメラを設置してほしい。
- ・小さい子どもを連れて入りやすいお店（飲食店）を増やしてほしい。

## 7 親の子育てについて

- ・子どもを預けることによって、「親」として成長する機会、子どもの声を聞く機会を失い、子の人間形成の面で懸念に思う。施設の充実だけでなく「親」として成長する機会も同時に必要。

## 8 市の対応、体制について

- ・子どもの虐待がなくなるよう、地域、学校、行政などの連携体制を強化し、通報があれば、躊躇せず子どもを保護してほしい。
- ・市も職場も子育てに関する対策をしているが、リンクしていないと支援の対象から外れてしまうことがある。
- ・困った時に気軽に助けを求められる制度があればいいと思う。